

can-am



SPYDER RT シリーズ

オペレーターズ ガイド

安全性、使用およびメンテナンスに関する情報が
記載されています

NO

⚠ 警告

この車両の特殊性について理解してください。

このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：

<https://can-am.brp.com/on-road/jp/ja/owner-zone/safety-information.html>

トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟してください。

地域によって免許の要件が異なります。各地域の法令をご確認ください。

このガイドをフロントストレージコンパートメントに保管してください。

⚠ 警告

オペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項やインストラクションを無視すると、負傷や死亡事故が生じる恐れがあります。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告警告

⚠ 警告

この車両の運転、整備、および操作を行うことで、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品にさらされる可能性があります。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、
www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

TM®で示される以下の商標は、BRPまたはその関連会社が所有しています。以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社に帰属します。法域によっては、商標が登録されていない場合があります。

ACETM

Can-Am®

D.E.S.S.™

ROTAX®

Spyder®

XPS®

無断複写転載を禁じます。本オペレーターズガイドの内容の一部または全部を、Bombardier Recreational Products Inc.の許可なしに無断転載することは禁止されています。

©Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) 2026

Bombardier Recreational Products (BRP)

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
Italiano	Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguides.brp.com
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商询问,或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください: www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Русский	Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguides.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

対象モデル
Spyder RT STD
Spyder RT リミテッド
Spyder RT Sea-to-Skyエディション

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。

米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

欧州経済圏（欧州連合加盟国プラス英国、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタイン）、独立国家共同体（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）、ならびにトルコでは、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. およびBRPのその他の関連会社または子会社が行います。

製品の流通とサービスは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP)または提携機関が行います。

目次

一般情報

一般情報	10
乗車前に確認すべきこと	10
安全メッセージ	10
このオペレーターズガイドについて	10
「その他の情報源」を参照してください	11
謝辞	11

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避	14
ガソリンによる火事や他の危険の回避	15
高温部分による火傷の回避	16
アクセサリと改造	17

船体情報

基本コントロール	20
ハンドルバー	21
スロットル	21
ギアシフト・セレクター	21
ブレーキペダル	22
パーキングブレーキボタン	22
二次コントロール	24
イグニッションスイッチ	25
スイッチ・クラスター	26
右多機能スイッチ	27
左多機能スイッチ	30
同乗者用コントロール	33
グリップヒータースイッチ	33
シートヒータースイッチ	33
10.25インチタッチスクリーンディスプレイ	35
安全に関するディスプレイメッセージ	35
デフォルトの表示	37
ディスプレイの操作	37
センターディスプレイ	37
ビューディスプレイ	38
アプレットメニュー	40
アイコンおよびインジケーター	47
タッチスクリーンディスプレイのメッセージ	49
Bluetoothによるスマートフォンのペアリング	49
装備品	51
ミラー	51
グローブボックス	51
USBポート	51
フロントストレージコンパートメント	52
運転席	52

運転席バックレスト	52
同乗者席	53
ストレージコンパートメント	54
ヘルメットフック	56
ツールキット（装備されている場合）	56
オペレーターズガイド	56
サービスカバー	56
タイヤ圧カモニタリングシステム（装備されている場合）	58
動作モード	63
ECOモード	63
標準モード	63
モード表示	63
車両（艇体）の操作	64
同乗者用フットレストの調整	64
エンジンの始動および停止	64
リバースでの運転	66
慣らし運転中の運転	66
給油	67
リアサスペンションの調整	69
安全上の取扱説明書	
他の車両との違いについて	72
安定性	72
道路状態に対する反応	72
ブレーキペダル	72
パーキングブレーキ	72
ステアリング	72
全幅	73
ドライバーの死角	73
リバース	73
リアビューカメラ（装備されている場合）	73
運転免許書および現地の法律	74
駆動支援技術	75
車両安定システム（VSS）	75
ヒルホールドコントロール（HHC）	76
ダイナミックパワーステアリング	76
道路上のリスクの把握	77
車両の種類	77
ドライバーの技術および判断力	77
ドライバーの状態	78
車両の状態	78
道路状況および天候	78
ライディングギア	79
ヘルメット	79
その他の装備	80
必要とされる運転技術および実践演習	82
練習場の選択	82
運転の準備	83
運転の姿勢	83
練習の実行	83

高度運転技術の取得	90
道路上の注意事項	92
練習の下準備	92
安全運転	92
視認性を高める	93
車線の位置	94
一般的な運転状況	95
道路状況および危険性	97
道路上での緊急事態	98
タイヤの故障	98
同乗者や積荷を乗せる、またはトレーラーの牽引	99
重量制限	99
超過重量で運転する場合	99
同乗者を乗せた運転	100
荷物を乗せる場所	101
トレーラーの牽引	101
知識セルフテスト	105
質問	105
解答	108
車両の安全情報	110
重要な走行前安全メッセージ	111
セーフティハングタグ	112
安全ラベル	113
安全面での欠陥の報告	125

走行前の点検

走行前のチェックリスト	128
車両始動前の点検内容	128
イグニッション・キーをONのポジションに入れます:	129

メンテナンス

定期メンテナンス	132
EPA規制 - カナダおよび米国向け車両	132
過酷な粉塵または湿潤条件 - エアフィルターのメンテナンスガイドライン	132
随時行う点検	132
メンテナンスのスケジュール	133
メンテナンス記録	137
メンテナンスの手順	146
エンジンオイル	146
エアフィルター	150
エンジン・クーラント	151
ラジエーター・ファン	152
バッテリー	152
駆動ベルト	154
車輪およびタイヤ	155
ブレーキ	157
ヘッドライト	158

車両のお手入れ	161
洗車	161
車両の保護	161
保管およびシーズン前の準備	163
収納	163
シーズン前の準備	163

道路側での修理

診断の指針	166
シフトがニュートラルに入らない	166
シフトが動かない	166
エンジンが始動しない	166
多機能ゲージのメッセージ	168
以下の状況に対する解決策	171
失われたキー	171
サイド・ストレージ・コンパートメントを開けることができない。	171
タイヤのパンク	171
上がったバッテリー	171
ライトの位置	173
オーストラリアモデル	173
日本向けモデル	173
北米モデル	174
その他のすべての国	174
ヒューズの交換方法	175
ヒューズ	175
車両の移送	177

技術情報

車両の識別	180
車両識別番号	180
エンジン識別番号	180
車両コンプライアンスラベル	181
安全コンプライアンスハングタグ	181
EPA適合ラベル	181
欧州適合ラベル	181
代替燃料インフラコンプライアンスラベルの導入	181
騒音エミッションコントロールシステム規制	183
BRP RF DESS POST	184
米国およびカナダ	184
メキシコ	185
日本	185
ヨーロッパ	185
多機能ゲージの法規制に関する情報	190
技術情報	190
メーカーおよび住所	190
米国およびカナダ	190
メキシコ	191
ブラジル	191
日本	192

ヨーロッパ.....	192
BRP EUROPEAN DISTRIBUTION SA.....	197
REP France - TRIMAN.....	197

技術仕様

技術仕様	200
------------	-----

顧客情報

データプライバシーについて	208
お問い合わせ先.....	210
アジア太平洋	210
欧州、中東、アフリカ	210
中南米	211
北米.....	211
住所と所有権の変更.....	212

空白ページ

一般情報

一般情報

新しいCan-Am® 3輪トライクをご購入いただきありがとうございます。購入いただいた製品のサポートは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) の保証サービス、お客様が必要とされる部品、サービスおよびアクセサリを取り揃えている認定ディーラーネットワークが行っています。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。ディーラーは、準備や点検を行うためのトレーニングを受けており、お客様がこの新しい車両を所有される前の最終調整も行っています。

詳しいサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

納品時には、お客様に保証範囲をお知らせいたします。また、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために、お客様に納入前チェックリストにご署名いただいています。

乗車前に確認すべきこと

運転者、同乗者および他の人々の安全を確保するため、この車両に乗る前に次のセクションをお読みください。

- 一般的な注意
- 船体情報
- 安全上の取扱説明書
- 走行前の点検

経験豊かなモーターサイクル運転経験者であっても、車両の特殊性に特にご注意ください。

安全メッセージ

本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用されているかは以下で説明されています。

安全警告記号▲は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

▲ 警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

▲ 注意

指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、車両の構成部品などに重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

本オペレーターズガイドは右車線走行である米国で作成されました。本書の説明は、お住まいになられている地域の管轄および法律に従いながら参照してください。

本オペレーターズガイドに記載されている「モーターサイクル」という用語は通常、二輪のバイクを意味します。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンス、道路脇での修理、および同乗者に指示する際に参照してください。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、次のウェブサイトアクセスしてください：

- WWW.OPERATORSGUIDES.BRP.COM

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。

その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および/または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

「その他の情報源」を参照してください

本オペレーターズガイドに加え、ディスプレイの安全メッセージや車両上の警告ラベルを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください。

[HTTPS://CAN-AM.BRP.COM/
ON-ROAD/US/EN/OWNER-ZONE/
SAFETY-INFORMATION.HTML](https://can-am.brp.com/on-road/us/en/owner-zone/safety-information.html)

または、以下のQRコードを使用してください。



可能であれば、3輪トライクの特別トレーニングコースを受講してください。

今後提供されるトレーニングコースのスケジュールに関しては、下記のサイトを参照してください。

WWW.CAN-AM.BRP.COM

お住まいの地域で3輪トライクの特別トレーニングコースが提供されていない場合は、バイクのトレーニングコースの受講を推奨します。

必要とされる技術の多くは似ており、路上の危険管理に関して得られる情報も3輪トライクによく当てはまるものです。

謝辞

BRP は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) が本オペレーターズガイドにMSFの道路上のモーターサイクルの安全性に関する資料を使わせていただいたことに謝辞を述べます。

MSFはあらゆるモーターサイクルメーカーから支持されている、国際的に認知された非営利財団です。モーターサイクルの安全性に関するコミュニティにトレーニング、工具およびパートナーシップを提供されています。詳細は下記のサイトを参照してください。

WWW.MSF-USA.ORG

空白ページ

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることもあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間あるいは数日も長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い、または部分的に閉じられたエリアで車両を絶対に運用しないでください。扇風機や窓およびドアを開けたりしてエンジン排気を通気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれる恐れがある場所では、決して屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

- 燃料を補給する場合、炎、火の粉、火がついてるタバコやその他の点火源から離れ、よく換気された屋外で行ってください。
- 決して、エンジンの稼働中には燃料を補給しないでください。
- 決して、燃料タンクから溢れさせないでください。温度の変化で燃料が膨張する場合がありますので、燃料タンクに若干の余裕を残してください。
- こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。
- 絶対に燃料フィラードアを開けたままで始動したり運転したりしないでください。
- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- ガソリン容器を車両に載せて運搬しないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医者にかかってください。
- ガソリンが体にかかった場合は、石鹼と水で皮膚をよく洗い、衣服を着替えてください。ガソリンで汚れた衣服を洗うときは、まず風通しの良い所で干して燃料を蒸発させ、その後手洗いしてから自然乾燥させてください。火災の危険を回避するため、ガソリンが除去されるまでは洗濯機や乾燥機を使用しないでください。

高温部分による火傷の回避

排気、オイルおよびクーリングシステム、およびエンジンは運転中に高温になります。多機能ゲージガラスなどの他の部品も、日光にさらされると高温になることがあり、温度が60 °C (140 °F) を超える可能性もあります。火傷を避けるために、運転中や運転直後は接触しないでください。

アクセサリーと改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造はBRPによる試験を受けていないので、交通事故や負傷の危険性を高め、車両の使用が違法となる場合があります。

通常のモーターサイクルとは異なり、車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。これは、通常の車両構成に対して較正が行われています。VSSは、重量配分、ホイールベース、タイヤ、サスペンション、ブレーキまたはステアリングを変更するなど、車両を改造した場合、適切に機能しなくなることがあります。

車両で使用できるBRPアクセサリについては、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

安全上の理由から、一部のBRPアクセサリーはBRPのディーラーが取り付ける必要があります。しかし、ディーラーが行う必要がないときにアクセサリーを自分で取り付けると決めた場合は、すべての指示に慎重に従うことが重要です。該当の場合は、製品の使用方法または整備に関するすべての情報を理解してください。

自分以外の別の人がアクセサリーを車両に取り付けた場合、そのアクセサリーの安全な使用方法または整備に関する多くの情報が存在することがあるため、BRPでは、該当の説明シートを読むことを強くお勧めしています。

説明シートは、次のサイトでご確認いただけます：

– [HTTPS://INSTRUCTIONS.BRP.COM](https://instructions.brp.com)

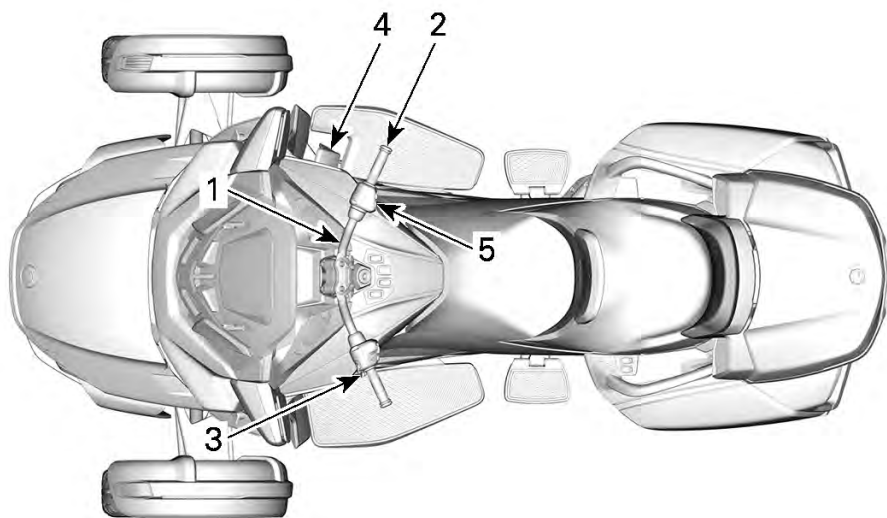
空白ページ

船体情報

基本コントロール

すべてのコントロールの位置と操作方法を知り、それらをスムーズおよ

びコーディネートよく利用するために練習することが必要です。



代表的な例

1. ハンドルバー
2. スロットル
3. ギアシフト・セクター
4. ブレーキペダル
5. パーキングブレーキボタン

ハンドルバー

両手でハンドルを握ります。行きたい方向にハンドルを切ります。

スロットル

右側のハンドルグリップをひねってスロットルを操作します。これにより、エンジンのトルククリクエストが制御され、車速が制御されるようになります。

速度を上げるには、スロットルを後方にひねります（手首を下げる）。

速度を下げるには、スロットルを離すか、前方にひねります（手首を上げる）。



スピードを上げる



スピードを下げる

スロットルはばねで留められており、グリップを放すとアイドリング状態に戻るはずですが。

この車両にはETC (Electronic Throttle Control、「電子スロットル制御」)が搭載されています。スロットルボディのスロットルプレートは電子的に制御されており、スロットルのツイストグリップ位置に関係なく、必要な時に開けたり閉めたりできます。

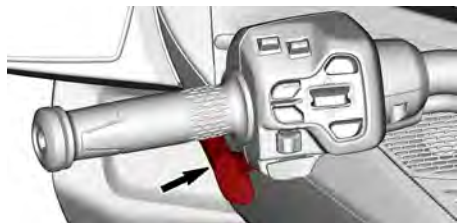
加速時は、車両の安定性を維持するために車両安定システム（VSS）がエンジンの加速を抑える場合があります。次に、車両が安定化された後、スロットルの位置が維持されて

いる場合、要求に応じてエンジンのRPMは上がります。これは「遅延」加速として実行されます。

VSSは車両を加速させることができません。VSSが行うのは、滑りやすい路面でのエンジンブレーキの効きを弱めることだけです。これにより、エンジンブレーキを原因とするリアタイヤのスリップを防ぎます。

ギアシフト・セクター

ギアシフト・セクターは、左ハンドルグリップの下にあります。

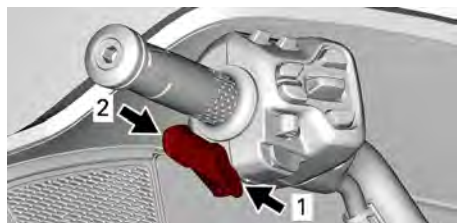


代表的な例

ギアのパターンは次のとおりです：

リバース - ニュートラル - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6

シフトアップするにはセクターを前に押します。シフトダウンするにはセクターを自分に目掛けて引きます。



代表的な例

1. アップシフト
2. ダウンシフト

これによりギアからギアへと順序よくシフトさせます。シフト後にセクターを放します。

- ギアを数段階シフトさせるには、セクターを数回使用します。

- 1速ギヤからニュートラルに入れるには、ブレーキペダルを踏んでシフトダウンします。
- ニュートラルから1速ギヤに入れるには、ブレーキを押してシフトアップします。
- リバースに入れるまたはリバースからシフトするには、リバースでの運転を参照してください。

ギヤシフトセレクターを放すと、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構がリセットされます。

減速中にシフトダウンせず、エンジンRPMがしきい値以下になってしまった場合、ギヤボックスは自動的に次の利用可能なギヤにシフトダウンします。

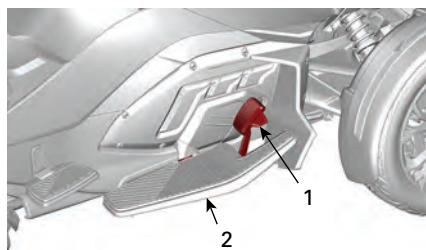
ギヤボックスがギヤに入っている状態でエンジンが起動された場合、自動的にニュートラルにシフトします。

ブレーキペダル

ブレーキペダルは、右側フロアボードにあります。操作するには下に押し下げます。このペダルは三つの車輪すべてにブレーキをかけます。

注意

走行中に足がブレーキペダルにもたれないようにしてください。さもないと、エンジンマネージメントシステムはブレーキシステムを守るためにLIMP HOMEモードを起動させます。



1. ブレーキペダル
2. フロアボード

パーキングブレーキボタン

パーキングブレーキボタンは右側ハンドルバーにあります。これは電動パーキングブレーキを起動または解除させます。

パーキングブレーキをかけずにエンジンを停止した場合、ビーブ音が20秒間鳴ります。



パーキングブレーキのかけ方

車両が停止してイグニッションキーがオンの状態で、**(P)** ボタンを押してパーキングブレーキをかけます。ブレーキインジケータランプが点滅します。



注記：

パーキングブレーキをかけるには、11V以上の電圧が必要です。バッテリー電圧が11V未満の場合、パーキングブレーキインジケータランプが点滅し、クラスターディスプレイにメッセージが表示されます。

⚠ 注意

人の負傷や車両の損傷を防止するため、車両が10 km/h (6 MPH) を超える速度で走行しているときは、パーキングブレーキがかかりません。

パーキングブレーキが完全に起動していることを確認します。車両を前後に揺すります。

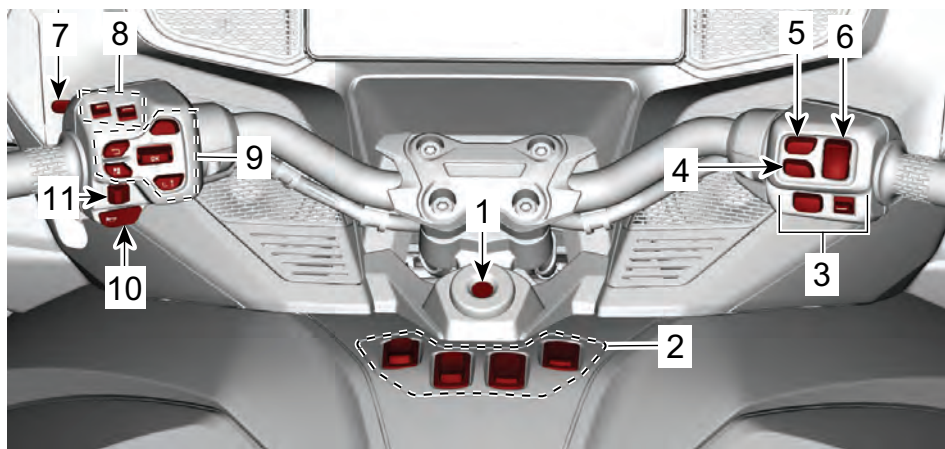
パーキングブレーキのリリースの仕方

パーキングブレーキを解除するには、**(P)** ボタンを押してブレーキインジケータランプが消灯したことを確認します。



二次コントロール

機能の一部はご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。



代表的な例

1. イグニッションスイッチ
2. スイッチ・クラスター
3. クルーズコントロールスイッチ
4. ハザード警告スイッチ
5. パーキングブレーキボタン
6. エンジンスタート/ストップスイッチ
7. ヘッドライト・スイッチ
8. オーディオコントロール
9. マルチメディアコントロール
10. クラクション・ボタン
11. ウィンカーボタン

イグニッションスイッチ

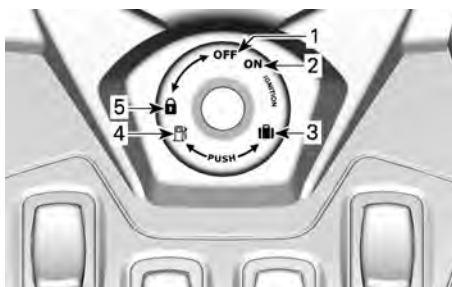
イグニッションスイッチは、ハンドルバー中央部のすぐ下にあります。

警告

イグニッション・スイッチをOFFにすると、エンジンおよびVSSおよびDPSを含むすべての電気システムをシャットオフさせます。これを車両が動いている最中にすると、コントロールを失って激突する可能性があります。

注意

キーを簡単に回せない場合、無理やり回さないでください。引き抜いて再挿入します。



1. OFF
2. ON
3. フロントストレージコンパートメント開
4. シート開/燃料キャップアクセス
5. ハンドルバーおよびグローブボックスロック位置

車両には二つのキーが付いてきます。各キーには、エンジンを起動させるためにあらかじめプログラムされ、無線周波数を通じてイモビライザーシステムによって読み取られる、特殊なトランスポンダーチップが含まれています。キーには電池が含まれていません。キーを分解しないでください。イモビライザーシステムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。イモビライザーシステムがキーを読み取れなくなる状況については、診断ガ

イドラインを参照してください。Can-Am On-Roadの認定ディーラーにキーをもう1つ製作してもらうには必ずスペアキーが必要であるため、スペアキーを安全な場所に保管してください。

イグニッション機能

OFF

キーはこの位置で挿入または引き抜くことができます。

OFFに回すと車両の電気システムはOFFになります。

エンジンはイグニッション・スイッチをOFFに回すことでシャットダウンできます。

ON

キーをこの位置に回すと、車両の電気システムが起動されます。

ゲージが起動されるはずです。

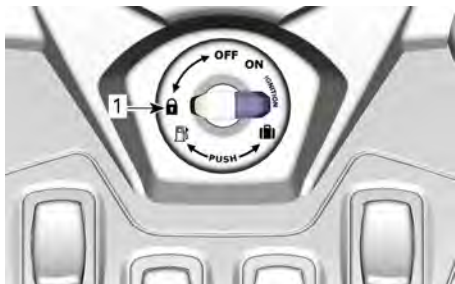
車両のライトがONになります。

これでエンジンを起動することができます。

ハンドルおよびグローブボックスのロック

ステアリング機構およびグローブボックスをロックするには：

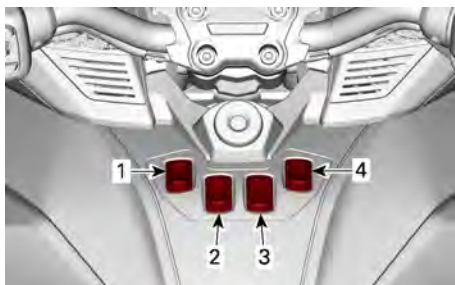
1. キーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. ハンドルを右または左に完全に回転させます。
3. キーを左に1/4回回してステアリング・ロックの位置までもっていき、キーを取り外します。



1. ハンドルバーおよびグローブボックスロック位置

スイッチ・クラスター

スイッチクラスターはセンターコンソールにあります。



1. フロントガラス
2. ドライバーのヒートッドグリップ
3. アクセサリースイッチの位置
4. ドライバーのヒートッドシート (リミテッドモデルのみ)

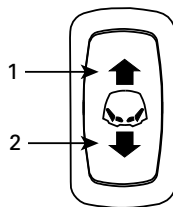
これには、さまざまな電気アクセサリを制御する多くのスイッチが含まれています。

注記：

これらのアクセサリのスイッチを作動させるには、バッテリー電圧が11V以上でなければなりません。

ウィンドシールドスイッチ

ウィンドシールド位置を変更するには、スイッチ上部を押してウィンドシールドを上げるか、スイッチ下部を押して下げます。



1. ここを押してウィンドシールドを上げる
2. ここを押してウィンドシールドを下げる

運転手のヒートッド・グリップ・スイッチ

ヒートッドグリップスイッチで、グリップヒーターの温度をコントロールできます。

注記：

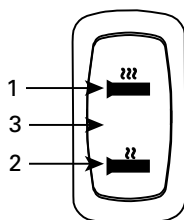
ヒートッドグリップは、エンジンが作動している間のみ電源が入ります。

温度を上げるには、スイッチの上側を押します。

温度を下げるには、スイッチの下側を押します。

温度は5段階あり、OFFのオプション（選択可能）もあります。

OFFのオプションを選択するには、グリップヒーターがオフになるまでスイッチの下側を押します。



1. 温度を上げる
2. 温度を下げる
3. 静止位置

注記：

スイッチの上部または下部のいずれかを押すと、スイッチは自動的に中央位置に戻ります。

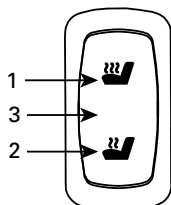
運転席シートヒータースイッチ

リミテッドモデルのみ

シートヒータースイッチはシートヒーターをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

シートヒーターを作動させるには、スイッチの上側（HI）または下側（LOW）を押します。

シートヒーターをオフにするには、スイッチを中間位置にします。



1. HI強度
2. LO強度
3. OFF (中央位置)

右多機能スイッチ



1. エンジンスタート/ストップスイッチ
2. クルーズコントロールスイッチ
3. ハザード警告ボタン
4. パーキングブレーキボタン（基本コントロールを参照）

エンジンスタート/ストップスイッチ

エンジンスタートスイッチは、右側ハンドルバーハウジングの右上にあります。

トグルスイッチはマルチポジションタイプです。



1. エンジンストップ位置
2. 作動位置
3. エンジンスタート位置

エンジンストップ位置

エンジンストップ位置は、トグルスイッチの上部を押したときに有効になります。

この位置により、ハンドルバーから手を放さずにいつでもエンジンを停止させることができます。

作動位置

作動位置は、トグルスイッチが中央位置になったときに有効になります。

エンジンを始動させる前に、トグルスイッチを作動位置に設定する必要があります。

エンジンスタート位置

エンジンスタート位置は、トグルスイッチの下部を押したときに有効になります。

エンジンが始動するまでトグルスイッチの下部を押し続けます。

クルーズコントロールスイッチ

クルーズコントロールスイッチは、右側ハンドルバーハウジングの下部にあります。



ボタンは、クルーズコントロール機能を作動させるために使用します。

注記：

クルーズコントロール機能はキャンセルのみが可能です。エンジン作動中は、完全に無効にすることができません。

トグルスイッチは多機能タイプです。これにより、設定、再開、速度の増減が可能になります。

また、クルーズコントロールが作動しているときは、次のアイコンが

タッチスクリーンディスプレイに表示されます。

⚠ 警告

トレーラーを牽引している際にクルーズ・コントロールを使用することは推奨されません。

セットされている場合、クルーズ・コントロールは車両の走行中に一定のスピードを保つことを可能にします。必要に応じてエンジン速度を上げ下げします。

注記：

車両のトルクは風、下り坂または上り坂などの道路状況に応じて多少異なる場合があります。

クルーズ・コントロールは交通が少ない高速道路など、長時間のドライブの使用のためにデザインされています。街中、曲がりくねった道、悪天候またはスロットルを制御する必要のあるいかなる状況でクルーズ・コントロールを起動させたまま絶対に車両を運転しないでください。

クルーズコントロールの制限

クルーズ・コントロールは自動操縦ではなく、車両を自動的に運転しません。

クルーズ・コントロールは道路上の出来事は把握できず、自動的にブレーキをかけたり操縦したりしません。

⚠ 警告

クルーズ・コントロールの不適切な使用により、車両のコントロールを失ってしまいかねません。

クルーズコントロールの有効化

クルーズコントロール機能を有効にするには、 ボタンを押します。

クルーズ・コントロールのキャンセル方法

次のいずれかの状態が生じると、クルーズコントロールがキャンセルされますが、無効（機能の完全な停止）にはなっていません。

- ブレーキペダルが踏まれた場合。
- ギヤチェンジ
- いかなる車両安定システムの介入。
- スロットルグリップを前方にひねる。
-  ボタンを押す。

クルーズ・コントロールの設定の仕方

クルーズコントロールを使用するには、車両速度が約 40 km/h (25 MPH) 以上でなければなりません。

まず、クルーズコントロール機能を有効にします。

注記：

このときのクルーズコントロールの状態は、タッチスクリーンディスプレイ内でグレーで表示されます。

維持したい速度まで車両を加速させ、その速度をセットするにはトグルボタンを下に押します。



注記：

このときのクルーズコントロールの状態は、タッチスクリーンディスプレイ内でグリーンで表示されます。

これでスロットルを戻すことができます。

⚠ 警告

走行中は必ず両手でハンドルを握ります。さもないと、車両のコントロールを失いかねません。

注記：

セットされた速度より早く走行したい場合、スロットル・グリップを使ってエンジン速度を加速させることもできます。スロットルをリリースすると、クルーズ・コントロールはセットされた速度に戻ります。

クルーズコントロールがセットされたら、トグルボタンを上下に押すことで速度設定を増減できます。

ボタンを押すごとに、速度設定は 1 km/h (1 MPH) ずつ変化します（変化量は、お客様が設定した単位によって異なります）。

ボタンを押し続けると、リリースされるまで、または運転限界に到達するまで速度設定が変更されます。

クルーズ・コントロールの再開方法

クルーズコントロールがキャンセルされても、クルーズコントロール機能がまだ有効である場合は、トグルボタンを上を押すことでクルーズコントロール操作を再開させることができます。クルーズコントロールは以前にセットされた速度まで復元します。



注記：

タッチスクリーンディスプレイでは、クルーズコントロール状態は「CRUISE SET」（クルーズSET）と表示されます。

ハザード警告ボタン

ハザード警告ボタンは、右多機能スイッチの中央、エンジンスタート/ストップスイッチの隣にあります。



ボタンを押すとハザード警告ライトがオンになります。

ボタンを再度押すと、ハザード警告ライトがオフになります。

ハザード警告ライトは、イグニッションキーがONまたはOFFの位置のときに使用できます。

左多機能スイッチ

ヘッドライトスイッチ

ヘッドライトスイッチは、左側多機能スイッチの背面にあります。



ヘッドライトが点灯しているときは、次のいずれかのアイコン (≡ D ≡)

) がタッチスクリーンディスプレイに表示されます。

スイッチはハイまたはロービームのヘッドライトの選択に使用します。ヘッドライトはエンジンが800RPMに達した時に自動的にONになり、エンジンの停止から約20秒後に自動的にOFFになります。

ハイビームを選択するには、スイッチをフロント位置まで押します。ロービームを選択するには、スイッチをバック位置まで押します。

ハイビームをフラッシュさせるには、スイッチを完全に押し込んでから放します。ハイビームはスイッチを押し続けている限りONになり続けます。

方向指示灯ボタン

方向指示灯ボタンは、多機能スイッチの左下にあります。



方向指示灯が作動しているときは、次のいずれかのアイコン (◀ ▶) がタッチスクリーンディスプレイに表示されます。

ウィンカーは曲がった後は通常自動的にOFFになりますが、浅い曲がりや車線変更の後に手動でOFFにする必要がある場合があります。

ウィンカーをOFFにするには、ボタンを中に押し入れます。

車両の走行中は、ウィンカーは30秒後に自動的にOFFになります。

クラクションボタン

クラクションボタンは、左側多機能スイッチの下側にあります。

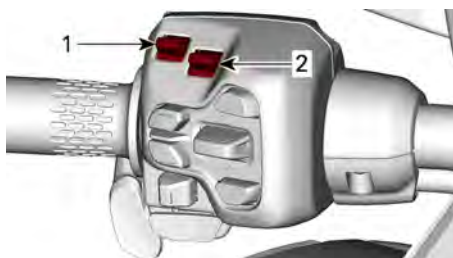


ボタンを押してクラクションを鳴らします。

クラクションは、イグニッションキーがONまたはOFFの位置のときに使用できます。

オーディオコントロール

オーディオコントロールボタンは、多機能スイッチの左上にあります。



1. 音量の増減
2. 前/次のオーディオ

音量の増減

車両のオーディオシステムの音量を調整するために使用します。



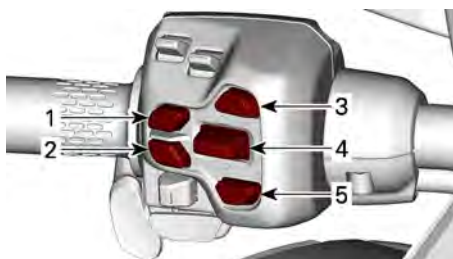
前/次のオーディオ

次または前の楽曲またはチャンネルに移動するために使用します。



マルチメディアコントロール

マルチメディアコントロールボタンは、多機能スイッチの中央にあります。



1. バックボタン
2. 走行設定ボタン
3. 音声アシスタントボタン
4. 上/下/OKボタン
5. アプレットスイッチャーボタン

バックボタン



前のページ/メニューに戻るために使用します。

走行設定ボタン



すぐにアクセスして、走行設定マネージャーに含まれている設定を変更します。下記のものが含まれています。

- オーディオ出力選択
- 走行モード
- グリップヒーター

音声アシスタントボタン



電話の音声アシスタントを起動させるために使用します。この機能を使用するために、オペレーターは、Bluetooth経由で電話とヘッドセットを接続する必要があります。

上/下/OKボタン



ボタンを上下に動かして、タッチスクリーンオプションを移動します。

ボタンを押して、選択またはコマンドを確定します。

アプレットスイッチャーボタン



アプレットスイッチャーマネージャーメニューで設定されたアプレットを変更するために使用します。

- スマートフォン (Bluetoothまたは Apple CarPlay経由でペアリングされている場合)
- メディア
- 統計情報
- フルゲージ
- ラジオ (装備されている場合)
- Apple CarPlayまたはBRP GO! On-road Navigationでのナビゲーション

同乗者用コントロール



1. グリップヒータースイッチ
2. シートヒーターのスイッチ

グリップヒータースイッチ

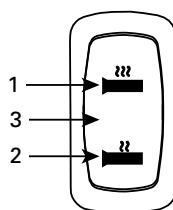
グリップヒータースイッチは、シートと左パッセンジャグリップとの間にあります。



グリップヒータースイッチはグリップヒーターをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

グリップヒーターを作動させるには、スイッチの上側 (HI) または下側 (LOW) を押します。

グリップヒーターをオフにするには、スイッチを中間位置にします。



1. HI強度
2. LO強度
3. OFF (中央位置)

注記：

ヒートド・グリップはエンジンが800 RPM以下になると自動停止され、自動的に再起動しません。

シートヒータースイッチ

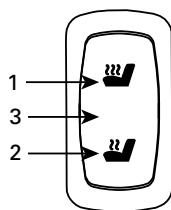
シートヒータースイッチは、シートと左パッセンジャグリップとの間にあります。



シートヒータースイッチはシートヒーターをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

シートヒーターを作動させるには、スイッチの上側 (HI) または下側 (LOW) を押します。

シートヒーターをオフにするには、スイッチを中間位置にします。



- 1. HI強度
- 2. LO強度
- 3. OFF (中央位置)

注記：
シートヒーターはエンジンが 800 RPM 以下になると自動停止され、自動的に再起動しません。

10.25インチタッチスクリーンディスプレイ

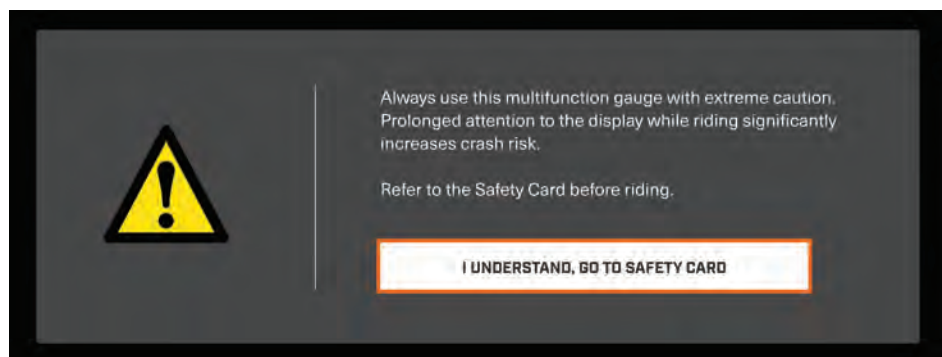
安全に関するディスプレイメッセージ

車両の発進準備が整うと、2つの安全メッセージがタッチスクリーン画面に表示されます。

それらのメッセージをよく読んで理解してください。

最初の安全メッセージ

この最初の安全メッセージは、イグニッションキーがONになるたびに表示されます。



タッチスクリーン画面のメッセージの白い部分を直接押すか、左多機能スイッチのOKボタンを押すと、安全カードメッセージが表示されます。

安全カードのメッセージ

車両の発進準備が整うと、2つ目の重要安全メッセージがタッチスクリーン画面に表示されます。

安全カードのメッセージ全体を見るには、指で画面をスクロールしてください。

右上隅のXを押すとメッセージが閉じられ、最初の安全メッセージに戻ります。

す。安全メッセージの最後に示されている適切な措置を講じるまで、車両は始動しません。

⚠ 警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。

この製品の特殊性について理解してください。オペレーターズガイドを読み、QRコードリンクからまたはCan-Am On-Roadのウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース (利用可能な場合) を修了し、練習を行い、制御方法に熟練して、適切な免許を取得してください。

- 車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。
- 氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりと流水を避けてください。
- このタイプの車両は、水上でハイドロプレーニングを起こし、道路を覆った砂利、泥、砂でスリップする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

常にヘルメットとライディングギアを着用してください。

- 自動車とは異なり、このタイプの車両では運転者が道路からのより多くの危険に曝されます。
- 高い運転技術を備えたライダーであっても、他の車両に衝突されて制御不能になる場合もあります。
- この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

乗客に適切な指導を行ってください：

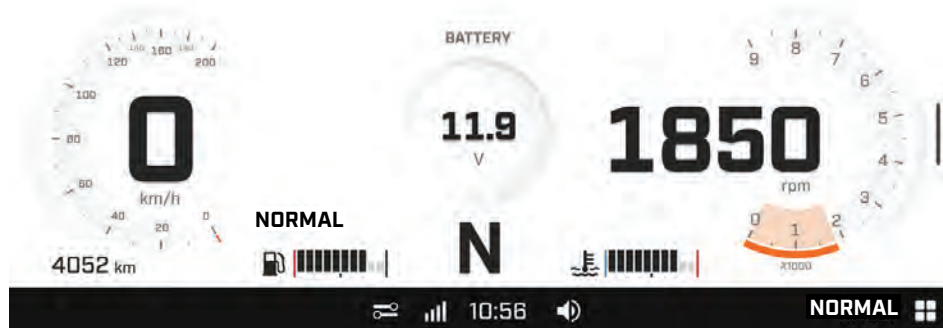
- 常に取っ手を握り、ベグから足を離さないでください。
- 道路を注意して見てください。カーブを曲がる時に体を傾けてください。道路の隆起部では身を引き締めてください。

常に以下のことを心がけてください：

- フットペダルを使ってブレーキをかけてください。
- 曲がる方向にハンドルを切ってください (逆ハンドルを切らないでください)。
- 車線内にすべての車輪を維持し、必ず1つの車線内を走行してください。2車線をまたいで走行しないでください。
- 日常点検を行ってください。

スロットルハンドルを前方 (ドライバーから遠くなる方) にひねり、スタートボタンを有効にします。

デフォルトの表示



夕方または夜間走行するときは、ダークモードも利用できます。

ディスプレイの操作

⚠ 警告

タッチスクリーンディスプレイを見ていて気が取られると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。常に道路状況に注意を払い、進路が開けており、障害物がないことを確認してください。さらに、運転時、道路状況の確認を維持するために、タッチスクリーンディスプレイに目をやることは一瞬のみにしてください。

走行する前に、インフォテインメントセンターのいくつかの機能を選択して練習することをお勧めします。徐々に慣れてきて、走行中でも簡単に使用ができるようになります。

ディスプレイはタッチスクリーンであり、車両が停止しているときに、さまざまなメニューと機能に移動することができます。

タッチスクリーンは、車両が動き始めると無効になります。

車両が動いているとき、ディスプレイのメニューと機能の移動には、左ハンドルバーの多機能スイッチのみが使用可能です。

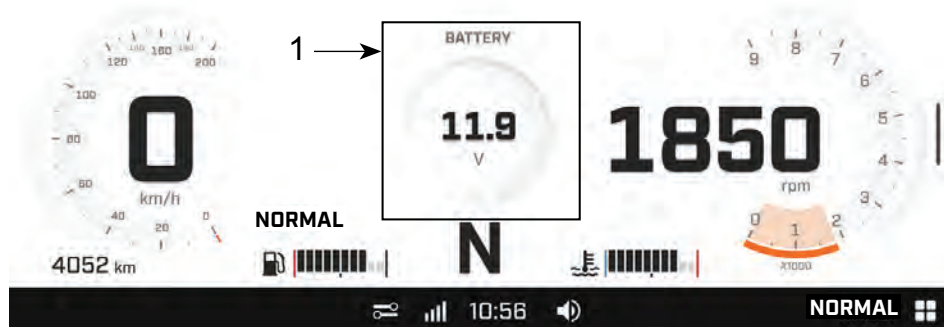
左ハンドルバー多機能スイッチのアプレットスイッチャーボタンを押すと、ユーザーは、右側の表示の中で、アプレットをサイクル表示させることができます。その順番は、設定の中で決定できます。

センターディスプレイ

フルゲージビューで画面の中央上側を長押しすると、以下のセンターゲージのうち1つが表示されます。さらに長押しすると、センターゲージがサイクル表示されます。

- バッテリーの電圧
- エンジン温度
- 走行可能距離 (推定範囲)

- 現在の燃料消費量
- タイヤ圧力 (装備されている場合)
- タイヤ温度 (装備されている場合)



1. このエリアを長押しする

フルゲージビューで画面の左下を長押しすると、以下の情報が表示されます。さらに長押しすると、項目がサイクル表示されます:

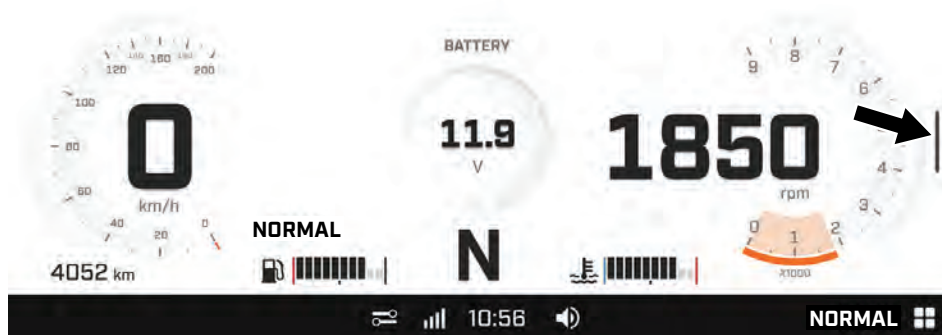
- 走行A距離
- トリップA、時間
- 走行B距離
- 走行B時間
- 積算距離 (オドメーター)
- 合計時間



ビューディスプレイ

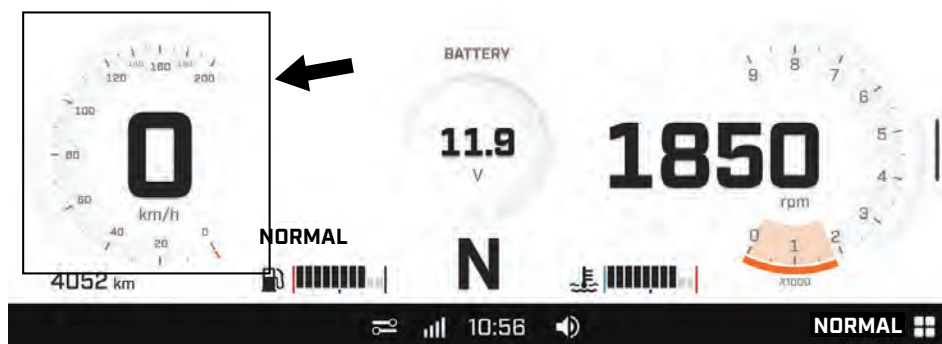
フルゲージビューから分割画面ビューへ変更するには、アプレットスイッチャーを押すか、ディスプレイの右側からデイバイダーをドラッグします。

フルゲージビューに戻すには、アプレットスイッチャーを長押しするか、デイバイダーを元の位置にドラッグします。



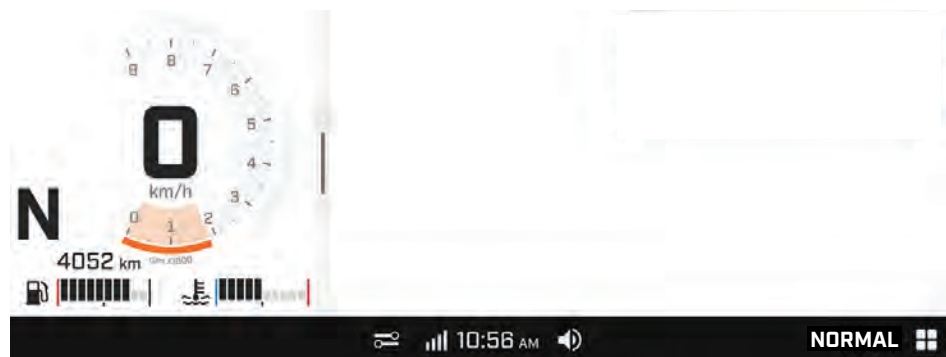
左側および右側の表示のサイズは調整できません。

左側の表示



分割画面ビューでは、左側の表示に以下のものが含まれます。

- ゲージ
 - スピードメーター
 - 車両オドメーター
 - トリップメーター
- タコメーター



分割画面ビューでトリップメーターを長押しすると、以下の項目のうち1つが表示されます。さらに長押しすると、項目がサイクル表示されます。

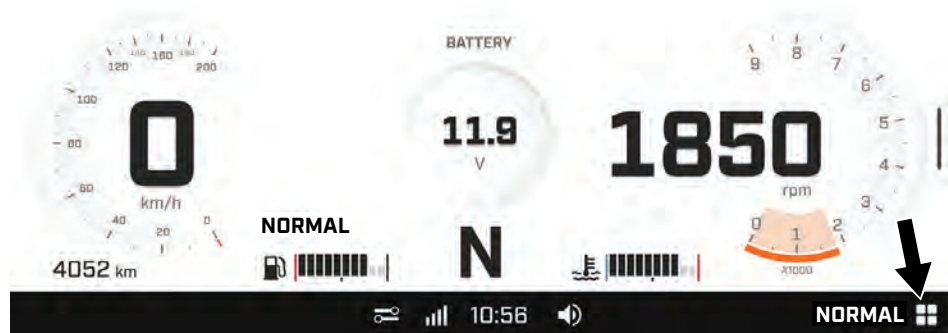
- 走行A距離
- トリップA、時間
- 走行B距離
- 走行B時間
- 積算距離 (オドメーター)
- 合計時間

右側の表示

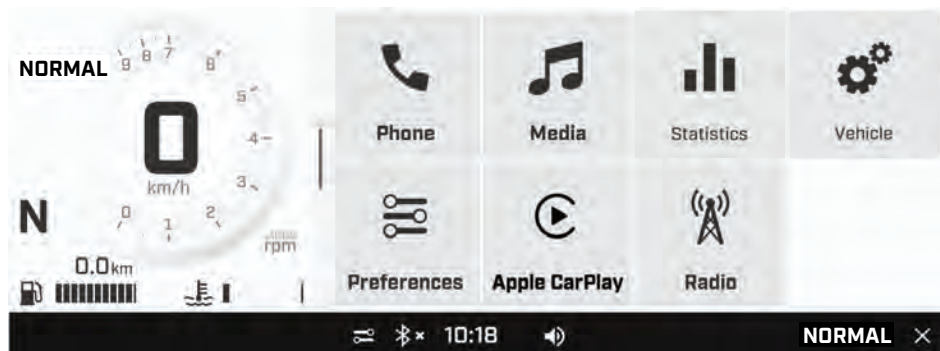
分割画面ビューでは、左側の表示にさまざまなアプレットが含まれています。詳細はアプレットメニューを参照してください。

アプレットメニュー

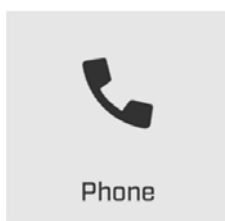
アプレットメニューにアクセスするには、右下隅のホームメニューアイコン  を押します。



表示されているアイコンを通じて選択し、該当のアプレットを開きます。



電話



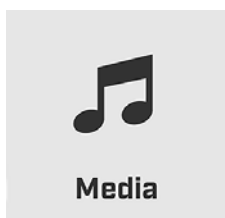
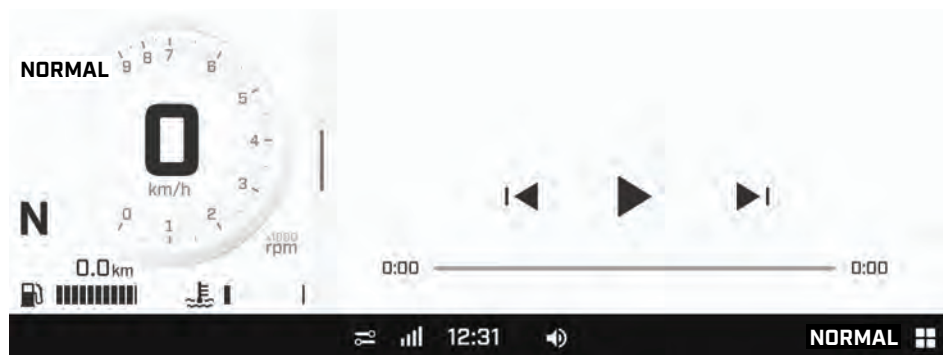
Phone (電話) メニューにアクセスするには、電話とライダー用ヘルメットのペアリングを行う必要があります。Bluetoothによるスマートフォンのペアリングを参照してください。



Phone (電話) アプレットは、次のものにアクセスするために使用されます。

- キーパッド
- 電話接続リスト
- 通話履歴

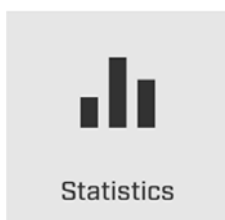
メディア



Mediaアプリは、下記操作のために使用されます。

- ヘルメットオーディオシステムで聴く楽曲の選択と、音量の操作
- 楽曲情報の表示（利用できる場合）

統計情報



Statistics

■■■ Current Ride

A Trip A

B Trip B

Statistics (統計) アプレットは、次のものにアクセスするために使用されます。

- 走行距離情報
- 走行経過時間情報
- 平均速度
- 平均燃料消費

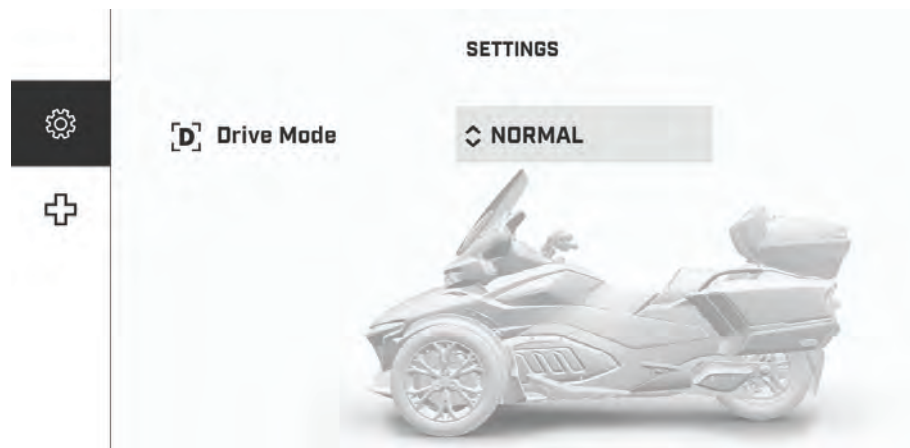
3セットの統計情報がメモリに保存されています。

- TripA (トリップA) は独立してリセットできます。
- TripB (トリップB) は独立してリセットできます。
- 現在の乗車統計は、車両が再始動するとリセットされます。

車両 (艇体) 設定



Vehicle



Vehicle Settings (車両 (艇体) 設定) メニューは、下記操作のために使用されます。

- ドライブモード設定の調整
- 車両 (艇体) 健全状態の確認：
 - 車両情報
 - 故障 (コードおよび詳細)
 - セーフティカード

設定



Preferences (設定) アプレットは、下記操作のために使用されます。

- ディスプレイの輝度と表示の調整 (ライト/ダーク/オート)
- Bluetoothデバイスのペアリング：
 - 電話
 - ドライバーヘッドセット
 - パッセンジャーヘッドセット
- Wi-Fiネットワークへの車両 (艇体) の接続
- BRP GO! On-road Navigationのロック解除
- Audio (オーディオ) メニューへのアクセス
 - オーディオ出力の設定 (ヘッドセットまたはスピーカー (装備されている場合))
 - Fade/Balance (フェード/バランス) 設定へのアクセス
 - 自動音量コントロール

- General (一般) 設定へのアクセス :
 - 単位 (インベリアル/メートル) の調整
 - 言語の設定
 - 日付と時刻の設定
 - Wi-Fi経由でのソフトウェアの更新
 - メーカー情報およびデバイスの規制準拠についての情報の入手
 - 工場設定へのディスプレイのリセット
- 走行中に、アプレットスイッチャーボタンを使用して、使用するアプレットを決定
- 走行中に、ライド設定ボタンを使用して、使用する設定を決定

ソフトウェアの更新を定期的に確認するよう推奨します。

クイックリファレンス

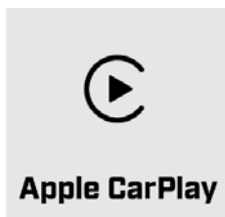
Quick Preferencesメニューにアクセスするには、次の図のアイコンを押します。



Quick Preferences (クイックプリファレンス) メニューは、下記操作のために使用されます。

- ディスプレイの表示の調整 (ライト/ダーク/オート)
- スクリーンのロック (スクリーンのいずれかの部分を長押しして解除)
- Bluetoothデバイスの追加
- 接続されているBluetoothデバイスの表示

Apple CarPlay



Apple CarPlayを使用するには、次の操作が必要です。

1. ヘルメットオーディオシステムをBluetooth経由でディスプレイにペアリングします。
2. 対応のiPhoneをUSBケーブル経由でディスプレイに接続します。

注記：

2つのデバイスの一方が正しく接続されていないと、Apple CarPlayを使用できません。BRPでは、Bluetooth 5.0以降に対応したVibe、Sena、Cardo、またはNolanのオーディオシステムの使用を推奨しています。これらは、10.25インチタッチスクリーンディスプレイとの互換性が確認されています。その他のヘッドセットでも動作する可能性はありますが、動作が不安定になり、接続の問題が生じるおそれがあります。*また、BRPでは、3アンペアに対応し、データ転送速度が480 Mbps以上のUSB 2.0以上のケーブルの使用を推奨しています。

Apple CarPlayは、楽曲の再生、電話の発信/応答、Apple Mapsの表示に使用されます。また、Apple CarPlayでは、対応しているその他の多くのアプリケーションを実行できます。サービスまたは操作の詳細については、Apple CarPlayのサイト (<https://www.apple.com/ios/carplay/>) を確認してください。

BRP GO! On-road Navigation



互換性のあるAndroidまたはAppleスマートフォンを所有している場合は、10.25インチタッチディスプレイでBRP GO! On-road Navigationを使用できます。

BRP GO! On-road Navigationを作動させるには、次の手順を行う必要があります。

– スマートフォンでの手順

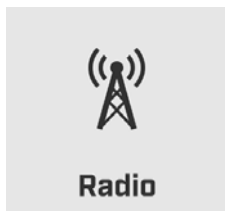
1. BRP GO!アカウントの作成またはログイン
 2. 10.25インチタッチスクリーンディスプレイ搭載の車両をプロフィールに追加します。
- 10.25インチタッチスクリーンディスプレイ上で、次の手順を実行します：
1. Preferences (設定) > Navigation (ナビゲーション) に移動し、「ON」を選択します。
 2. REBOOTを押します。
 3. ナビゲーションアプレットを開きます
 - 4.
- スマートフォンに戻り、次の手順を実行します：
1. BRP GO!アプリを開きます。

2. スマートフォンをUSBケーブル経由でディスプレイに接続します。

注記：

BRP GO! On-road Navigationは、機能させるときにBluetooth経由でオーディオシステムとペアリングする必要はありません。*BRPでは、3アンペアに対応し、データ転送速度が480 Mbps以上のUSB 2.0以上のケーブルの使用を推奨しています。

ラジオ



Radio (ラジオ) アプレットは、下記操作のために使用されます。

- ヘルメットまたは車両のオーディオシステムで聴くラジオ局の選択と音量の操作
- ラジオ情報の表示 (利用できる場合)

アイコンおよびインジケーター

警告および表示ライト

警告および表示ライト	
	緑色 - フラッシャー
	ハザード警告点滅灯 - 前後のすべての方向指示燈が点滅。
	オレンジ色 - 車両機能異常
	青色 - ハイビーム
	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
	緑色 - ニュートラル
	赤 - ブレーキロックレバーが掛かっている、またはブレーキシステムの不具合
	RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。

警告および表示ライト

	オレンジ色 - ABSシステムの不具合。
	赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン
	オレンジ色 点灯：燃料レベル低下 点滅：燃料レベルのセンサーが故障
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケータ

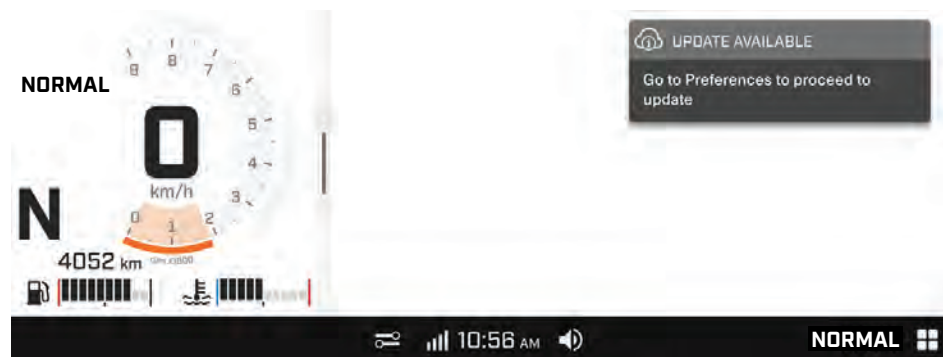
アイコン	詳細
	アプレットメニュー
	音量
	Bluetooth
	時計
	クイックリファレンス
	スマートフォンネットワーク接続
	温度
	同乗者アイコン - 右側の同乗者用フットペグが開いていると、このアイコンが点灯します。

アイコン	詳細
	VSSアイコン 点灯：VSS関連モードが作動している、VSSが作動している、または不具合がある 点滅：VSSが介入している
	タイヤ空気圧アイコン 点灯：- TPMSがタイヤの圧力の問題を検出している。 点滅：TPMSシステムの問題が検出されている。

タッチスクリーンディスプレイのメッセージ

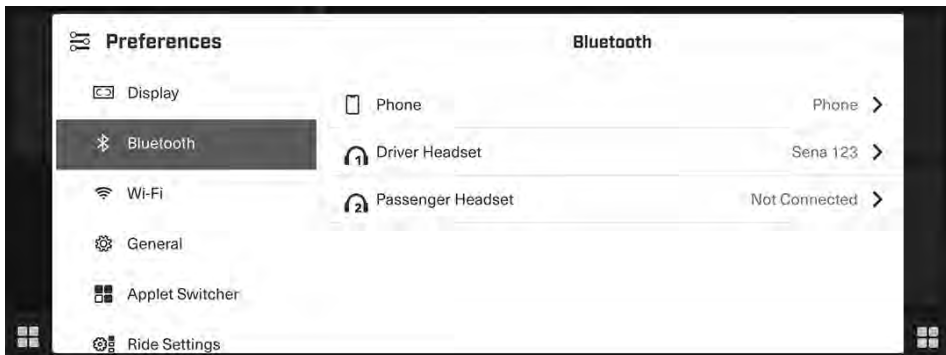
インフォテイメント通知には、接続されているデバイスに関するメッセージがあります。

通知は、常に画面右上隅に表示されます。



Bluetoothによるスマートフォンのペアリング 車両での手順

1. アプレットメニューを開きます。
2. Preferences (設定) メニューからBluetoothを選択します。



3. **Phone** (電話) を展開します。

4. **Add Device** (デバイスを追加) を選択します。

車両には、スマートフォンを2台までペアリングできます。スマートフォンは、1個のみであればいつでも接続できます。

電話での手順

1. スマートフォンのBluetooth™機能を有効にします。車両のディスプレイが電話を検知したら、その名前 (つまり、**BRP_[last 4 digits of the vehicle's VIN]**) が電話に表示されます。
詳しい手順については、スマートフォンメーカーのユーザーガイドを参照してください。
2. 車両のディスプレイで、電話の名前を選択します。
3. 確認番号が、電話および車両のディスプレイに表示されます。これらの番号が一致していることを確認してください。
4. 電話上で、**Pair** (ペアリング) を選択します。
5. 電話の**Contacts and Favorites Sync** (連絡先とお気に入りの同期) に、電話アプリの**Recent** (最近) と**Contacts** (連絡先) の使用を許可します。通知により、ペアリングが確認されます。

ヘルメットのペアリング

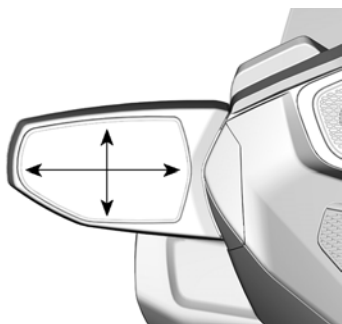
ヘッドセットオーディオシステムをペアリングモードにします。プロセスは、ヘッドセットモデルによって異なります。必要な場合は、ヘッドセットのユーザーガイドを参照してください。

ヘルメットをペアリングするには、*Bluetooth*によるスマートフォンのペアリングを参照してください。その後、**ドライバーヘッドセット**または**パッセンジャーヘッドセット**を選択します。

装備品

ミラー

以下に表示されているミラーの箇所を指で押して、位置を4方向に調整します。



ミラー調整箇所

グローブボックス



グローブボックスの開き方

1. まず、グローブボックスを開けるためにハンドルバーがロックされていないことを確認します。
2. カバーの下側を押して解除します。



1. ここを押してリリースする

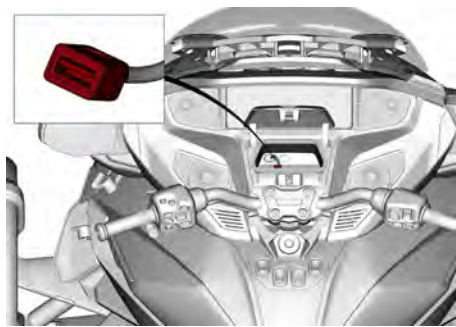
3. カバーを開く。
4. 次にカバーを開けてグローブボックスの下端を押して掛け金をかけます。

注記：

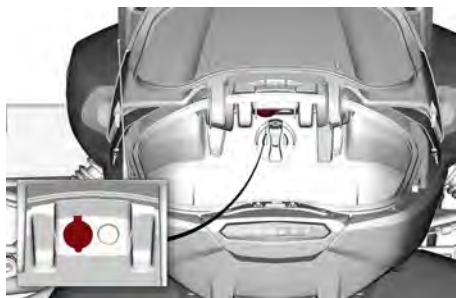
使用後は必ずグローブボックスをロックしてください。

USBポート

USBポートはグローブボックス内にあり、リアストレージコンパートメントにももう1つあります。



グローブボックス



上部ストレージコンパートメント

フロント USB ポートは、Apple CarPlayを作動させるために使用する必要があります。

上部ストレージコンパートメント内にあるリアUSBポートは、スマートフォンの充電専用です。これらのUSBポートからはデータ転送ができません。

フロントストレージコンパートメント

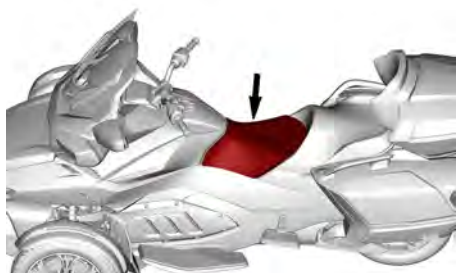
フロントストレージコンパートメントの開け方

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを押して反時計方向に1/4回転回してフロントストレージコンパートメント位置にし、キーの位置を維持しながらカバーを持ち上げます。



1. フロントストレージコンパートメント開

運転席



シートの開け方

1. キーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. キーを押して時計方向に1/4回転回してシート開位置にし、キーの位置を維持しながらシートを持ち上げます。



1. シート開/燃料キャップアクセス

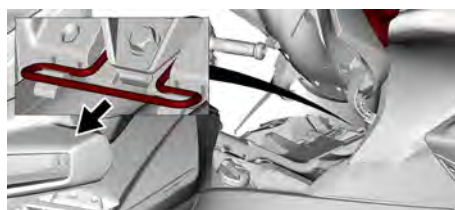
注意

壊れる可能性があるため、シートを最大開度以上開けようとししないでください。

運転席バックレスト

運転席のバックレストの取り外し

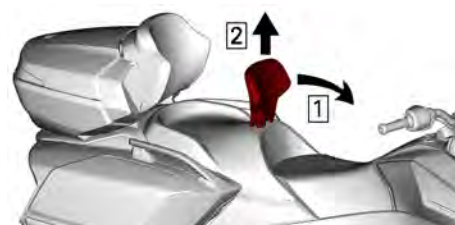
1. 運転席を開けます。
2. ラッチロッドを引いてバックレストのロックを解除します。



3. バックレストを取り外し、ラッチロッドを押し戻します。

運転席のバックレストの調整

1. バックレストを若干前方に引き、バックレストのロックを解除して持ち上げて調整します。



手順1. 前方に引く
手順2. 持ち上げる

2. バックレストを前方に倒し、カバーを若干引き上げます。調整スクリューを回し、バックレストを希望する角度に調整します。

- 時計方向に回すと、バックレストが若干後方に傾斜します。
- 反時計方向に回すと、バックレストが若干後方に傾斜します。



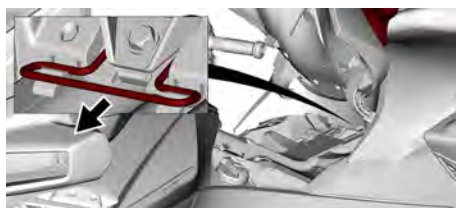
3. ラッチロッドを押し戻します。

同乗者席



運転席のバックレストの取り付け

1. ラッチロッドを引きます。



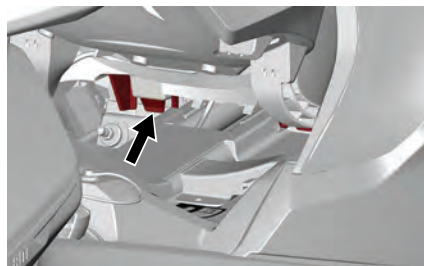
2. バックレストを所定の位置まで下げます。

⚠ 注意

バックレストには、2つの高さ位置があります。バックレストが、2つの位置のいずれかに正しく固定されていることを確認します。

シートの取り外し

1. 運転席を開けます。
2. シートのラッチを解除します。各側にラッチが1つあります。



同乗者シートの右側ラッチを示す

3. シートを前方に引き、後部のタブを解除します。
4. シートを若干持ち上げて、ヒートシートコネクターを外します。

シートの取り付け

1. ヒートシートコネクターを接続します。
2. 後方のタブをサポート開口部に挿入します。
3. シート前側を押して、シートを固定します。

4. 運転席を閉じます。

ストレージコンパートメント

サイド・ストレージ・コンパートメントの開き方

サイドストレージコンパートメントの前部分にはラッチがあります。



右側



左側

ラッチを引き上げて、サイドストレージコンパートメントカバーを開けます。ロックされている場合は、イグニッションキーを使用してロックを解除します。



注記：

カバーをゆっくりと開けます。走行中に、コンパートメント内の物が移動している場合があります。

サイド・ストレージ・コンパートメントの開め方

⚠ 警告

使用後は、必ずカバーを閉じて固定してください。カバーが開いているまたは誤って固定されている状態では、絶対に車両を運転しないでください。コンパートメント内の物が外に落下し、危険な道路状況が発生させることがあります。

ゆっくり閉じて空気が流れ出るようにします。

カバーの中央上側に手を置いて押し、ロックします。

上部ストレージ・コンパートメントの開け方

上部ストレージ・コンパートメントのラッチは車両の後部にあります。



ラッチを引き上げてカバーを開けます。ロックされている場合は、イグニッションキーを使用してロックを解除します。

注記：

カバーが開かない場合は、ラッチを押しながら軽く前後左右に動かしてください。ラッチを調整する場合は、認定Can-Amディーラーにご相談ください。

上部ストレージコンパートメントの 閉め方

注意

上部ストレージコンパートメントを閉めるには、カバー機構部のロックが解除されていなければなりません。カバーを閉じることができない場合、無理に閉じないでください。何かガカバーの邪魔になっていないか、およびラッチが動作するか確認してください。

カバーを閉鎖位置に持って行きます。

手をカバー中央のラッチのすぐ上に置き、押してロックします。

上部ストレージコンパートメントの 取り外し

警告

走行するときは、上部ストレージコンパートメントを必ず取り付けて正しくロックしてください。上部ストレージコンパートメントがない場合は、車両を使用しないでください。

1. 上部ストレージコンパートメントカバーを開きます。
2. 中央のLinQノブを反時計方向に1/4回転回してロックを解除します。



3. 後部のハンドルを使用して、車両から上部ストレージコンパートメントのラッチを解除します。



4. ストレージコンパートメントを若干持ち上げてからその下に手を入れ、同乗者シート付近にあるコネクターを切り離します。
5. ストレージコンパートメントを後方に引き、車両から取り外します。

上部ストレージコンパートメントの 取り付け

警告

走行するときは、上部ストレージコンパートメントを必ず取り付けて正しくロックしてください。上部ストレージコンパートメントがない場合は、車両を使用しないでください。

1. ストレージコンパートメントの両方のアームの位置を、同乗者シートの両側にあるサポートに合わせます。
2. ストレージコンパートメントを持ち上げた位置で保持し、同乗者シート付近のコネクターを接続します。
3. ストレージコンパートメントを下ろし、押し下げてロックします。
4. 上部ストレージコンパートメントカバーを開きます。
5. 中央のLinQノブを時計方向に1/4回転回して、ストレージコンパートメントを固定します。

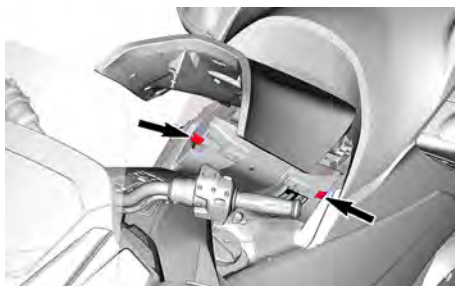


6. ストレージコンパートメントをしっかりつかみ、車両に正しく取り付けられ、ロックされているか確認します。
7. 上部ストレージコンパートメントカバーを閉じます。

ヘルメットフック

ヘルメットを固定するためにシート下に二つのヘルメット・フックがあります。

1. 運転席を開きます。
2. ヘルメットのストラップ・バックルをフックに固定します。



3. ヘルメットを車両のサイドパネルにゆっくり置きます。
4. 慎重にシートおよびラッチを閉じます。

ツールキット (装備されている場合)

ツールキットは上部ストレージコンパートメントにあります。

車載工具には、本オペレーターズガイドで記載されている基本メンテナンスに必要な工具が含まれています。

オペレーターズガイド

オペレーターズガイドはフロントストレージコンパートメント内にあります。

サービスカバー

フロントサービスカバー



下記のものにアクセスするには、フロントサービスカバーを取り外す必要があります。

- クーラントリザーバー
- 診断機能コネクター

Removing the Front Service Cover

フロントサービスカバーの取り付け

1. サービスカバーの両方のボルトをコンソールカバーの下に挿入します。
2. サービスカバーの中央上側を押して、固定します。

右サービスカバー



下記のものにアクセスするには、右サービスカバーを取り外す必要があります。

- ブレーキ液リザーバー

－ エンジンオイルフィルター

右サービスカバーの取り外し

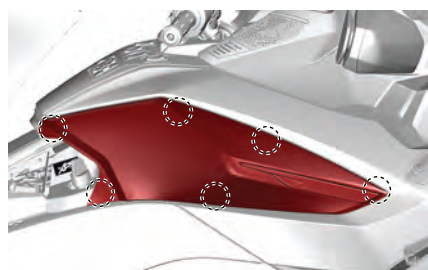
1. 運転席を開けます。
2. サービスカバーの後方下端部を引いて、ラッチを解除します。



3. サービスカバーを引いて車両から取り外します。

注記：

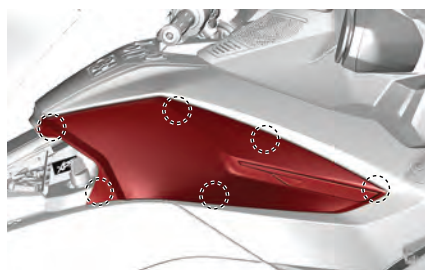
6つの固定タブが、サービスカバーを所定位置に固定します。



固定タブの位置

右サービスカバーの取り付け

1. 最初に前側の固定タブを挿入します。
2. 残りのタブの位置を、それぞれのスロット穴に合わせます。
3. 固定タブ位置の近くを押して、サービスカバーを固定します。



左サービスカバー



エンジンエアフィルターに手が届くようにするには、左サービスカバーを取り外す必要があります。

左サービスカバーの取り外し

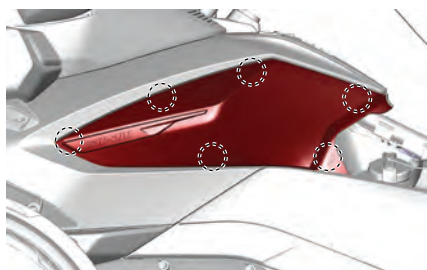
1. 運転席を開けます。
2. サービスカバーの後方下端部を引いて、ラッチを解除します。



3. サービスカバーを引いて車両から取り外します。

注記：

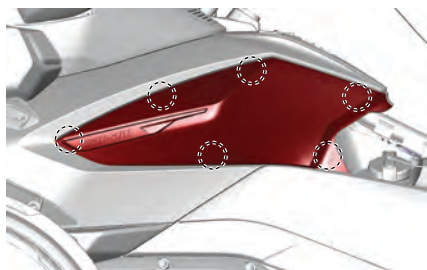
6つの固定タブが、サービスカバーを所定位置に固定します。



固定タブの位置

左サービスカバーの取り付け

1. 最初に前側の固定タブを挿入します。
2. 残りのタブの位置を、それぞれのスロット穴に合わせます。
3. 固定タブ位置の近くを押して、サービスカバーを固定します。



タイヤ圧力モニタリングシステム (装備されている場合)

追加の安全機能として、車両にはタイヤ圧力モニタリングシステム (TPMS) を装備することが可能です。このシステムは、1本以上のタイヤの空気圧が著しく低下すると、タイヤ圧力低下警告灯 (⚠) を点灯させ、ディスプレイの右上隅にメッセージを表示します。

16 kPa (2.3 lbf/in²) の差が確認されたときは、ゆっくりとした空気漏れとして検知されます。

各タイヤは、冷えた状態で頻繁に点検し、運転席の下にあるタイヤ圧ラベルに記載されている適切な空気圧に調整してください。

タイヤ圧力モニタリングシステムは、タイヤ圧力が著しく低下したときに、各ホイールに設置されたセンサーから信号を送信することで、ドライバーに警告メッセージを表示します。

タイヤ圧力モニタリングシステムは、車両の走行速度が 25 km/h (15 MPH) 以上のときにのみ作動します。また、このシステムは、タイヤ圧力の急激な低下 (例えば、鋭利な物を踏んで発生したパンクなど) に対しては、即座に反応しない場合があります。

イグニッションスイッチを「ON」の位置にすると、タイヤ圧力モニタリングシステム (TPMS) が正常に機能していることを確認するために、タイヤ圧力低下警告灯 (⚠) が約2秒間点灯します。問題がなく、すべてのタイヤの圧力が適正であれば、警告灯は消灯します。

したがって、タイヤ圧力低下警告灯 (⚠) が点灯したときは、できるだけ早く停車してタイヤ圧を確認し、適正な圧力まで空気を充填してください。タイヤ圧力が著しく低下した状態で走行すると、タイヤが過熱し、タイヤの故障につながるおそれがあります。また、空気圧不足は燃費やタイヤのトレッド寿命を低下させ、車両のハンドリング性能や制動能力に影響を与える可能性があります。

⚠ 警告

TPMSは適切なタイヤメンテナンスの代わりとなるものではありませんのでご注意ください。たとえ空気圧不足がTPMSのタイヤ圧力低下警告灯が点灯するレベルに達していなくても、適正なタイヤ圧力を維持するのはドライバーの責任です。

システムが故障を検知すると、警告灯 (⚠) は約1分間点滅した後、点灯し

続けます。この動作は、不具合が存在する限り、その後のエンジン始動時にも繰り返されます。不具合インジケータが点灯しているとき、タイヤ圧システムは意図したとおりにタイヤ圧の低下を検知または警告できない可能性があります。

TPMSの不具合は、交換用または代替のタイヤやホイールを車両に装着したことによりTPMSが正常に機能しなくなるなど、さまざまな理由で発生する可能性があります。車両のタイヤまたはホイールを1つ以上交換した後は、必ずTPMSの不具合警告灯を確認し、交換したタイヤやホイールでTPMSが引き続き正常に機能していることを確認してください。

警告灯が約1分間点滅した後、点灯したままになる場合は、できるだけ早く認定 Can-Am On-Road ディーラー

にシステムの点検を依頼してください。

⚠ 警告

イグニッションスイッチをオンにした後、このライトが一時的に点灯しない場合、または約1分間点滅した後、点灯したままになる場合は、できるだけ早く認定 Can-Am On-Road ディーラーにタイヤ圧モニタリングシステムの点検を依頼してください。
走行中にこのライトが点灯した場合は、絶対に急ブレーキをかけないでください。その代わりに、次の手順に従ってください。この指示に従わない場合、車両の重大な損傷や重傷を伴う事故が発生するおそれがあります。

1. 速度を徐々に落としながら、まっすぐ前進し続けてください。
2. ゆっくりと路肩に寄せて、安全な場所に停車してください。
3. すべてのタイヤの空気圧を確認し、運転席側のドアピラーにあるタイヤ空気圧ラベルに記載の冷間時の空気圧に合わせて調整してください。

タイヤ圧を調整した後も走行中にこの警告灯が点灯し続ける場合は、タイヤに重大な損傷があり、急速に空気が抜けている可能性があります。

純正の空気圧センサー / 送信機を取り付けずに交換用タイヤを装着したり、ホイールリムを交換したりすると、タイヤ圧低下警告灯が約1分間点滅した後、点灯したままになります。これは、TPMSがすべてのホイールをモニタリングできないことを示しています。できるだけ早く認定 Can-Am On-Road ディーラーに連絡し、タイヤおよびセンサーの交換、またはシステムのリセットを行ってください。

警告灯が約1分間点滅した後、点灯したままになる場合は、直ちに認定 Can-Am On-Road ディーラーに連絡

し、システムの点検を受けてください。

⚠ 注意

タイヤ圧力モニタリングシステムは、手動によるタイヤ空気圧の確認に代わるものではありません。タイヤ圧力は、タイヤ空気圧ゲージを使用して頻繁に確認してください。タイヤ圧を変更した後、タイヤ圧力モニタリングシステムは、車両が25 km/h (15 MPH) 以上で20秒間走行するまでタイヤの空気圧を再確認しません。この時点でタイヤ圧力が「著しく低い」という閾値を上回っている場合は、数分後にタイヤ圧力低下警告灯が消灯するはずですが、必ずしもそうとは限りません。

車両をごく短距離走行しただけでもタイヤは温まり、それに応じて圧力が上昇します。タイヤ圧力を、タイヤ空気圧ラベルに記載されている標準値に調整する前に、必ずタイヤを十分に冷ましてください。「タイヤおよびホイール」を参照してください。車両が停止しているとき、タイ

ヤ圧力モニタリングシステムは機能しません。

タイヤの空気圧を調整した後、車速を25 km/h (15 MPH) 以上まで上げ、TPMSによるタイヤ空気圧の再確認を開始してください。この時点でタイヤ圧力が「著しく低い」という閾値を上回っている場合は、数分後にタイヤ圧力低下警告灯 (🚨) が消灯するはずですが、必ずしもそうとは限りません。

タイヤ圧力を調整した後も走行中に警告灯が点灯し続ける場合は、タイヤに重大な損傷があり、急速に空気が抜けている可能性があります。

純正の空気圧センサー / 送信機を取り付けずに交換用タイヤを装着したり、ホイールリムを交換したりすると、タイヤ圧力低下警告灯が約1分間点滅した後、点灯したままになります。これは、TPMSがすべてのホイールをモニタリングできないことを示しています。できるだけ早く認定Can-Am On-Roadディーラーに連絡し、タイヤおよびセンサーの交換、またはシステムのリセットを行ってください。

TPMSの画面

TPMSの情報は、タッチスクリーンディスプレイの中央に表示されます。

TPMSの情報、空気圧、または温度を表示する画面は、2つの画面から選択できます。

注記：

左側の多機能スイッチにある上/下/OKボタンを使用して、空気圧と温度を切り替えてください。

TIRE INFORMATION



TIRE INFORMATION



選択すると、画面には各タイヤの空気圧または温度が表示されます。

タイヤ圧の値は、走行開始から数分後に表示されます。

(空気圧または温度の)異常が発生した場合、問題のあるタイヤが画面上でオレンジ色で表示されます。

警告灯 (⚠) が点灯したら、できるだけ早くタイヤ圧を調整してください。

タイヤ圧モニタリングシステム (TPMS) が調整後のタイヤ圧を検知すると、警告灯が消灯し、タイヤ圧の値が白色に変わります。

適正なタイヤ圧については、運転席の下にあるタイヤ圧カラベルを参照してください。

TPMSは、タッチスクリーンディスプレイの右上に、問題の内容を説明するさまざまなメッセージを表示します。

メッセージ	アイコン	詳細
タイヤ圧力低		推奨圧力を下回っているホイールがあります。 タイヤ圧カラベルに記載されている値に合わせて、できるだけ早く空気圧を調整してください。
タイヤ圧力高		推奨圧力を上回っているホイールがあります。

		タイヤ圧カラベルに記載されている値に合わせて、できるだけ早く空気圧を調整してください。
タイヤ圧カセンサー不具合		認定Can-Am On-roadディーラーに相談して、TPMSの点検と修理を行ってください。
圧カセンサーバッテリー低		認定Can-Am On-roadディーラーに相談して、TPMSセンサーを交換してください。
タイヤ漏れ検出		認定Can-Am On-roadディーラーに相談して、ホイールとタイヤの点検と修理を行ってください。

TPMSの測定単位の変更

圧力 (kPaまたはPSI) または温度 (°Cまたは°F) の表示は、タッチスクリーン表示の設定 (メートル単位またはヤード・ポンド単位) とは独立して、お好みに応じて変更できます。

これらの単位を変更するには、General (一般) の下にある Preferences (設定) 画面に移動してください。

動作モード

ECOモード

燃費重視モード（ECO）が選択されている場合、完全に停止した状態から加速するときや、特定の条件で低速走行しているときに、加速が制限されます。

デジタルディスプレイには矢印が表示され、ギアシフトアップ時のエンジン回転数が最適化されていることを示します。

標準モード

標準モードでは、すべての状況において、エンジン性能やその他のパラメータが標準設定で動作します。

モード表示

モードが選択されると、下側の表示にメッセージが現れます。

同時に、選択したモードを確認するために、1つまたは複数のアイコンが点灯します。

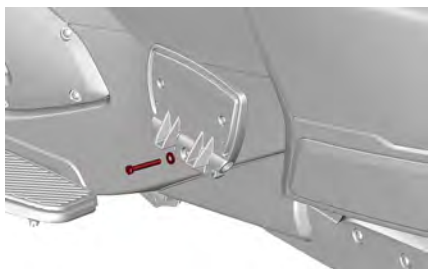
走行モード	表示
ECO	ECO
STD	ノーマル

車両（艇体）の操作

同乗者用フットレストの調整

同乗者の快適さを保つために、フットレストの高さを調整することができます。

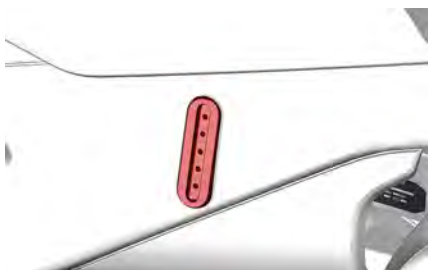
1. フットレストを上を持ち上げます。
2. フットレスト固定ボルトとワッシャーを取り外します。



注記：

この手順には、車載工具に含まれているレンチを使用できます。

3. フットレストを希望の高さに再度取り付け、留めねじを規定のトルクで締め付けます。



締め付けトルク

同乗者用フットレストボルト

$24.5 \pm 3.5 \text{ Nm}$
($18 \pm 3 \text{ lbf-ft}$)

エンジンの始動および停止

エンジンを始動させます

⚠ 警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。一般的な注意のセクションを参照してください。

1. ブレーキペダルを踏み込み続けます。

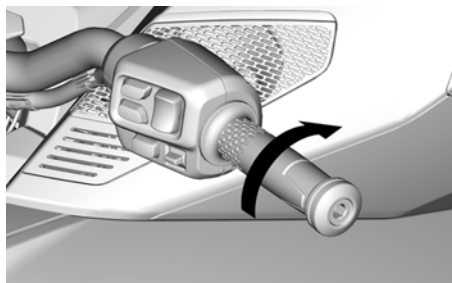
車両は、ブレーキペダルを踏んだままどのギヤからでも始動可能です。トランスミッションはエンジンが始動された時に自動的にニュートラルにシフトします。

2. イグニッションキーをONにします。

注意

電気システムが初期化されている際はスロットルをあけないこと。

3. スロットルハンドルを軽く前方にひねり（手首を上げ）、始動システムを起動します。
 - この操作を行ったら、スロットルハンドルを放します。
 - その後、この操作を再度行わなければ、30秒以内にエンジンを始動することができません。
 - エンジンを停止させるたびに、この操作を行ってエンジンを始動しなければなりません。



4. エンジンが始動するまでエンジンスタートスイッチを押し下げます。スタート・ボタンは 15 秒以上押し続けなくても構いません。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために 30 秒待ってから再度お試しください。

注意

エンジンの始動中にスロットルをあけないこと。



1. エンジンスタート位置

5. 問題がないかタッチスクリーンを確認し、オイルライトが消えているか確認します。
6. パーキングブレーキをかけます。タッチスクリーンディスプレイのブレーキインジケータランプが消えていることを確認します。

エンジンの停止方法

1. エンジン・ストップ・スイッチを OFF にします。
2. パーキングブレーキをかけます。ブレーキインジケータランプが点滅します。
3. キーを OFF になるまで回します。

注記：

キーが OFF の状態でパーキングブレーキがかかっていない場合、パーキングブレーキ・インジケータ・ランプが点滅し、ブザーがなります。

4. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。車両を前後に揺すりませます。

警告

必ずパーキングブレーキをかけます。車両はどのギアに入っているかに関係なく、パーキングブレーキがかかっていないと勝手に動くことがあります。停車状態ではクラッチは必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。

車両を手動で押す方法

車両を押す前に、イグニッションキーが ON の位置に入っているか確認します。

注意

斜面で車両を手動で動かすのは避けましょう。斜面で車両を手動で動かさなければならぬ場合、車両が転がり始めてしまったシナリオを想定してブレーキペダルの身近(車両の右側)で歩いてください。

エンジンを始動せずに車両を近距離動かす場合：

1. 車両に乗ったまま、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. パーキングブレーキを外します。
3. 車両の右側に体を置き、片足をブレーキペダルに残しておきます。
4. 必要に応じてブレーキを使いながら車両を前に押します。

⚠ 注意

ブレーキペダルがいつでも踏めるように、右側からしか押さないこと。熱いエキゾーストパイプには近づかないこと。
車両を後方に引っ張る場合、前輪で足を踏いてしまわないように気を付けてください。

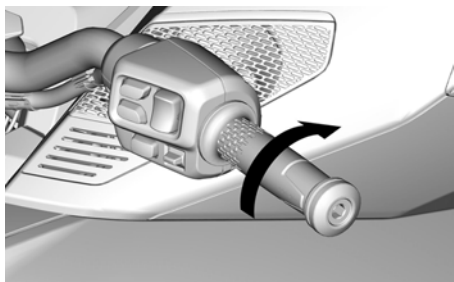
5. 車両の体勢を整え、上記のように停車させます。

リバースでの運転

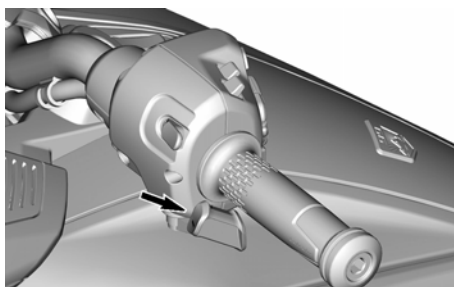
後進時の安全運転については、安全上の取扱説明書のセクションを参照してください。

ギヤを後進にする

1. エンジンが作動している状態で停車し、ブレーキを踏んだまま、ニュートラルにシフトします。
2. スロットルハンドルをゆっくり前方に（手首を上げる方向に）ひねり、その位置を維持します。



3. ギヤシフトセレクターを再度手前に引き、リバースにシフトダウンします。



リバースの作動を確認するため、アイコンRがディスプレイに表示されます。

4. 確認したら、スロットルをわずかに動かして慎重に後退します。

リバースでの運転

あなたの後ろのエリアに何もなかったことを確認し、後ろを向いたままリバースします。低速度で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないこと。

リバースからシフトアウトする方法

リバースからシフトアウトするために、停車し、シフトアップ・セレクターを素早く押すとニュートラルにシフト、そしてより長く押すと第一ギアにシフトします。

注記：

リバースから第一ギアに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

慣らし運転中の運転

この車両には1,000 km (600 mi) の慣らし期間が必要です。

最初の300 km (200 mi) の間は、急ブレーキをかけないでください。

⚠ 警告

新しいブレーキおよびタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキおよびタイヤを慣らすには、頻繁にブレーキおよびステアリングを使用して約300 km (200 mi) の走行が必要です。ブレーキおよびステアリングをそれほど使わない場合、ブレーキおよびタイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

最初の1,000 km (600 mi) 走行後：

- スロットル全開での加速は避けてください。
- 一定回転数での長時間走行は避けてください。
- のろのろ運転の際に冷却ファンが常に作動している場合、路肩に寄せてエンジンをシャットオフしてエンジンをクールダウンさせるか、速度を上げて風でエンジンをクールオフさせてください。

慣らし期間が過ぎた後は、メンテナンススケジュールのサブセクションのとおり点検を行ってください。

給油

燃料に関する要件

注意

新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の老化。
 - 金属部品の腐食。
 - 内部エンジン部品への損傷。
- ガソリンのアルコール度が政府の現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。

- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

オクタン価が91のAKI (RON+MON)/2、またはオクタン価が95のRONを含んだプレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

注意

他の燃料を試したりしないこと。不適当な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

注意

E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA（米国環境保護庁）の規制により禁止されています。

燃料補給の手順

⚠ 警告

- ガソリンおよびガソリン蒸気は可燃性が極めて高く、特定の条件下では爆発性が非常に高くなります。給油時のガソリンの不適切な取り扱いによる物的損害、重傷、または死亡のリスクを低減するため、このセクションに記載されている指示に必ず厳密に従ってください。
- ガソリンは有毒です。不適切な取り扱いにより、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。決して、口によりガソリンをサイフオンしないでください。ガソリンの蒸気を吸い込まないでください。ガソリンを飲み込んだり、目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだりした場合は、すぐに医者にかかってください。ガソリンが皮膚にかかった場合は、石鹸と水で洗ってください。衣服にガソリンがこぼれた場合は、着替えてください。

車両（艇体）への給油前

⚠ 警告

- 車両（艇体）の給油時にこれらの注意事項に従わない場合、重傷事故や死亡事故を招くおそれがあります。
- 給油時に喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料蒸気に引火して火災が発生するおそれがあります。
 - 給油中は、車両（艇体）に人を乗せないでください。
 - 換気のよい場所で作業してください。
 - 給油時は、車両（艇体）が水平面上にあることを確認してください。

1. 車両を平面に停車します。パーキングブレーキをかけます。

2. エンジンを止めます。
3. オペレーターと同乗者が車両（艇体）から降りていることを確認してください。
4. 燃料の種類を確認します。推奨燃料を参照してください。

燃料タンクキャップを開く

⚠ 警告

燃料タンクキャップを開けたときにシューツという音がしたり、燃料が噴き出したりした場合は、それ以上の操作を行わずに、認定 Can-Am On-Roadディーラーに車両の点検を依頼してください。

1. シートのラッチを外して開きます（装備のセクションを参照）。燃料キャップは左側にあります。



2. キャップをゆっくり反時計方向に回し、取り外します。

給油時

警告

給油の際、燃料タンクからあふれるのを防止するために、以下の注意事項に従ってください。

- 燃料ノズルを給油口に完全に差し込んでください。
- 燃料ノズルが自動的に止まったら、燃料タンクへの給油を止めます。
- 燃料タンクを満タンにしないでください。

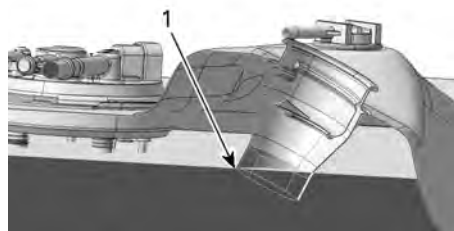
携帯用燃料容器を使用する場合の追加注意事項：

- 燃料をこぼさないでください。携帯用燃料容器は、燃料がこぼれやすい傾向があります。給油時の持ちやすさやバランスを考慮して、小型の容器を使用してください。
- 燃料タンクの過充填を防ぐために、必要な燃料量を超えない容量の容器を使用してください。
- 摩耗や損傷により漏れが生じるおそれがあるため、使用前に容器を点検してください。

1. 燃料タンクに給油します。

警告

燃料タンクを満タンにしないでください。燃料があふれて燃料漏れの原因になるおそれがあります。温度が上昇したときに燃料が膨張するため、その分の余裕を残してください。燃料レベルがフィルターチューブ底部の高い方の位置に達すると、燃料タンクは満タンになります。



代表的な例

1. フィラーチューブ底部の高い方の位置
2. 給油後は、給油ノズルから燃料を完全に排出させるため、数秒間待ってからノズルを給油口から外してください。こうすることで、こぼれを防ぐことができます。

燃料タンクキャップを閉じる

警告

燃料キャップが閉まっていないとガソリンが漏れ、火災、爆発、その他の事故を引き起こす恐れがあります。これに起因する重傷や死亡事故を回避してください。

- 給油後および運転席を閉じる前に、燃料キャップが正しく閉じられていることを必ず確認してください。

1. 燃料キャップを取り付け直し、カチッという音が3回聞こえるまで時計回りに回してください。
2. 燃料がこぼれた場合は、車両を拭きます。
3. シートを閉じます。

リアサスペンションの調整

ベースモデル

一般的な操作においては、リアサスペンションは加圧されています。車両の荷重が変化（同乗者が乗ったり、積荷を増やしたりなど）またはよりソフトまたはハードな設定が望みであれば、リア・サスペンションの圧力をお好みに合わせて調整することができます。

サスペンションの圧力は空気ばねを収縮または膨張させることで調整可能です。エアコンプレッサー（ガススタンドで使用可能）および圧力ゲージを使います。

サスペンションを和らげる場合、空気圧を下げ、サスペンションを固める場合、空気圧を上げます。

運転席の下にあるリアサスペンション圧力ラベルを必ず参照して、車両荷重に要する適切な圧力を判断してください。

注記：

ラベルに示されている圧力は目安です。最大許容圧力を超えない限り、お好みに合わせて圧力を調整することができます。

注意

最大許容圧力を超えないこと。これはエアサスペンションを損傷しかねません。

注記：

圧力を調整する際は、自分の体重を車両にかけず、積荷をストレージコンパートメントに乗せないこと。

空気ばねはシート下にある、シュレーダー・バルブ付きのエアホースに直接つながっています。



空気圧を変更するには、タイヤ圧の変更と同じやり方で行います。

完了後、キャップをバルブに再度取り付けのを忘れないようにしてください。

リミテッドモデル

リアサスペンションは一般的な走行に対して調整されています。道路状況が変わったり、車両の荷重が変化した（同乗者や積荷が増えた）場合は、この設定を保つために、内蔵のコンプレッサーによって自動調整が行われます。

注記：

エンジンが起動中に圧力が解放されたり、空気コンプレッサーが動いている音が聞こえるのは普通です。これはサスペンションが自動調整していることを意味します。

安全上の取扱説明書

他の車両との違いについて

このセクションでは、車両の特殊な特長および動作特性が説明されています。

安定性

この3輪トライクの「Y」構造は、バイクよりも優れた低速安定性をもたします。

しかし、自動車などの車輪が4つある車両よりは安定ではありません。電気車両安定システム (VSS) などの駆動支援技術は操作中の安定性を保つ補助をしますが、極端な運転 (高速度で急ターンなど)、車両への過積載、または凹凸のある路面や物に当たることが原因で車両がコントロールを失い、転倒したり横揺れする可能性があります。さらに、急なターン、加速、ブレーキまたはインパクトにより、運転手または同乗者が転げ落ちてしまう恐れがあります。

道路状態に対する反応

この車両の路上挙動は、道路で見られる他の車両とは異なる場合があります。下記の推奨事項に従ってください。

- オフロード、氷または雪の中で走行しないでください。
- 水たまりと流水を避けてください。車両は車より簡単にハイドロプレーンします。水たまりがある道路で運転しなければならない場合は、減速してください。
- 砂利、泥および砂で覆われた道路では速度を落としてください。
- 温度が6°C (43°F) 以下で運転すると、密着度が低下します。

詳細説明は、道路上の注意事項を参照してください。

ブレーキペダル

ペダル一つで三つの車輪すべてにブレーキをかけることができます。手動ブレーキがなく、前輪および後輪に別々にブレーキをかける方法はありません。

この車両では、ブレーキ操作と操舵を同時に行うことができます。バイクよりも優れており、急停車が可能です。後続車両は急停車や急な反応ができない場合があるため、後続車両に注意してください。

アンチロック・ブレーキシステム (ABS)

車両には車両安定システム (VSS) の一環としてアンチロック・ブレーキシステム (ABS) が搭載されています。

このシステムは、ブレーキをロックしないようにすることで、非常ブレーキ時のステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは機械的に後輪だけにブレーキをかけ、作動するとロックした状態になります。これは駆動支援技術 (アンチロックブレーキシステム (ABS) など)、電子制動力配分コントロール (EBD) によってコントロールされていません。

ステアリング

ダイレクト・ステアリング

曲がるときは、ハンドルバーを曲がる方向に切ります。

バイクの運転経験者は、バイクと同じようにカウンターステアを切らないよう注意してください。バイクとは異なり、この3輪トライクは曲がっているときに傾きません。曲がり方について学び直す必要があります。習熟するまでさまざまな速度で曲がる練習を行ってください。

ターン時の遠心力

バイクとは異なり、この車両は曲がっているときに傾きません。ターン時に遠心力によって体が車両外に向かって引っ張られていくのが感じ取れます。

バランスを保つには、運転手および同乗者は両手でしっかりつかまり、両足をフットレストにしっかり乗せておく必要があります。

急ターン時は、上体を前に傾けて、重心をカーブの内側に置こうとすると曲がりやすくなります。

全幅

この車両は通常のモーターサイクルよりも幅が広いので、下記のことを守ってください。

- 必ず前輪を走行車線内に維持してください。カーブを曲がる時や追い越し時は、前輪の位置に特に注意してください。
- レーンを共用したり複数のレーンを同時に使用したりしないこと。モーターサイクル同士でも、グループでの走行は単縦列で行ってください。
- 障害物を避けるためにより長く脱線する必要があることを考慮してください。

注記：

前輪が障害物をクリアしても、後輪がその障害物をクリアするとは限りません。

ドライバーの死角

死角とは、リアビューミラーやリアカメラ（装備されている場合）では確認できない、運転者の視界の外側の領域を指しています。

一般に、車両の高さが高くなり長さが長くなるほど、死角も大きくなります。

このため、特に新車の場合には、そのデザインによって生じる車両の死角についてよく理解しておくことが重要です。

死角は車両の全周にあります。死角は、車両の後ろ側と左右側にあります。

車両を後進させるときは、車両周辺の人、他の車両、または付近の物体に注意してください。

後進してプラットフォーム、トレーラー、または平台から離れる際は、車両の死角に注意してください。

重要事項： 車両にリアビューミラーやリアカメラが装備されていても、車両の周囲には必ず死角が存在します。

リバース

リバース位置が選択されると、選択されたギヤの表示部にリバースアイコン[®]が表示されます。

この車両は、自動車のように後進することができます。しかし、以下の重要な違いがあります。

- 必要であれば、視認性を改善するために同乗者に一旦降りてもらいます。
- 前部は後部より幅広いことをお忘れなく。障害物にあまり近くバックアップしてしまうと、前輪が当たってしまうことがあります。
- 低速度で運転し、長距離を走するのにリバースを使わないこと。
- もし可能であれば、パーキングスペースからバックアウトする必要がないように停車してください。

⚠ 注意

後進時は必ず両足をフットペグに置いてください。バックアップ中は決して足を地面に置かないこと。

リアビューカメラ（装備されている場合）

車両には、上部ストレージコンパートメントの下、バックライトの右側にリアビューカメラを装備することができます。



このカメラは、エンジン動作中にリバースが選択されると自動的に起動し、リバースが選択解除されるとすぐに停止します。

車両後方の視界が大型ディスプレイに表示されます。



カメラが起動すると、画面にガイドラインが固定表示され、操作中にドライバーを支援します。

横方向のラインは、車両の幅を示しています。

リアビューカメラは広角レンズを使用しているため、ディスプレイに表示される距離や物体は実際の大きさとは異なります。

ディスプレイに表示されるリアビューカメラの映像だけを確認しながら後退すると、事故につながるおそれがあります。

リアビューカメラの視界は限られているため、必ず車両周囲に何もなかったことを確認してから、ゆっくりと後退してください。ラジオや音楽の音量を小さくしてから後退することをお勧めします。

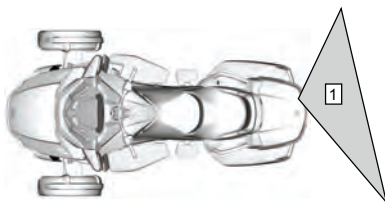
後退中は十分に注意してください。赤色のゾーン内にある物体は車両に最も近い位置にあり、緑色のゾーン

内にある物体は離れた位置にあります。物体が車両に近づくと、画面上では物体が緑色のゾーンから黄色または赤色のゾーンへと移動します。

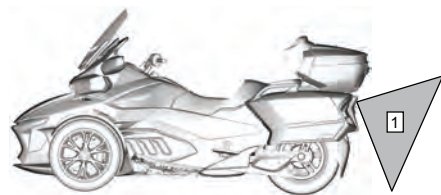
不安な場合は、操作中に他の人に補助してもらってください。

リアビューカメラの視界範囲

以下の図は、リアビューカメラのおおよその視界範囲を示しています。



1. リアビューカメラのおおよその視界範囲



1. リアビューカメラのおおよその視界範囲

運転免許書および現地の法律

この車両の運転に必要な運転免許書の要件は国や地域によって異なります。国や地域の法律によっては、普通自動車の運転免許証、自動二輪の運転免許証、または3輪車専用の許可証などが必要になることがあります。

車両を公道で運転する前に、適切な免許を持っているか地方自治体にお問い合わせください。

駆動支援技術

車両安定システム (VSS)

この車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。

このシステムは車両の方向をコントロールし、特定の状況において転倒や横転の危険を減らします。

VSSは下記のもので構成されています。

- アンチロックブレーキングシステム (ABS) : 非常ブレーキ時にブレーキをロックしないようにすることで、ステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。
- 電子制動力配分コントロール (EBD) システム: 3つの車輪のすべてのブレーキにおけるバランスを自動的に調整します。ABSによって、EBDは方向制御を補助し、その時点での牽引力によってブレーキ力を最大限に活かします。
- トラクションコントロールシステム (TCS): 激しいスロットルにより後輪が滑ってしまうことを防ぐ補助をします。TCSは、ハンドルを切った場合 (直線から外れて走行する) または車両の速度が50 km/h (31 MPH) を超えた場合、後輪のスピンを制限します。スロットルを放すと (減速)、TCSは後輪がロックされてしまうのを防ぎます。
- スタビリティコントロールシステム (SCS) は後輪の動力を制限し、個々の車輪にブレーキをかけるように設計されており、車両のコントロールを失ったり、転倒を防ぎます。

注記:

ゲージに表示されるVSSライトは、VSSが介入するとONになり、VSS介入から2秒間ONになり続けます。

制限

VSSはすべての状況においてコントロールを維持することはできません。

駆動伝達が悪い道路面

道路面でのタイヤのグリップは最大制動効率を制限します。ABSおよびEBDを利用して、トラクションの低い路面で運転したり、タイヤの推奨圧力を維持していなかったり、トレッドの状態が悪くなっていれば、停止距離は長くなります。

道路面でタイヤが駆動伝達を失ってしまうと、VSSを用いても車両のコントロールを失いかねません。

舗装路面の一部でも氷、雪または泥に覆われている場合、VSSを用いても車両のコントロールを維持できる駆動伝達はありません。雪、氷または泥がある道路では運転しないでください。

注記:

6°C (43°F) 未満の温度では、車両のタイヤのグリップが低下し始めます。

他のオンロード車両と同様に、この車両は水上ではハイドロプレーンします (水に覆われた道路面で駆動伝達を失ってしまう)。道路上の大きな水たまりや水の流れなど、水たまりに向かって早く走行しすぎると、車両は駆動伝達を失ってスピニングアウトしてしまい、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

泥、砂、砂利または水に覆われている舗装では駆動伝達が悪いので、速度を落します。この車両はオフロード用ではありません。車両は必ず適切な道路で使用してください。車両をその他の地面で使用しないでください。

タイヤ

車両のVSSは、特定のサイズ、材料およびトレッドパターンのタイヤに対して最適な性能を発揮するために

校正されています。BRPによって認定されていないタイヤと交換してしまうと、VSSの効果が少なくなってしまうます。

認定 Can-Am On-Road ディーラーのみで販売されているBRPの推奨タイヤだけを使用してください。

特に緩いまたは濡れた表面では、駆動伝達を維持するために適切なタイヤの空気圧およびトレッドの管理が重要です。タイヤ圧が低すぎるとハイドロプレーンや過度のタイヤ熱の蓄積が起こることがあり、タイヤ圧が高すぎるとVSSの効果が減少してしまいます。

急ターン

VSSはステアリング入力を制御または制限しません — 急ターンを制御することはできません。ハンドルを大きく、急速に回すと車両がコントロールを失い、スピン、転倒または転がってしまう可能性があります。

スピードの出しすぎ

VSSは、SCSがターンの時に介入する場合を除いて、車両速度をコントロールしません。VSSには、速すぎる速度でカーブに入ることを防止する機能はありません。特定の状況において早く走行しすぎると、VSSを用いてもコントロールを失うことがあります。

過積載

絶対に規定値を超えて積載しないでください。

車両許容総積載量	
オーストラリアモデル	195 kg (430 lb)
その他の全モデル	252 kg (556 lb)

ヒルホールドコントロール (HHC)

この車両にはヒルホールドコントロール (HHC) 機能があります。

前進ギヤに入れた状態で斜面で発進する場合、ブレーキペダルを放すと、VSSがブレーキを1秒間維持してから解除します。また、スロットルを作動させると直ちにブレーキを自動で解除します (いずれか早い方でブレーキを解除します)。

後進ギヤに入れた状態で斜面を下る場合も、同様に機能します。

注記：

ヒルホールドコントロールを作動させるには5%以上の勾配が必要です。

この機能は自動で作動するため、ドライバーが操作する必要はありません。

注記：

HHCは、ブレーキペダルを放してから1秒間作動します。

ダイナミックパワーステアリング

ダイナミックパワーステアリング (DPS)は、電気モーターを使ってドライバーが必要とするステアリング入力量の最適化を図り、コンピューター制御された可変パワーアシストを提供します。

ステアリングアシストの度合いはハンドルの力 (ステアリングトルク)、ステアリングアングルおよび車両速度に依存します。

車両がリバース・ギヤに入ってる状態では、車両速度が速くなるにつれパワーステアリング・アシストは低下します。

道路上のリスクの把握

この3輪トライクを運転する前に、安全講習ビデオを見て、安全カードと製品上のすべての警告ラベルをお読みください。

衝突による負傷や死亡事故のリスクを考慮し、こうしたリスクを軽減する方法を考え、リスクを選び取る方法としていないかどうかを確認してください。

リスクにはいくつかの要因があります。特定の要因はある程度コントロールすることは可能ですが、他の車両の運転の仕方などの要因は自分の力ではどうすることもできません。

以下はリスクに影響を及ぼすいくつかの要因の一覧です。

車両の種類

車両には様々な種類があり、大きさ、視認性、操縦性、および保護性が異なります。

この車両は小型で操作しやすいものです。操縦性により、交通事故が避けやすくなります。しかし、小さい車両は他のドライバーからは見づらく、他のドライバーから衝突される可能性が増加します。ある状況では、この車両はバイクよりも衝突に巻き込まれる可能性が低くなっています。例えば、低速度の走行中に転倒する可能性はより低いですが、しかし他の状況においては、衝突する可能性が高くなります。例えば、車両の幅が広い場合、モーターサイクルとは異なる幅狭い通路を通ることはできません。

乗用車やトラックでは、車両の構造によって衝突事故やその他の道路上の危険から身が守られます。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。この車両は乗用車の運転よりもリスクが高く、負傷するリスクはバイクを運転するときのリスクと同じであることを念頭に置いてください。

モーターサイクルの走行と同じく、ヘルメットや保護服を着用することで傷害のリスクを減らすことができます。

ドライバーの技術および判断力

各ドライバーは道路上のリスクに対応するように気を配ることが重要です。

良い技術を取得したドライバーは車両をより効率よくコントロールすることができます。

この車両を運転するときは、バイク、乗用車、ATV、スノーモビルなどの車両の運転経験に頼らないでください。

この車両の異なる特徴に慣れてください。このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください。

[HTTPS://CAN-AM.BRP.COM/
ON-ROAD/US/EN/OWNER-ZONE/
SAFETY-INFORMATION.HTML](https://can-am.brp.com/on-road/us/en/owner-zone/safety-information.html)

または、以下のQRコードを使用してください。



受講可能な場合は、トレーニングコースを受講してください。コントロールに慣れ、実践練習を正確にこなせるようになってから実際の道路で運転してください。

公共の場で運転し始めたばかりのドライバーは、より簡単な道路状況（交通量が少ない、低速度、好天、同乗者が乗っていない状態）に始めは挑戦し、技術が磨かれていく毎に徐々により難しいチャレンジに挑戦してください。自分の運転レベルでは難しすぎる状態、または乗り越えられないようなリスクがある状態を

避けるように先読みして運転してください。

熟練したドライバーでさえ衝突することはあります。例えば、極端な操縦や技を披露したりすると衝突のリスクが上がります。賢いドライバーは安全性を高めてリスクを最小限に抑えるために適切な判断を下します。道路上の注意事項に記載の安全運転に関する記述を参照してください。

ドライバーの状態

ドライバーは酔っていない、警戒態勢であり、体が運転できる状態である必要があります。薬物やアルコールを摂取した場合は、決してこの車両を使用しないでください。酔っている、疲れている、または正常に機能できない場合、衝突のリスクが高まります。

薬物、疲労、投薬、体調不良、眠気および感情的になることはすべて安全運転の阻害要因です。バイクの運転と同じく、この車両の運転は簡単ではありません。乗用車を操縦するよりも、体調や精神の状態が重要になります。一番安全な心構えは、集中力を保ち、完全に酔いがさめた状態でしか絶対に運転しないことです。血中アルコール濃度が法定上限を超えなくても、アルコール摂取により判断力と運転力が低下します。

車両を運転するには、すべてのコントロールが操作でき、ハンドルを完全に切ったり、乗り降りしたり、周囲を注意深く監視できる体調であることが必要です。

同乗者も高い集中力を持ち、酔いが完全に醒め、姿勢を維持し、カーブ、でこぼこの道路、加速および停止の際にしっかりと握ったり対応できる体調であることが必要です。

車両の状態

車両をよい状態に保ってください。

使用前の点検および定期的メンテナンスを行ってください。車両を始動した時に多機能ゲージクラスターに表示されるメッセージに注目し、運転する前に問題に対処してください。

多機能ゲージを使用する際は常に最大の注意を払ってください。走行中にディスプレイを長く見つめることは衝突の危険性をかなり高めま

道路状況および天候

渋滞、視認性が悪い、または駆動伝達の悪い道路面ではリスクが高まります。ご自身の運転レベル、および挑戦したいリスク程度に見合った経路をお選びください。

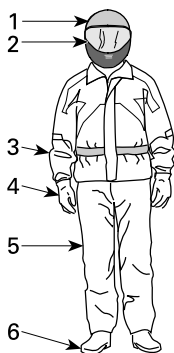
ライディングギア

この車両を運転するときは、バイクと同じ保護具が必要になります。低速ではモーターサイクルより安定感のあるこの車両でも、車両から転がり落ちてしまう場合があります。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。

衝突の際にオートバイに乗るためのふさわしい服装をしていると怪我を防いだり、または軽減することができます。さらに状況に合った服装をしていると快適になり、気象要素から身が守られます。

ドライバーおよび同乗者に推奨される基本装備には、ブーツ、長いパンツ、ジャケット、およびグローブが含まれ、何よりも適切に目を保護する適切なヘルメットが推奨されます。



1. 使用許可されているヘルメット
2. 目および顔の保護
3. 長袖のジャケット
4. グローブ
5. 長いパンツ
6. ブーツ

ドライバーおよび同乗者ともに、適切な保護具を着用することで衝突時の負傷の程度を軽減することができます。

ヘルメット

ヘルメットは頭および脳を怪我から守ります。ヘルメットはさらに同乗者の顔をドライバーのヘルメットの後部への衝撃から守ります。最高のヘルメットを使っても損傷から100%身を守ることはできませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転でヘルメットを着用してください。

ヘルメットの選び方

使用されるヘルメットはお住まいの州、行政区または国の標準を満たす必要があります。

顔を完全に覆ったヘルメットは顔と頭全体を守るため、衝撃に対する最大の保護を提供します。さらに異物、石、虫などから身を守ってくれます。

3/4ヘルメットまたはオープン・フェイス・ヘルメットもかなりの保護力があります。同じ基本的な材料から製造されていますが、顔を完全に覆ったヘルメットの顔および顎の保護は損なわれます。オープン・フェイス・ヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイス・シールドまたはゴーグルの使用を推奨します。

⚠ 注意

普通の眼鏡またはサングラスは、モーターサイクル運転者には十分な目の保護具ではありません。割れたり頭から外れたりし、目を風および空気中の異物から保護しません。

色付きのフェイス・シールド、ゴーグルまたは眼鏡は昼間中にしか使用しないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合、使用しないでください。

その他の装備

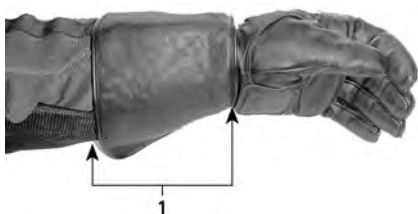
フットウェア

を長や火身
ア石るら
ウエるよ
ト部上プ
フッパイ
たいら舞
れさかト
護さ道路
保て道中
がいツキ
先履一工
まずブい
つ必い熱
傷を守

ギアシフ・レバ一、ブレーキーベダ
ルまたいそ他の部品に絡まッてし
まう長い靴紐は避け一くださる
ム製の靴底おび口一ヒール
足でフットレストに固定するの
しています。

グローブ

陽、らーさーく護一抑プ。トトる
陽、か口上ハハイ保口をッす。ン
太物グを。サをグ激リま。コガ入
風、異ウを。サをグ刺グし。浸
を、合感ま。タにルの、現合、す
を、くりブセ一際クヘン、実場、に
手、でたッさ。モのイ手ハをる。ま袖
は、んっりく。な倒サ。はは。プ。ぎ。り。が
ブ、飛。び。グ。ク。ン。転。一。目。状。ッ。す。な。気。護
一、び。に。の。に。ヨ。は。タイ。い。形。リ。厚。く。分。ら。たい。空。首。を。保。護。し。た
口、よ。手。ル。れ。シ。ブ。一。モ。の。縫。た。グ。分。ら。たい。空。首。を。保。護。し。た
ク、お。手。ル。れ。シ。ブ。一。モ。の。縫。た。グ。分。ら。たい。空。首。を。保。護。し。た
な、さ。す。ン。ド。疲。ク。一。モ。の。縫。た。グ。分。ら。たい。空。首。を。保。護。し。た
文、寒。ま。ハ。手。口。グ。す。外。曲。自。一。ル。ト。は。防。ぎ。
頑、熱。守。ハ。は。プ。用。ま。の。の。口。ロ。ッ。を。防。ぎ。



1. グローブ用ガントレット

ジャケット、パンツおよびライディング・スーツ

ジャケット、長いパンツまたはカ
バーオール、ライディング・スーツ
を着用してください。防風、防水、
保温などの機能を備えた保護具は、快
適さを提供し、素晴らしい環境から

影響を低減します。衝突事故の場合、頑丈な素材でできた高質の保護具は、損傷を防いだり、軽減します。損傷のリスクをさらに衝突減させ、長いグングハドアーミング仕込ディています。パンツの着用も熱品による火傷から身を守ります。

一般にモーターサイクル用の保護具は最適なものとして提供されています。これらに合った姿勢に合った座り方をしています。袖などの部分がより広くなっています。ライディング・スーツはワンピースまたはツーピースのを選びます。

性発成よてりく
久を合もったで
耐果。具まっ
ど効す。護絡い
な護で保にや
性保肢性品フ用
風て択耗部一着
防し選摩く力
は対い耐動ス服
革によの耐ない
て傷め、他す
とし、たそ肢か
材強するの択
素が揮織いしと

ツ
ヤのまふ袖合た緩をあ
ジャきりう。りぐ、肌が
シの付な覆すあ防い、性
を式くをまとび入大た可
風クパ強一めび入大た可
はッナグバ強が浸りくる
ナーチャス性ッに分のよめな
スや風防の工部風。たに
フタリト性工は、すはり
アポよケ防ウツれ中目障
やしボトケ風ウツれ中行
ブットケジャはびケ襲走し
ラアウトケジャお推はし
フトケジす。ラ口うめい刺
刺激します。

涼しい天気では、低体温にならない
ように、気温をつけて、低体温にならない
よでは、体の温度が低くない。すぎる
集中力の低下、体の遅い反応、その損
失を招きかねません。涼しい候で衣
は、防風ジャケットおよび絶縁的欠
服などの適切な保護具が不可
する。適度な温度でも、走行中に
る風によってとても寒くなり

涼しい天候に適切な保護具は停止中だと暑く感じるはずで、後で脱げないように重ね着してください。防風のアウターを保護具の上に重ね着することで冷たい空気が皮膚に届くのを防ぐことができます。

装備はドライバーをより目立たせる効力もあります。明るい色を着るのは賢い選択です。薄暗いジャケットの場合、安価な反射ベストを上から着ることも可能です。常に余分な反射テープの付いた衣服を着るのは良い事故予防策です。

雨具

雨天時に運転する必要がある場合、レイン・スーツまたは防水ライディング・スーツが推奨されます。長時間の走行では、雨具を持っていくことが推奨されます。雨から守られたドライバーは、濡れて寒いドライバーより心地よく、より集中して運転することができます。

ワンピースやツーピースから選ぶことができます。特にモーターサイクル用の衣服が最適です。注目度の高いオレンジ色や黄色は良い選択肢です。ウエスト部分、パンツおよび丈がゴム製である物を探してください。丈の高い襟にジッパーが付いていて幅広のフラップがその部分を覆い隠すジャケットが最適です。レイン・スーツをお選びになる場合、防水グローブおよびフットウェアも考慮してください。

雨天の場合、運転しないことが最良の選択肢です。雨天の際に運転する場合、道路上に水が溜まり始めた時は停車する必要があることがあります。

聴覚保護

走行中に長い間、風およびモーター音に晒されていると永久的な難聴を引き起こす可能性があります。耳栓など、適切に着用された聴覚保護具は難聴の防止に役立ちます。聴覚保護具を使用する場合は、使用前に現地の法律をお確かめください。

必要とされる運転技術および実践演習

この車両を公共の場で運転する前に、道路上のリスクを抑える運転技術および対策を学ぶ必要があります。

バイクやその他の自動車の運転経験がある場合は、他の車両と比べてこの車両の操作性やパフォーマンスがどのように異なるのかについて特に注目してください。

以下は車両の基本操作を学ぶための実践演習です。次の実践演習に進む前に各エクササイズを上手にこなせるまで練習してください。

このセクションには次のエクササイズが含まれています。

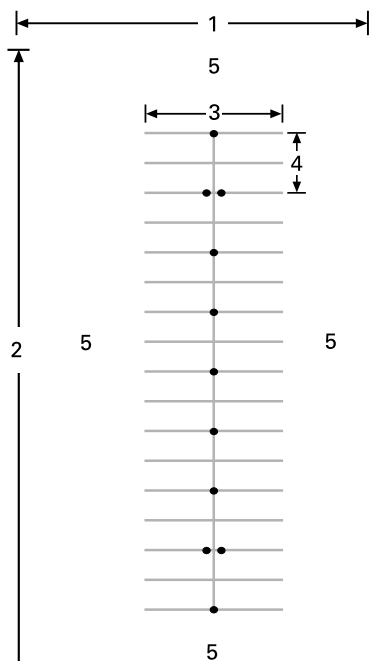
1. エンジンの回転数を上げたり、エンジン・ストップウォッチの使用
2. 始動、停止および基本的な取り扱い
3. 作動中のエンジンストップ
4. 基本ターン
5. 急停止
6. スラローム
7. シフティング
8. 急カーブ
9. リバースでの運転。

練習場の選択

これらの練習は、交通がない30 x 76 m (100 x 250 ft) 以上の舗装面で行ってください。障害物（電柱、カーブなど）がない、閉鎖されている地面にマーキングがされている駐車場は練習に最適です。駐車されていた車によって残されたオイルに注意してください。学校、教会、コミュニティセンターやショッピングセンターなど、営業時間外の駐車場を探してください。私有地の不法侵入は避けてください。

適切な場所を見つけた後、その土地の所有者から使用許可を得てください。電柱や安全地帯などの障害物がある場合、以下の図に示されている道筋が障害物によって干渉されないように注意してください。

エクササイズの準備をする際は、この駐車場の基本図を考慮してください。図には3 m (10 ft) のサイズの駐車場が描かれていますが、実際には異なるサイズの駐車場を使用することも可能です。お選びになった駐車場は図の線が引かれていない場合に大きく、または小さい駐車場である場合は、以下の寸法をご参照ください。巻き尺、チョーク、または水や砂が含まれている容器またはパイロンなどを使ってマーキングしてください。



通常の駐車場

1. 30 m (100 ft) 以上
2. 75 m (250 ft) 以上
3. 12 m (40 ft)
4. 6 m (20 ft)
5. 空地

閉鎖された場所でも、万が一、他の車が入ってこないか注意してください。エクササイズを行う前に前方、左右および後方を確認してください。また、子供や動物に注意してください。

運転の準備

車両のすべての操縦系統の位置および操作方法を把握してください。車両情報のセクションを参照してください。

ドライバーのニーズに合わせてハンドルバー、フットペグ、ブレーキペダルを調整します。装備のセクションの操作コンポーネントの調整を参照してください。

走行前点検を行ってください。走行前の点検のセクションを参照してください。

エンジンを始動および停止させるには、基本手順のエンジンの始動および停止に記載されている指示に必ず従ってください。

運転の姿勢

よい姿勢を取ることで、よりスムーズに運転ができます。操縦系統をスムーズに操作するには、両手と両足を必ず適切に配置してください。通常、手首は腕に対して真直ぐにします（これにより、お望みのスロットルの位置をより簡単に適用できます）。腕はリラックスして曲がった状態であるべきです。姿勢を伸ばし、頭と目を上に向けます。両足を操縦系統の近くのペグに配置します。

運転の適切な姿勢を取っていない場合、近距離でも車両を運転しないでください。



通常の運転姿勢

練習の実行

1) エンジンのふかし、エンジンストップスイッチの使用について

エクササイズ目的

- ねじれスロットルの操作に慣れること。
- 様々なRPMのエンジン音に慣れること。これによってエンジン音に応じていつシフトアップおよびシフトダウンすべきなのか把握できます。
- エンジン・ストップ・スイッチの使用に慣れること。

宛先

- 車両をニュートラルに入れ、パークキングブレーキをかけ、右足をブレーキペダルに配置します。多機能ゲージクラスターを確認してニュートラルに入っているか確認してください。1速ギヤに入っている場合は、スロットルを開けると車両が前進し始めます。
- タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4000を超えない程度まで上げます。3000 RPM前後を維持するようにスロットルを優しくかつ円滑に開けたり閉じたりする練習をします。トランスミッションがニュートラルに入っている限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジン・ストップ・スイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

練習のヒント

- エンジン・ストップ・スイッチを見ないまま押す練習をしましょう。

2) 始動、停止および基本的な取り扱い

エクササイズの目的

- スロットルのコントロールおよび車両の動かし方を学ぶこと。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

宛先

これらのエクササイズを行う際にコントロールを失っていると感じた場合、加速を止めるためにスロットルを閉じ、必要に応じてブレーキをかけて減速してください。さらにエンジン・ストップ・スイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

2a) スロットルを開けた直前に放す

宛先

最初は、スロットルを少しの間使用し、放して惰行運転します。

- エンジンを始動し、パーキングポジションスイッチを解除します。
- ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトレバーを押して前進位置が選択されていることを確認します。
- ブレーキを放します。
- 車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。動き始めた直後、スロットルを話して惰行運転し、ブレーキを踏んで停車します。直線コースの終点にたどり着くまで繰り返します。
- 直線コースの終点でUターンするには、停車し、ハンドルを右に完全に切り、スロットルを多少開けて放して、惰行運転でターンします。完全にターンするにはスロットルを一回以上開ける必要がある場合があります。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- スロットルを開けて放すのに慣れるまで、エクササイズのこの部分を練習し続けてください。

2b) 12 m (40 ft) 毎にスロットルをホールドし、放して停車する

次はスロットルをより長くホールドし、12 m (40 ft) 毎に停車します (他のすべてのマーカー毎、または四つに一つの線毎に) 。

- この場合も、車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。今回はこの時点までスロットルをホールドします。
- 停止地点が近づいてきたら、スロットルを放してブレーキをかけ停車します。
- 以前と同様に直線コースの終点でUターンしますが、今回はターン時にスロットルを放す必要はありません。ターンする際に安定したスロットルの位置を維持することに焦点を当ててください。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。

2c) スロットルをホールドし、放して終点で停車

次に、直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。スロットルは適度に開けておきます。

3) 作動中のエンジンストップ

エクササイズの目的

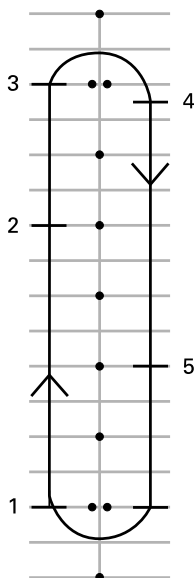
- 走行中にエンジン・ストップ・スイッチを使うことを練習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておきましょう。

宛先

- 8 km/h (5 MPH) の速度で直線コースを途中まで走行したとき、エンジンストップスイッチをOFFにして、惰走して停止します。
- エンジンを再起動させ、このエクササイズを繰り返します。エンジンストップスイッチを使う前に (20 km/h (12 MPH)) まで加速してみてください。

注記：

ブレーキペダルが踏まれていないと車両のギヤに入れることができません。



1. 出発
2. エンジン・ストップ・スイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンします
4. 停止
5. エンジン・ストップ・スイッチを押す

エンジンを再起動させ、次のエクササイズに移ります。

4) 基本ターン

エクササイズの目的

- 制御性のあるターンを行うことに慣れましょう。

宛先

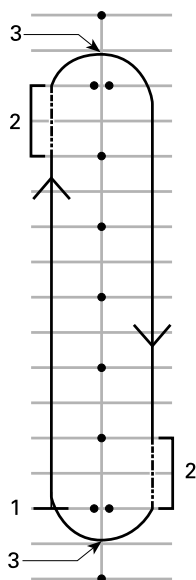
このエクササイズは以前のと似ていますが、今回はターン毎に停車するのではなく、低速度でターンをします。

- 直線を運転します。直線コースの終わりに幅広くターンするため、パイロンから少し離れて運転します。

- カーブに近づいてきた頃に、スロットルを放して必要であればブレーキをかけることで速度を8 km/h (5 MPH) 以下まで落します。
- 低速度を維持するためにスロットルをホールドします。
- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。この間、スロットルを空けないように気をつけます。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



代表例 - 曲がるときの乗車姿勢



1. 出発
2. 半クラッチ
3. 頂点

注記：

バイク運転経験者への注意 - この車両でのターンやカーブの走行は、バイクの場合のそれとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。ただし、モーターサイクルと比べて曲がる時はより簡単に停止できます。

練習のヒント

- 一つの方法へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止してみて、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

5) 急停止

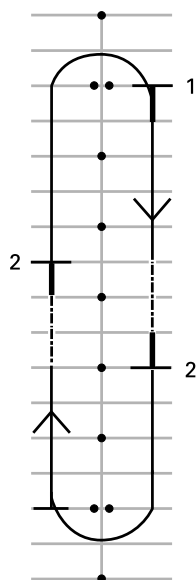
エクササイズ目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

宛先

この練習は前述のものと似ていますが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで練習します。アンチロックブレーキシステム（ABS）は最大制動力がかかっている場合に車輪がロックされるのを防ぎ、ステアリングコントロールを維持するのに役立ちます。素早く停車するには、必ずスロットルを完全に放してください。スロットルを開けたまま同時にブレーキをかけた場合、停止距離は長くなります。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8 km/h (5 mi/h) まで加速します。
- 直線コースを走行している途中にスロットルを完全に放し、ブレーキを素早く、しっかりかけます。ABSによって車輪ロックが防止されるため、絶対にポンピング・ブレーキを行わないでください。
- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持し、完全に停車するまでブレーキを放さないでください。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する練習をしましょう。

6) スラローム

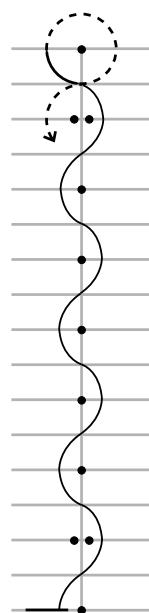
エクササイズの目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

宛先

6 m (20 ft) スラローム

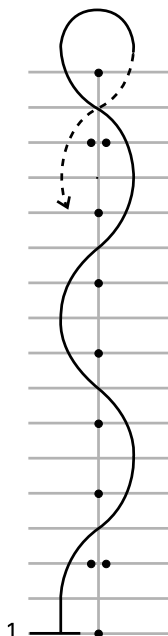
1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。方向変更に慣れるまで、最初は低速で練習します。
2. ターンをする度に体をターンの方方向に傾け、グリップを引っ張ったり押したりしながら進みたい方向にハンドルを切ります。



1. 開始時点

12 m (40 ft) スラローム

慣れてきた場合は、他のすべてのパイロンの間、または四つに一つのパーキングスペースの間を通過して12 m (40 ft) のスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点

練習のヒント

- 16～19 km/h (10～12 mi/h) のスラローム速度に慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいですが、終了地点でのUターンの時は速度を落としてください。

7) 変速

走行中は、エンジン速度と車両の速度を一致させるために変速する必要があります。マニュアルの乗用車やトラックと同様に、低速ギアは低速度に、高速ギアは高速で使用します。

トランスミッションはエンジンの回転数が1,800 rpm以下になると自動的にシフトダウンします。

エクササイズの意味

- シフトアップおよびシフトダウンを学ぶこと。

宛先

このエクササイズは以前のものと似ていますが、今回は直線コースでシフトアップし、コースの終了地点で停止する練習をします。このエクササイズでは、パーキングスペースより駐車場の通路を使うことを推奨します。

7a) 停車時でギヤセクターの使用を練習する

まず停車状態でリバース、ニュートラルおよび第一ギア間のシングルシフトを練習します。次に、以下の練習を行います。

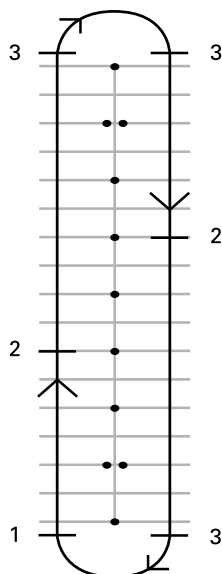
- リバースから第一ギアにダブルシフトする。
- 第一ギアからリバースギアにダブルシフトする。
- 慣れるまで繰り返します。

7b) 1速ギヤから2速ギヤにシフトアップ

- 直線コースでエンジン速度が3,000 RPMに達するまで加速します。
- 第二ギアにシフトするにはギアセクターを前方に押します。シフト中にスロットルを放す必要はありません。
- 慣れてきてスペースが十分にあれば、スロットルを調整して第二ギアで加速してみることもできます。

直線コースの終了地点に近づいてきたら以下の停車の準備をします。

- スロットルのリリース
- ブレーキをかける
- トランスミッションは速度が落ちると自動的にシフトダウンします。ギアセクターを手前に引くことで手動でシフトダウンすることもできます。



1. 出発
2. 25 km/h (16 MPH) で2速ギアに変速
3. 停止

7c) 十分なスペースがある場合、走行中に1速ギアにシフトダウンする練習

直線コースで：

- スロットルを放さないでギアセレクトターを手前に引っ張ります。
- スロットルなしでシフトダウンするとエンジン・ブレーキの感触がよりリアルに伝わります。

7d) 他のギヤ

スペースが十分である場合、より高いギアにシフトアップしたり、低いギアにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギヤは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

注記：

シフトダウン中にもう少しスロットルを開けることで、エンジンを吹き上げさせて車両速度と同等のレベルまでより素早く上昇させることができます。シフトダウン中にスロットルを開けないと、エンジン・ブレーキによって車両の速度が落ちます。これを利用して減速することもできますが、VSSはエンジン・ブレーキを制御しないことを考慮してください。高速度であまりにも低いギアに変速してしまった場合は、後輪が滑ってしまうことがあり、特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピニングアウト、転倒または転がってしまう可能性があります。

8) 急ターン

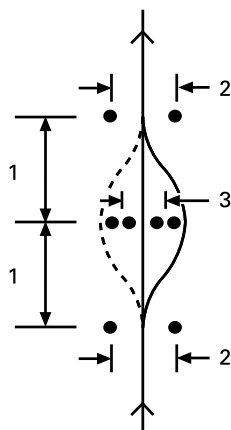
エクササイズの目的

- 極端な操作での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

宛先

このエクササイズを行うには、コースを再配置する必要があります。以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。このエクササイズには、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約8 km/h (5 mi/h) の速度で2つのパイロン間を走行し、その速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロンス h 級の第二セットからコースを出ます。
- このエクササイズは数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m (20 ft)
2. 3 m (10 ft)
3. 2.5 m (8 ft)

練習のヒント

- 開始速度を徐所に上げることもできます (13 ~ 19 km/h (8 ~ 12 mi/h) 以下の速度に抑え、いくつかのバリエーションを試します)。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックなエクササイズとなります。助手には安全な距離を取ってもらいます (練習場より多少離れた位置など)。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する練習をしましょう。

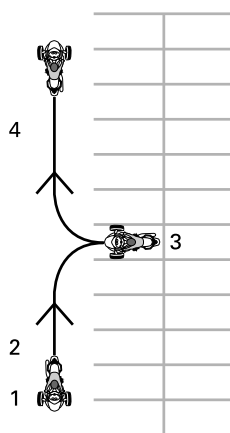
9) リバースでの運転

エクササイズの目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

宛先

- リバースにシフトします。基本手順のリバースでの運転を参照してください。
- 背後に障害物がないか確認します。後退中も背後を見続けます。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常動作と同様に、スロットルを放してブレーキをかけて減速し、停車します。
- 100cmから200cmずつ後退し、間に停止させます。
- 低速度で運転し、長距離を走るのはリバースを使わないこと。
- 後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。



1. 開始時点
2. リバース
3. 停止
4. 前進

高度運転技術の取得

基本運転技術をマスターした後は、より高度な技術の取得を開始することができます。まず、次のセクションに記載の道路上の注意事項を確認してください。次に、リスクが比較的に低い場所を見つけて練習を開始します。

以下のようなよりリスクが低い条件で運転し始めます。

- 短距離
- 好天
- 交通が少ない場所
- 昼間
- 低速度
- 同乗者なし。

上達してきたら徐々によりリスクの
高い状況で練習してください。

道路上の注意事項

このセクションは道路上のリスクを軽減するための戦略について説明します。これらの多くの戦略はモーターサイクルのものと似ています。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。しかし、3輪トライクの場合は方法が異なることがあるため、熟練したバイク運転経験者でもこのセクションをお読みください。

練習の下準備

練習に出かける前に必ず天候を確認します。いかなる天候に備えるために適切なギアを持ってきます。

自分の技術に見合った経路および運転状況を選択します。

車両には26.5 l (7 gal (liq.,US)) の燃料タンクがあります。燃料低下インジケーター・ライトが点滅し始めたら、燃料タンクの供給をできるだけ早く行ってください。特に人けの少ない場所では、ガソリンスタンドなどの場所を事前に確認します。

安全運転

モーターサイクルと同じく、安全運転は衝突事故を防ぎます。常次警戒する必要があります。背後も含めて、周囲への注意を怠らないでください。必ず潜在的な危険性がないか確認し、先読みし、問題を回避するために必要な距離と時間を計算します。他の運転者が常に交通規則を守るだろうと決め付けしないでください。

車間距離

最適な運転状況では、前の車両とは2秒間の車間距離を必ず取ってください。これは、道路上の固定物と比較して前の車両の位置に最低でも2秒後に通過することを意味します。

制動距離が長くなる状況、または視認性が悪い場合、より安全な対策を取るためにより長い車間距離を取ってください。例えば、滑りやすい路

面、下丘、または車両の重量がより重たい場合は、制動距離がそれだけ長くなりますし、霧、カーブまたは夜間では視認性が制限されます。

前方を見渡す

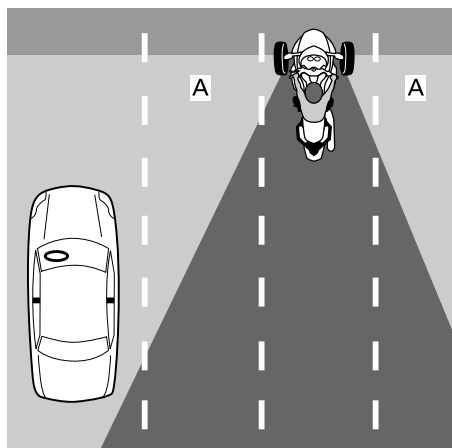
隣の車両と適切な車間距離を保つことに加えて、前方を見渡して通り道を事前に考慮しておきます。

最低でも4秒後の通り道を計算しておきます。道路上にある物体や他の車両など、自分の通り道に危険性がないか気を配ります。

予想した通り道で潜在的に危険な状況が起こる前にそれを見越すために、12秒先の距離も見通しておきます。例えば、他の車両が現れる可能性のある交差点や、歩行者が横断する可能性のある箇所などを識別します。もし危険な状況に遭遇した場合、瞬時に回避できる準備をしておきます。

背後および両側の確認

すべての方向から他の車両や危険が迫ってきます。周囲を常に見渡しします。背後になにがあるか常にミラーを確認します。さらに死角を監視するために常にヘッドチェック（振り返って確認する）を行います。



1. ドライバーの死角

ブレーキをかける際は後続車両に注意してください。後続車両は、この車両のように素早く停止できない場合があります。

視線を動かす

周囲を把握するには、視線を一つの方向に集中してはいけません。常に視線を動かし、道路、道路標示、機器および他の車両に注意します。すべての方向において、近くと遠くを見ます。

トラブルを予想する

潜在的な危険性に気が付いた時は、回避方法を検討します。これには、速度や車線での位置を調整したり、車線変更する必要がある場合があります。また、なにかが通り道に侵入してきた場合は、急ターンやブレーキなどのおきます。問題に対応できるように、十分な距離をとり、十分に反応できる時間を常に確保しておきます。

視認性を高める

ドライバーにはモーターサイクルなど小さい車両をあまり注目しない性質があります。そのため、他のドライバーから見えやすいようにすることも戦略の一つです。

他のドライバーから見えやすいする方法

照明およびリフレクター

車両のヘッドライト、走行用ライトおよびテールライトが適切に作動することを確認してください。使用されている車両のフェンダー、両側および後部にはリフレクターが付いています。すべてのリフレクターが清潔であり、壊れていたり欠損していないことを確認します。

昼と夜の両方で使用可能なときはハイビームを使います。夜に他のドライバーの目をくらますのを避けるために、または霧で光が反射しすぎている場合にロービームを使います。

シグナル

ウインカーを使って他のドライバーに自らの意図を知らせます。車両には自動キャンセル式の方角指示灯が付いていますが、短いカーブではキャンセルしないことがあります。操作の完了後にウインカーがOFFになっていることを確認します。完了後にONになっていると他のドライバーを混乱させてしまいます。

できれば、減速する前や交差点にたどり着く前にブレーキライトを点滅させ、背後のドライバーに警告します。

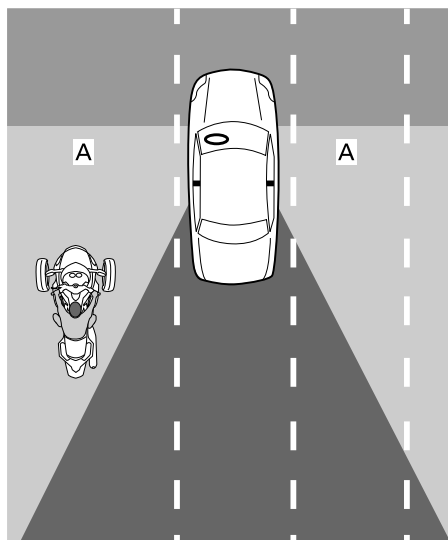
さらにクラクションの使用を試みて、他のドライバーに自らの居場所を伝えることもできます。

他のドライバーがあなたのライト、シグナルまたはクラクションの音に気づいたと決め付けしないでください。

必要に応じてハザード警告灯を使用して、他のドライバーから見えやすくします。

死角

他の車両の死角に運転するのは避けましょう。前方に走っているドライバーがミラーからあなたを見えやすいように自分の位置を設定します。トラックまたはバスを追跡している状況などの特定の場合は、前方の車両との間の車間距離を多めにとりましょう。



A. 他の車両の死角

時刻と天気

薄悪か明光ト
ガの一夜日の
照明ナイす。他の
照るに明て、
霧のナリ。な
どはドリアン
なたのあ常
れま他が非
暮雨は、合
夕びは、場
やよ場合、
明お場く
場合、の暮
夜、場合、
夜、場合、
夜、場合、

衣服

明るい色または蛍光衣類は視認性を高めます。

他のドライバーから見えていても
気をつけましょう

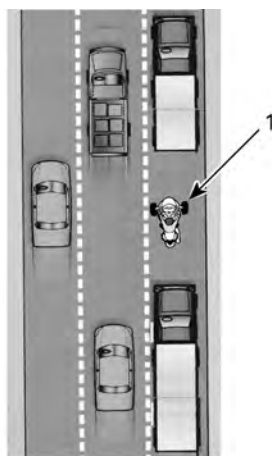
気るあいな
 に作がラけ
 在性をド付
 存可能の決
 のス可他め
 たりする、と
 なすしる
 衝突をす
 が衝突を
 バーも、仕
 ライも、運
 のてなす安
 ドいうなま
 のづよりま
 他

車線の位置

付車に型線
位置を線大車
に前のり、
中央はと減
中の距離を低
線の距離を低
車をす。間の
をのす。間の
両のす。間の
車こめとの風
はす。留両ら
常ま内る車か
通け線い車

ク車輪リ運はがだ
スは前アので方く
リンから電車両えで
れるシ所び自動車、見
さジ箇よ。こり、な
突ボいおす。おれ
衝のすキま合てを
からこや一し場つと
両す。リレ持る座こ
車まの滑ブをて心る
たし央け、力れ中て
し減中ざ能慣のつ
更輕の遠グに両ない。
変も線をン転車異さ

たやに他車ととりまに要通にのと見大合両あ
ま両らはにこ席周り車必交外方をを。場車が
側車のさためるもあいが高をり線の前離一ん。通行能
左のす。またするてもあると距離ミまでと可
線の他。また得移央に場合を周車をのりれいい
車に、ききたをに中端場背離をよ車のりれいい
に、置る線側ののはは距す輪しる手なさない
ためしたを得視右両線の間ま車まえ相げれば追いき
たしを距離めのはは車車づま車りにけ見がれたで
移動距離をのはは車車づま車りにけ見がれたで
けるに移バますで見多いとるたはかなって左識
避にかいい側主因が広い多かたはかなって左識
を側からいい側主因が広い多かたはかなって左識
陰右一りドのでが交通幅てる握出イは、距離に線を
危は力よの線も幅のす。対がをははドラるえ型は、あります。



1. 車線の左側にある車両

この車両はバイクよりも幅が広い
ため、車線内では限られた位置にしか
動けません。車線の左または右側で
走行する場合は、前輪が車線内に留
まっていることを確保します。

多車線の道路では、車の流れにのっ
たあなたの速度に見合った車線を選
び、視認性を重視し、回避行動用
(他の車線または路肩に急ターン)
の通り道を考えておきます。

一般的な運転状況

交差点

路地や私道をつなげる小さい交差点
など、交差点には横断歩道があるた
め、更なるリスクがあります。方向
後、前方および左右のすべての方
向に問題がないか必ず監視しておき
ます。

交差点で停止する場合は、次の角を
曲がる場合でも、車線の真ん中で停
車します。これにより他のドライ
バーから見やすくなり、あなたの
周囲を運転しようとする車に妨げ
ます。背後から迫る車に気を付け
てください。追ってくる車に對し
てブレーキライトを点滅させる。
必要であれば、衝突を避けるため
の回避準備をしておきます。

車線変更および追い越し

この車両はバイクよりも幅が広い
ため、他の車両を追い越すことは
幅をより必要とする考慮して
ください。この車両は乗用車より見
えにくいいため、十分余裕を持っ
てインカーをつけ、ミラーをよ
び確認すること、特に重要で
線変更後にインカーをOFFにし
ないようにはしてください。車線
ではハンドルが十分に切れず、
グナールが自動的にキャンセルさ
れま

2車線(スプリットレーン)の間の線
の上を絶対に走行しないでくださ
い。車両の幅が広がります。

路肩に沿って他の車両を絶対に追
越そうとしないでください。車輪が
一つでも道路からはみ出た場合、コ
ントロールを失いかねません。

ターン

ターンの時は減速し、周りをよく見
てきちんとステアリングを制御する
ことを忘れずに。

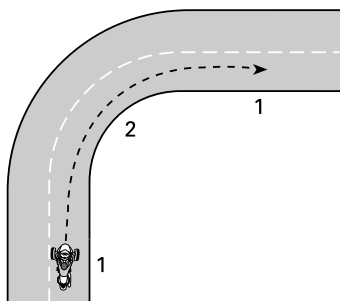
- **減速**：ターンする前に、必要に応
じてスロットルを放したりブレー
キをかけたりして速度を落しま
す。維持できる範囲の速度でター
ンを開始します。
この車両は、バイクよりもターン
時のブレーキ効率が優れていま
す。しかし、ターンしたりカーブ
を曲がっているときにブレーキを
かけるのではなく、その前に減速
することが重要です。ブレーキと
ターンの両方には駆動伝達が必要
です。ブレーキに駆動伝達を使え
ば使うほど、同時にターンするだ
けの駆動伝達が無くなります。
ターンやカーブの曲がり方が早
ざると、前輪の内側が舗装から浮
き上がり、VSSがエンジンの出力
を制御し始める音が聞こえる場
合があります。VSSはコントロール
の維持に役立ちますが、ターンが
早すぎるとスピンしたり転がり落
ちてしまう可能性があります。
- **周りをよく見る**：ターンの全過程
において周囲に注目し、視線を動
かし続けます。カーブ全体(表面
特性、カーブの度合い、全体の交
通状況)をできるだけ早く把握し
ます。こうすることで、速度や姿
勢について判断する時間が確保で
きます。時には、ターンの方向に
頭を傾けることで全体の把握がよ
り可能となります。
- **ステアリング**：ハンドルを切って
ターンの方向に車両を操縦しま
す。この車両はバイクとは異なる
ため、カウンターステアができ
ず、車両を傾けさせることはでき
ません。ターンによる横力を経験
するため、この間に姿勢を保つに
はターンの内側に重心を移行させ
る必要がある可能性があります。

モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。

カーブ

この車両は乗用車より幅が小さいため、カーブでの通りを道を正すために車線内を左右に動き回ることにもできます。ただ、この車両はモーターサイクルより幅が大きいので、左右の動きは限られます。前輪が車線からはみ出ないことが重要です。

通常のカーブでは、アウト、イン、アウトの通りがベストです。



通常のカーブの通り道

1. アウト
2. イン (内側)

坂

停車は、どのギヤに入っているかに関係なく動き出す可能性があります。車両が停車しているときはクラッチが常時解除されているため、トランスミッションだけで車両を所定位置に留めておくことはできません。傾斜上で停車している状態では、ブレーキペダルを押し続けます。傾斜上で始動するには、スロットル開度を増加しながらブレーキペダルを踏み続けます。クラッチがつかったと感じたところでブレーキペダルを放してください。

夜中の運転

他のドライバーからの注目を引くためにライトやシグナルを使う他にも、夜中の視認性も考慮してください。適切な時にハイビームを使用し

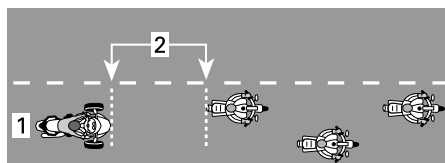
ます。ヘッドライトを切らないでください (そのような状態で高速で走行すると、停止距離が確認できなくなります)。他の車両のヘッドライトを利用して前方を見渡すこともできます。

夜中には着色のバイザーまたはレンズを使用せず、バイザーに傷や汚れがなように特に気をつけます。

グループでの走行

グループでの走行は単縦列でのみ行ってください。モーターサイクルとも車線を絶対に共用しないこと。

モーターサイクルと走っている際は、前方のモーターサイクルが同じ車線の隅にいる場合でも、適切な車間距離をとります。カーブでは、モーターサイクルの通り道を辿らないでください。モーターサイクルは、カーブの際に車線の端の方寄せることができます。この車両でモーターサイクルに追従すると、前輪が車線から出てしまいます。モーターサイクルはこの車両よりも速くカーブを曲げることができます。モーターサイクルの速度に合わせないでください。



グループ走行のポジション

1. 車線の中央
2. 2秒後の距離

特にカーブが多い場合は、ライダーはモーターサイクル運転者よりも早く疲れる場合があります。モーターサイクルに追いつこうとして体力の限界を超えようとしてしないでください。疲れたら停車して休んでください。

道路状況および危険性

氷、雪および泥

凍結した道路、雪道、または泥の上では走らないでください。VSSを用いていても、これらの滑りやすい表面伝達がありません。この車両は、滑りやすい路面では自動車よりもスピンしやすく、制御不能になる場合があります。

砂利、土および砂

砂利、土または砂で覆われた道路では、余分に注意し、特にカーブでは速度を落します。これらの表面は舗装道路のような駆動伝達がないため、VSSを用いてもコントロールを失ってしまいます。

湿潤路面および水溜り

通常は、舗装上に水溜りがない限り（水が流れているなど）、湿ったり濡れた舗装ではコントロールを維持できるだけの駆動伝達がありません。他の車両と同じように、この車両でも道路上の水溜りの上を、高速で通過するとハイドロプレーニング現象が発生しますが、他の乗用車やモトクロスでこの現象が発生します。ハイドロプレーンはより深い水溜りの上で起こりやすいです。深さを確認するには、他の車両が通った時の水の動きに注意してください。

ハイドロプレーンが起きた場合は、一つ以上の車両が水上に浮き上がり、道路との接触を失います。これが後輪に起きた場合は、後輪が横にずれているように感じるかもしれません。ハイドロプレーンした車輪は車両をコントロールするために必要な駆動伝達を提供しません。コントロールを失ってスピンアウトしてしまい、VSSでもコントロールを維持することはできません。

大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必

要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

水の上を通った後は、ブレーキの動作を確認します。必要であればブレーキを数回かけ、摩擦によりブレーキパッドを乾燥させます。

適切にメンテナンスされたタイヤはハイドロプレーンのリスクを抑えます。必ず以下の推奨されるタイヤの空気圧を維持してください。

メンテナンスの手順のセクションのタイヤ空気圧を参照してください。

注記：

左右のフロントタイヤの圧力差が3.4 kPa (0.5 lbf/in²) を超えないようにしてください

ハイドロプレーンのリスクを最小限に抑えるために、最後のトレッドウェアインジケータが見える場合は、タイヤをすぐに交換してください。

雨が降り出した最初の数分間は油や汚れが水と結合するため、車線の中央は特に滑りやすくなります。雨水が多い場合は、磨耗した舗装に蓄積されることがあります。これらの駆動伝達が少ない箇所は避けます。できれば前輪を駆動伝達が一番良い箇所に留めておきます。

オフロードでの使用

オフロードではこの車両を使用しないでください。車両はオフロードの駆動伝達が少ない、でこぼこの粗面には耐えられません。簡単に動けなくなったり、コントロールを失ったり、あるいは転倒してしまいます。さらに、特定の地域ではオフロードで使用することは違法である場合があります。

障害物、穴やでこぼこ面

できれば障害物、穴やでこぼこ面の道を走らないでください。もし避けられない場合は、そこに到達するま

えにできるだけ減速し、ブレーキを放しながら進みます。

より幅広い障害物やでこぼこ面に対面しては、できればストレートにアプローチし、両方の前輪が同時に直面上を走るようにします。両方の前輪で障害物、でこぼこ面や穴の上を走行する場合は、乗り手はベグの上を少し立ち上がり、足を使って衝撃を和らげるような姿勢をとります。車輪が障害物にぶつかるかもしれないことを想定して準備しておきます。

より幅が狭い障害物、でこぼこ面や穴に対しては、後輪で乗り上げる方がよいです。前輪で乗り上げる場合は、ハンドルをしっかりと握り、スロットルを誤って開けてしまわないようにし、必要であれば軌跡を調整する準備を整えておきます。

かなり大規模の障害物、でこぼこ面または穴に直面してしまった場合、衝撃によって車両が跳ね上がって、乗り手に車両部分があたってしまう、乗り手が車両から放り出されたり、コントロールを失ったり、スピンや転倒してしまう場合があります。

車両を回避するために完全に停止できない場合は、急ターンして回避してください。必要であれば急ターンとブレーキを同時に行うこともできます。

鹿などの大型動物が道路上にいる場合は、その箇所に到達する前に停車し、動物がいなくなるまで待ちます。

犬が追いかけてきた場合は、犬が近づくにつれて減速し、犬と直面する直前に加速して回避することが推奨されます。

道路上での緊急事態

走行中に車両の異常や予期しない出来事が起こります。よくメンテされた車両は異常のリスクを軽減させますが、その緊急事態に備えておくことが推奨されます。

- オペレーターズガイドを必ず車両の中に入れておいてください。
- 道路の上で停車する場合は、次の注意事項に従ってください。
 - 道路に舗装された路肩がある場合は、高速から降りるシグナルをだし、交通速度に近い速度で車線からでて、完全に停車するまで減速します。
 - 路肩が舗装されていない場合は、方向指示灯を出して走行車線を離れる意図を示し、安全速度まで減速してから舗装路を離れ、車両を停止します。
 - 視認性を高めるため、方向指示灯は作動させたままにします。
 - ハザード警告灯を装備しているモデルでは、視認性を高めるためにハザード警告灯を作動させます。
- 携帯やその他の通信機器を持っている場合、長距離の旅にでる前に完全に充電させてください。
- 事故に巻き込まれた場合、BRPは、運転を再開する前に車両を最寄りのCan-Am On-Roadディーラーまで移動させて（車両の移送を参照）、安全点検を依頼するよう強く推奨します。

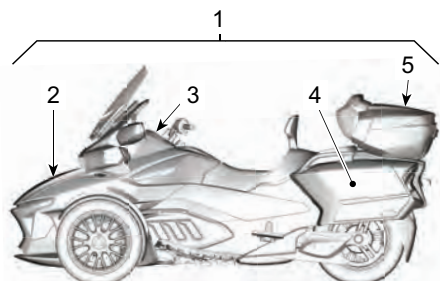
タイヤの故障

タイヤが故障したり急にパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、徐々に低速し、安全な場所に慎重に進み、停車します。急ブレーキをかけたり、シフトダウンや急なハンドルの扱いは避けてください。前輪が故障した場合、車両は故障したタイヤの方向に引っ張られる可能性が高いため、車両のコントロールを維持するにはハンドルをしっかりと握る必要があります。タイヤ修理の指示については、道路側での修理のセクションを参照してください。

同乗者や積荷を乗せる、またはトレーラーの牽引

重量制限

乗り手および積荷の重量制限を超えないでください。



1. 車両積載重量制限
2. フロントストレージコンパートメント
3. グローブボックス
4. サイドストレージコンパートメント
5. 上部ストレージコンパートメント

超過重量は：

- 加速、ブレーキおよびターンの効率を妨げます。
- VSSの効率を妨げます。
- 重すぎたり、重量が後部に集中している場合、反転のリスクが高まります。
- 地上高を減少させ、高さが低い障害物やでこぼこ面に直撃するリスクが高まります。
- タイヤの故障のリスクを高めます。

重量制限	
サイド・ストレージ・コンパートメント (各側)	6.8 kg (15 lb)
上部ストレージコンパートメント	6.8 kg (15 lb) (トップラックが取り付けられた状態)
	9 kg (20 lb) (トップラックがない状態)

超過重量で運転する場合

同乗者や重い荷物を乗せることは、車両がより重くなってしまい、重量配分が不均一になってしまうため、車両の動きが左右されてしまいます。

1. より素早く加速できなくなってしまう。他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
2. より素早く停止できなくなってしまう。前方車両との間の車間距離を最低でも3秒間まで引き伸ばします。理想的な運転状況でない場合は（視界不良、コンディションの悪い路面など）、より長い車間距離をとります。
3. よりシャープなターンや、高速でのターンを行うことはできなくなります。ターンの前は通常異常に低速し、急ターンを避けます。
4. 車両はより不安定になる場合があります。後部に片寄った重量配分（同乗者の乗せた場合など）で極端な操縦をした場合は、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

注記：
最大許容荷重を超えた状態で運転すると、VSSの効果が低下します。

重量制限		
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、カーゴおよび追加されたアクセサリも含みます)	オーストラリアモデル	195 kg (430 lb)
	その他の全モデル	252 kg (556 lb)
フロントストレージコンパートメント		16 kg (35 lb)
グローブボックス		2 kg (4 lb)

同乗者を乗せた運転

この車両はドライバーの後ろに同乗者が一人乗れるように設計されています。複数の同乗者を絶対に乗せないでください。

あらゆる場面で一人で走行し、車両を適切に操縦できるまで、同乗者を乗せないでください。

同乗者は酔いが完全に醒め、集中できる状態にあり、適切にフットレストや取っ手を使い、バランスを保ち、極端な操縦時にしっかりつかまり、ドライバーの気をそらさないことが必要です。

同乗者はドライバーの指示に従い、オーディオコントロールを使用する必要があります。

同乗者も適切な保護具を着用している必要があります。同乗者は特にヘルメットなど、ドライバーに推奨されるすべての保護具を着用する必要があります。フルフェイスヘルメットの使用を推奨します。これは、急停車時に、同乗者の顔がドライバーのヘルメットの後部に当たる恐れがあるためです。

同乗者の姿勢が整われるまで、ブレーキをかけておき、トランスミッションをニュートラルに入れておきます。

運転し始める前に同乗者に乗り方を教えます。同乗者に次のルールに従ってもらいます。

特に経験のない同乗者を乗せている場合、急な加速、ブレーキおよびターンは避けてください。予期しない急な操作は同乗者が転がり落ちてしまう要因となります。

1. 適切な姿勢を保つこと。常に同乗者用の取っ手につかまり、足を同乗者用のフットレストに乗せておくこと。同乗者用のフットレストの高さは調整可能です。同乗者用フットレストの調整の仕方を参照してください。

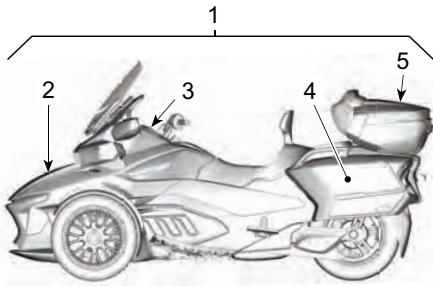
2. 横方向の過度の力にドライバーが耐えられない場合があるため、同乗者はドライバーにつかまらないようにしてください。
3. 特定の操作に対して同乗者用グリップの握り方を変えてみると、効果的な場合があります。（ターンでは片手を取っ手の正面に、もう一方の片手を反対側の取っ手の裏面を握ったり、その他の状況においては両手をさらに前方または後方に位置付けるなど）



A. ハンドルバーを握る位置

4. エキゾースト・パイプ、後輪およびドライブ・ベルトに近づかないでください。
5. ターンの時にバランスを保つ時以外は、後ろに振り向いたり傾いたりしないでください。予期しない操作の時は、通常の姿勢をとっていない同乗者は転がり落ちてしまう確率がより高くなります。
6. 先方をしっかり把握し、今後の道路状況に対応します。遠心力に抵抗するために必要に応じてカーブの方向に体を傾けます。障害物、穴またはでこぼこ面の上を走る場合は、肘をロックしないまま席から多少立ち上がります。

荷物を乗せる場所



1. 車両積載重量制限
2. フロントストレージコンパートメント
3. グローブボックス
4. サイドストレージコンパートメント
5. 上部ストレージコンパートメント

次のコンパートメントに荷物を乗せることができます。車両にBRPの承認されたアクセサリが搭載されている場合を除いて、他の箇所に荷物を乗せないでください。

次のコンパートメントに燃料などの可燃性のものを絶対に積まないでください。

各コンパートメントの積載重量制限を必ず守ってください。このセクションの重量制限を参照してください。

グローブボックス

グローブボックスは小さい私物の保管に最適です。

運転中に（通行料金など）瞬時に必要な物を保管するのにとても便利です。

フロントストレージコンパートメント

フロント・ストレージ・コンパートメントは最も広々として、ヘルメット二つや他の物が保管できます。フロントストレージコンパートメントには本オペレーターズガイドを保管する指定箇所が設けられています。

運転する前にコンパートメント・カバーのラッチが固定されていることを確認してください。

サイド・ストレージ・コンパートメント

サイド・ストレージ・コンパートメントはヘルメットまたはその他の軽い物を保管する場所です。

運転する前にストレージ・コンパートメント・カバーのラッチが固定されていることを確認してください。

上部ストレージコンパートメント

上部ストレージ・コンパートメントはヘルメットまたはその他の軽い物を保管する場所です。

運転する前にストレージ・コンパートメント・カバーのラッチが固定されていることを確認してください。

トレーラーの牽引

RTシリーズの車両は任意のBRPのトレーラー（任意のBRPヒッチ付き）が牽引できるように設計されています。

この車両の車両安定システム（VSS）は、適切な車両安定コントロールを維持しながらBRPトレーラーが牽引できるようにプログラムされています。

この車両用に特別に設計されたBRPのトレーラー、またはBRPにより承認されている同等品だけを使用してください。これは、通常操作時に車両とトレーラーの安定を確保し、車両安定システムに支障がでないようにするために重要なことです。

注意

推奨されない配線ハーネスの使用は車両電気システムの故障につながる恐れがあります。

警告

その他のトレーラーの使用は車両の損傷、または車両安定システムの適切な操作に支障がでてしまいます。トレーラーを牽引している際にクルーズ・コントロールを使用することは推奨されません。トレーラーの牽引は、重量が増えて荷重分布も異なるため、車両のハンドリング方法に影響します。

- 他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
- ブレーキに対してより長い距離をとってください。
- 前方車両との間により長い車間距離をとってください。
- ターンの前は減速し、通常異常に低速し、急ターンを避けま
- 過度の操縦では、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

他の車両に追い越されたり横切られた時に発生する横風と乱気流によってステアリングが影響され、トレーラーが揺れることがあります。この効果を最小限に抑えるために、一定の速度で運転し、急に曲がったりブレーキを調整したりしないでください。

カーブを曲がる前に減速します。

コーナリングの時は、より大きな半径をとってターンしてください。トレーラーを付けてターンする場合は、より大きなスペースを必要とします。

トレーラーを付けたまま後退しなくてはならない状況を防ぐために、先読みしながら運転します。

後退する時は、必ずゆっくり後退します。できるだけ他の人に指示してもらいます。まず最初に空地で練習してください。必要とされる運転技術および実践演習を参照してください。

できれば、急ターン、捻じ曲がり、ターンや急ブレーキを避けてください。これはトレーラーが折り曲がりたり、転倒してしまう恐れがあります。空のトレーラーはより簡単にバランスが崩れます。加速する場合は、過度のエンジン負荷を避けるためにより高いRPMでシフトすることは一般的な操作です。

注意

後輪をスピンすることは避けてください。石や砂利がトレーラーにかかってしまい、損傷させてしまう恐れがあります。

ヒッチ荷重制限**警告**

転倒のリスクが高まるため、トレーラー・カバーに荷物を絶対に乗せないでください。すべての荷物はトレーラー内に保管します。

積載重量制限は適切な牽引機器で確認する必要があります。

牽引仕様	
トレーラーの接合部への最大重量	18 kg (40 lb)
最大牽引重量 (トレーラーおよびカーゴ)	182 kg (400 lb)

注記：

トレーラーに積載できる貨物の最大重量については、トレーラーメーカーの情報を確認してください。



1. 最大垂直荷重
2. 最大けん引重量

場。合か物が荷に一一の内重グ量
たす接は荷裕に度レラ量量一にン重
れまでは。余部限ト一重重ラ部リに
まり態にすだ前量をしるの一合ア部
込かたるままの重物トかかレ接テ合部
みかいすきに一の荷。かかト。ス接
積がな定で一ラ部のすに、す。
が担い測もナ一合りま部部にまとす。
物負てをと一レ接残み合めしるま
荷にれ量コレト、積接接た分ざれ
に部さ重るト、めには。す配すざ
一合合るす後は始合部分すた再リ減
ラ接接か用た合み場後配ま充をか低
一、にが使せ場積たの量しを量かガ
レは両にを乗るをし一重重様重が御
ト合車部りをあ物達ラの影仕の量制

がかからなすぎると、トレーラーが不安定になり、揺れてしまいます。

警告

と、に、一、動、載、対、荷、一、固、で、影、だ、に、な、響、い
う、効、ト、ハ、制、積、絶、は、い、レ、に、し、の、こ、わ、影、失、い
ま、し、よ、ト、ハ、の、よ、い、す、ま、だ、が、安、確、か、で、す、ニ、グ、ル
て、お、ま、車、速、お、正、し、す、ま、だ、が、荷、れ、必、重、に、ま、事、リ、口
え、グ、し、加、す、重、に、さ、を、い、め、し、奨、ド、ト
超、ン、ぼ、り、ま、が、荷、な、前、布、と、高、た、定、推、ン、ト
量、を、リ、及、ぶ、性、分、負、し、る、配、こ、り、る、固、る、ハ、ン、ト
重、ト、を、に、定、さ、配、過、り、す、る、よ、せ、ず、い、の、コ
引、ハ、影、引、安、影、重、に、だ、作、切、い、る、減、を、れ、車、車、せ、ん、
率、の、な、の、グ、が、び、適、積、を、に、れ、さ、低、荷、さ、と、れ、ま、せ、ん、
大、兩、刻、一、グ、距、お、に、物、車、ラ、定、く、響、け、記、い、さ、か、ね、

注意

車ね、てれに
とかい、けさう
うしなひきい
ま傷なひきい
てしなはがな
え一傷運ラ動
超ラ損を一がい
量レ一を品物さ
重レ兩部ト荷だ
引は重。い際にく
牽たんのさるし
大ませ角だるし
最兩ま鋭くて配置

トツチ

BRP製のヒッチまたはBRPに承認された同等品のみ使用してください。BRPヒッチは車両のスイングアームに適切に適合し、車軸にしっかりボルトで固定します。

注意

推奨されていないヒッチを使うと、リアスイングアームの故障につながりかねません。

安全ケーブル

トレーラーを牽引する場合は必ず安全ケーブルを使用します。トレー

ラーおよびヒッチに固定し、接合部の下を通るようにします。トレーラーがコーナーを曲がれるようにケーブルがある程度たるむようにします。トレーラーと車両が直線で結ばれている時は、チェーンが地面に接触しないようにします。

知識セルフテスト

以下の質問は、本ガイドで習った情報の復習です。これにはすべての情報は含まれませんが、車両および操作に関する一般的な理解を得ているか知ることができます。

質問ページの次のページの 解答 (108ページ) 答えを参照してください。

質問

1. 急停止する場合は、ブレーキとパーキングブレーキを作動させる。

正しい

間違いである

2. 走行前の点検は一週間に一回は行うべきだ。

正しい

間違いである

3. VSSはどの天候でも車両を使用できるようにする。

正しい

間違いである

4. タイヤを交換する場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーから入手したBRP認定のタイヤのみ使用するべきだ。

正しい

間違いである

5. 同乗者が集中でき、完全に酔いが醒めている状態であることが重要だ。

正しい

間違いである

6. 傷害の危険を低減させる保護具を六つ挙げてください。

1) _____

2) _____

3) _____

4) _____

5) _____

6) _____

7. 保護具は、傷害を防ぎ軽減させ、快適さを保ち、気象要素からみを守るために欠かせません。

正しい

間違いである

8. 以下のなかで車両をコントロールしないものを挙げてください。
- a. ハンドル
 - b. ねじれスロットル
 - c. フロント・ブレーキ・レバー
9. 視認性を高めるために昼間でもロービームのライトをONにし続けるべきだ。

正しい

間違いである

10. 通常は、車両を車線の中央に位置付けるべきだ。

正しい

間違いである

11. 通常のモーターサイクルとは異なり、ブレーキをかけながらターンすることを習慣にするべきだ。

正しい

間違いである

12. 通常の状態では、車間距離は最低_____であるべきだ。

- a. 1秒
- b. 2秒
- c. 3秒

13. 承認された容器に入っている、ガソリンなどの引火性液体を車両上に載せたりストレージコンパートメントに入れたりして運んではならない。

正しい

間違いである

14. 他のドライバーから注目を得る5つの方法を挙げてください。

- 1) _____
- 2) _____
- 3) _____
- 4) _____
- 5) _____

15. 駆動伝達が良好ではない道路面でブレーキをかける場合は、車両のコントロールを維持するためにポンピング・ブレーキを行うべきだ。
- 正しい 間違いである
16. 車両の最大積載量には、ドライバー、同乗者、荷物およびすべてのアクセサリが含まれる。
- 正しい 間違いである
17. この車両はトレーラーを安全に牽引できる。
- 正しい 間違いである
18. 車両構成によって可能な場合、同乗者はドライバーにしっかりつかまった方がよい。
- 正しい 間違いである
19. 3輪トライクの運転は乗用車の運転と同じくらい安全だ。
- 正しい 間違いである
20. ABSは車輪をロックさせないでブレーキペダルを強く踏めるようにさせます。
- 正しい 間違いである

解答

1. 間違いである

急停止するには、ブレーキペダルのみ踏みます。車両が動いている間は決してパーキングブレーキを使用しないでください。

2. 間違いである

乗る前に必ず走行前の点検を行うべきです。

3. 間違いである

ハイドロプレーニング現象を起こすほど氷、雪、泥または水が道路を覆っている場合、VSSを用いても操作を維持することができません。低温が原因でタイヤの接地性が低下していたり、未舗装路を走行するときは、VSSの性能も低下する場合があります。

4. 正しい

5. 正しい

6. 1) ヘルメット

2) 目および顔の保護

3) 長袖のジャケット

4) グローブ

5) 長いパンツ

6) できれば丈が長い、つま先を覆ってるフットウェア

7. 正しい

8. c. フロント・ブレーキ・レバー

車両にはフロント・ブレーキ・レバーはありません。

9. 間違いである

昼間中はハイビームを使用すべきです。

10. 正しい

11. 間違いである

必要であればブレーキとターンを同時に行うこともできますが、通常はターンの前にブレーキをかけることが推奨されます。

12. b. 2秒

通常の状況では、車間距離は2秒以上とるべきです。

13. 正しい

14. 1) ライトおよびリフレクターが掃除されてあることを確認します。
2) 可能な限りハイビームを使います。
3) ウィンカーを使います。
4) 減速する前にブレーキライトを点滅させます。
5) 必要に応じてハザードランプを使います。
6) クラクションを鳴らして他のドライバーに自らの存在を知らせます。
7) 死角の中で運転するのは避けます。
8) 明るい色および蛍光衣類を着用します。
15. 間違いである
ポンピング・ブレーキではなく、ブレーキ・ペダルを踏み続けるべきです。車両には、車輪のロックを防ぐABSが搭載されています。
16. 正しい
17. 間違いである
18. 間違いである
同乗者は必ず取っ手につかまるべきです。
19. 間違いである
乗用車およびトラックでは、車の構造が身を守ります。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。3輪トライクの運転は、乗用車の運転よりもはるかに危険であると考えべきです。負傷するリスクはバイクの場合と同じです。
20. 正しい

車両の安全情報

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は必ずこの情報をよく読み理解した上で乗ってください。

注記：

このガイドおよび車体Nにいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

重要な走行前安全メッセージ

車両の発進準備が整うと、重要な安全メッセージがタッチスクリーン画面に表示されます。

メッセージをよく読んで理解してください。

全体のメッセージを見るには、指で画面をスクロールしてください。

右上隅のXを押すとメッセージが閉じられますが、法令に関するメッセージに戻ります。

⚠ 警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。

この製品の特殊性について理解してください。オペレーターズガイドを読み、QRコードリンクからまたはCan-Am On-Roadのウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース(利用可能な場合)を修了し、練習を行い、制御方法に熟練して、適切な免許を取得してください。

- 車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム(VSS)は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。
- 氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりと流水を避けてください。
- このタイプの車両は、水上でハイドロプレーニングを起こし、道路を覆った砂利、泥、砂でスリップする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

常にヘルメットとライディングギアを着用してください。

- 自動車とは異なり、このタイプの車両では運転者が道路からのより多くの危険に曝されます。
- 高い運転技術を備えたライダーであっても、他の車両に衝突されて制御不能になる場合もあります。
- この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

乗客に適切な指導を行ってください：

- 常に取っ手を握り、ペグから足を離さないでください。
- 道路を注意して見てください。カーブを曲がるときに体を傾けてください。道路の隆起部では身を引き締めてください。

常に以下のことを心がけてください：

- フットペダルを使ってブレーキをかけてください。
- 曲がる方向にハンドルを切ってください(逆ハンドルを切らないでください)。
- 車線内にすべての車輪を維持し、必ず1つの車線内を走行してください。2車線をまたいで走行しないでください。
- 日常点検を行ってください。

スロットルハンドルを前方(ドライバーから遠くなる方)にひねり、スタートボタンを有効にします。

セーフティハングタグ

⚠ 警告

この Can-Am On-Road は特殊なタイプの車両です。
特別なスキルと知識が必要になります。
この製品の特長について理解してください。

オペレーターズガイドを読み、QR コードリンク
からまたは Can-Am On-Road のウェブサイトにて
安全講習ビデオをご覧ください。
トレーニングコース（用意されている場合）
を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、
該当の免許を取得してください。
乗車する前に安全カードを参照してください。



必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。
このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路
上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両
に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車
両は、衝突事故において運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム (VSS)
は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することができません。
さまざまな路面状態での車両の限界について理解してください。
氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりや水が
流れている場所での運転は避けてください。このタイプの車両で
は、水上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、泥、砂
で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路
面を走行しなければならない場合、速度を落とす必要があります。

このハングタグは、車両の所有者
によってのみ取り外すことができます。

704907713



⚠ WARNING

This Can-Am On-Road is a different type of vehicle -
it requires special skills and knowledge.
Learn how this product is different.

Read the operator's guide and watch the safety
video using the QR code link or visit Can-Am
On-Road web site.

Complete a training course (if available),
practice, become proficient with the controls,
and get a proper licence.

Refer to the Safety Card before riding.



Always wear a helmet and riding gear.

With this type of vehicle, riders are exposed to more road risks
than in a car. Even skilled operators can be struck by other
vehicles or lose control. This vehicle will not protect you in a
crash.

Handling limits and road conditions

The Vehicle Stability System (VSS) cannot stop you from losing
control, flipping over, or falling off if you exceed this vehicle's
limits. Know the limits for different road conditions. Do not ride on
ice, snow, or off road. Avoid puddles and running water. This type
of vehicle can hydroplane on water and slip on gravel, dirt and
sand covered roads. If you must go through these road conditions,
slow down.

This hangtag may only be removed by the customer.

安全ラベル

これらのラベルは、オペレーター、同乗者またはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

以下のラベルは車両に付いており、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

タイヤ圧力と最大荷重

運転席の下に配置

北米モデル



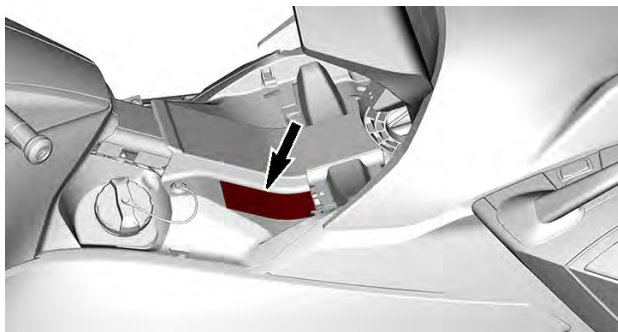
タイヤと積載量の情報 / TIRE AND LOADING INFORMATION

乗車定員 / SEATING CAPACITY	合計 TOTAL	2	フロント FRONT	1	リア REAR	1
----------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

乗員と荷物を足し合わせた重量が 252 kg を超えないようにしてください
The combined weight of occupants and cargo should never exceed 252 kg

タイヤ / TIRE	サイズ / SIZE	冷間時のタイヤ空気圧 / COLD TIRE PRESSURE	リムサイズ / RIM SIZE	
フロント / FRONT	K165/55R15 69H	138 kPa	15 x 5 インチ	
リア / REAR	K225/50R15 84H	193 kPa	15 x 7 インチ	
スペア / SPARE	なし / NONE	なし / NONE	なし / NONE	

RT CU 10622_JA



運転席の下に配置

オーストラリアモデル



タイヤと積載量の情報 /
TIRE AND LOADING INFORMATION

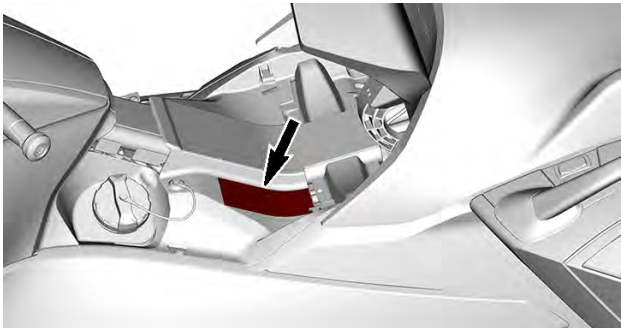
乗車定員 / SEATING CAPACITY	合計 TOTAL	2	フロント FRONT	1	リア REAR	1
----------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

乗員と荷物を足し合わせた重量が195 kgを超えないようにしてください
The combined weight of occupants and cargo should never exceed 195 kg

タイヤ / TIRE	サイズ / SIZE	冷間時のタイヤ空気圧 / COLD TIRE PRESSURE	リムサイズ / RIM SIZE
フロント / FRONT	165/55R15 M/C 69H	138 kPa	15 x 5 インチ
リア / REAR	225/50R15 M/C 84H	193 kPa	15 x 7 インチ
スペア / SPARE	なし / NONE	なし / NONE	なし / NONE



RT AUS 11387_JA



運転席の下に配置

その他の全モデル



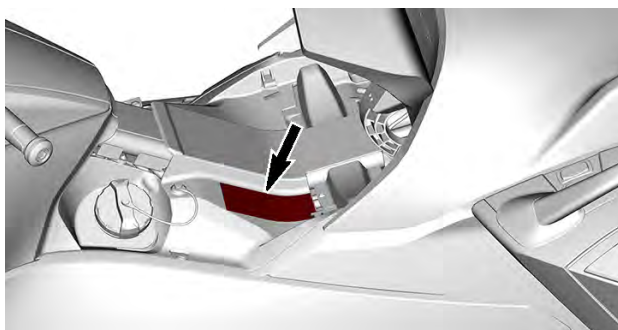
タイヤと積載量の情報 / TIRE AND LOADING INFORMATION

乗車定員 / SEATING CAPACITY	合計 TOTAL	2	フロント FRONT	1	リア REAR	1
----------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

乗員と荷物を足し合わせた重量が 252 kg を超えないようにしてください
The combined weight of occupants and cargo should never exceed 252 kg

タイヤ / TIRE	サイズ / SIZE	冷間時のタイヤ空気圧 / COLD TIRE PRESSURE	リムサイズ / RIM SIZE	
フロント / FRONT	165/55R15 M/C 69H	138 kPa	15 x 5 インチ	
リア / REAR	225/50R15 M/C 84H	193 kPa	15 x 7 インチ	
スペア / SPARE	なし / NONE	なし / NONE	なし / NONE	

RT INT 10623_JA



エンジンオイルレベルの点検

運転席の下に配置

⚠ 注意

エンジンルーム内のエンジンオイル、および一部の部品が高温になっている場合があります。直接触れると皮膚に火傷を負う可能性があります。

エンジンオイルレベルのチェック:

- エンジンが動作温度であることを確認します。
- 手順については、オペレーターズガイドを参照してください。
- 15 km (9マイル) 以上走行します。
- 車両は水平面上になければなりません。
- 10分間ほどアイドリングさせます。
- エンジンを止めます。
- エンジン停止後 2 分以内に測定してください。
- オイルレベルを確認する前に、オイルゲージを完全にぬい込んでください。
- XPS 4ストローク5W40合成オイルまたは同等のモーターサイクル用オイルを使用してください。

11034_JA



ブレーキオイル - 清掃と充填

RHフロントサービスカバーの裏に配置



警告

取り外す前に、フィルターキャップを清掃してください。 8282_JA
密閉容器に入っているDOT 4ブレーキ液のみを使用してください。



リアサスペンション圧力

運転席の下に配置

**警告**

最低圧力 70 kPa / 0.7 bar

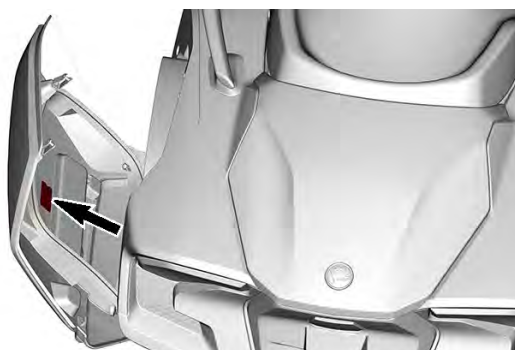
推奨圧力を 70 kPa / 0.70 bar 以上超えないようにしてください。

積載量		(同乗者 + 貨物) Kg					704905155
		0	45	70	90	115	
乗客重量	Kg	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	
	70	310/3.10	380/3.80	450/4.50	480/4.80	515/5.15	
	90	345/3.45	415/4.15	480/4.80	515/5.15	550/5.50	
	115	380/3.80	450/4.50	515/5.15	550/5.50	585/5.85	



サイドストレージコンパートメントの積載量

サイドストレージコンパートメントカバーの裏側内部に配置



左側

フロントストレージコンパートメントの積載量

フロントストレージコンパートメント内に配置



積載重量制限を超えないでください

16 kg

積載重量制限

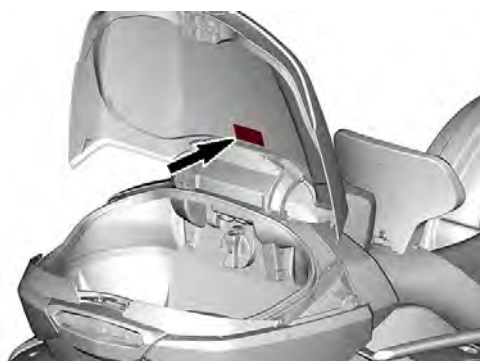
5121A_JA



上部ストレージコンパートメントの積載量

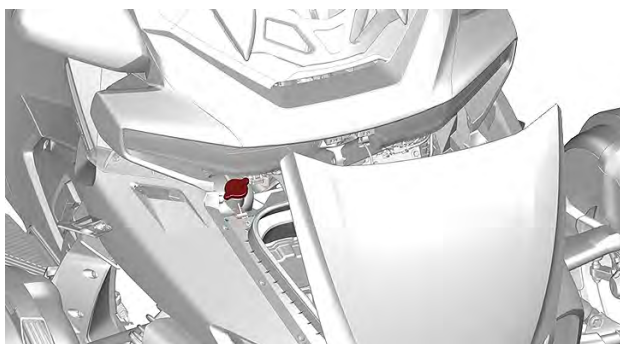
トップストレージコンパートメントカバーの裏側内部に配置

<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: orange; padding: 5px; text-align: center;">  警告 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-size: small;">55964_J/A</div> </div>	
積載重量制限を超えないでください：	
トップラックなし 最大ケース積載量	9 kg
トップラックあり 最大ケース + トップラック積載量	6.8 kg



クーラント高温 - 開けないでください

フロントサービスカバーの下に配置



車両クリーニング

フロントサービスコンパートメントカバーの裏側内部に配置

通知

- マット仕上げ塗料が外観を維持するためには特別な注意が必要です。オペレーターズガイドを参照してください。
- PVDクロムホイールは水と中性洗剤で洗ってください。PVDクロムホイールは、磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロムクリーナーを使用しないでください。
- フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。オペレーターズガイドを参照してください。

9978_J/A

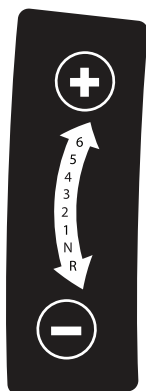
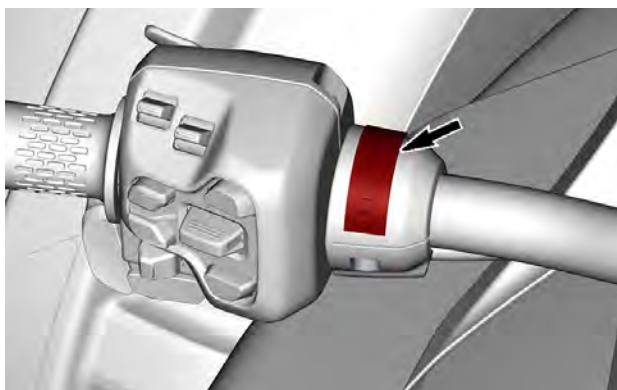
特許情報：

www.brp.com/en/about-brp/patents.html



シフトパターン (日本向けモデル)

このラベルは、ディーラーによって左多機能スイッチの右側に取り付けられます。



安全面での欠陥の報告

あなたの安全はBombardier Recreational Products Inc. (BRP)にとって非常に重要です。質問がありましたら、即時にBRPの顧客サービスまでお問い合わせください。

衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、Bombardier Recreational Products Inc.に加え下記の機関にご連絡ください。

- 米国の場合：米国運輸省道路交通安全局 (NHTSA)
- カナダの場合：カナダ運輸省
- その他の国：関係機関

これらのいずれかの機関が、ドライバーから同様の苦情を受理した場合、調査を開始する場合があります、特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と是正キャンペーンを実施する場合があります。

ただし、これらの機関はお客様と、お客様のディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

NHTSAの連絡先:



888-327-4236



888-275-9171 (TTY)



米国運輸省道路交通安全局
1200 New Jersey Avenue, SE
Washington, DC 20590



[HTTPS://WWW.NHTSA.GOV/](https://www.nhtsa.gov/)

カナダ運輸省窓口：



819-420-4300 (ガティノー-オタワ地域または国際電話)
無料電話：1 800-333-0510 (カナダ)



Transport Canada
330 Sparks Street
Ottawa, ON
K1A 0N5



[HTTPS://TC.CANADA.CA/](https://tc.canada.ca/)

空白ページ

走行前の点検

走行前のチェックリスト

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については、認定Can-Am On-Roadディーラーに相談してください。可能な限り、認定Can-Am On-Roadディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお勧めします。ディーラー定期的に保守を受けていただければ、安全に関するサービスキャンペーンなどをいち早くお伝えすることができます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早く認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせいただくようお勧めします。

⚠ 警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために乗車前の点検を実施します。
乗車前の点検により、問題になる前に磨耗や劣化を監視できます。
発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減します。
本オペレーターズガイドに記載されている手順で問題が解決できない場合は、必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラーに車両の点検を依頼してください。

車両始動前の点検内容

項目	手順	
タイヤ	損傷がないか点検。空気圧およびトレッドの磨耗を点検します。 メンテナンスの手順を参照してください。	
車輪およびラグナット	損傷がないか点検。手動で各前輪のラグナットをひねって緩くないか確認します。後輪車軸ナットが適切な場所にあるか確認します。	
駆動ベルト	ほつれ、カット、穴、歯の欠落を探します。 ベルトアライメントを目視確認します。 詳細はメンテナンスの手順を参照してください。	
漏れ:	車両の下に漏れがないか確認。	
ストレージコンパートメントカバーおよびグローブボックス	これらのコンポーネントのすべての掛け金を引っ張り、しっかりかかっているか確認します。	
ACSリアサスペンション(ベースモデル)	空気圧を確認します。 基本手順を参照してください。	
シート	(前後に引いたり)後ろに引き上げる動作を数回行い、シートが所定位置に正しく固定されたことを確認します。取り付け中に独特のスナップ音が聞こえても、適切に取り付けられていることを確認するために、必ずそれを後ろに引き上げてください。	

項目	手順	
ミラー	ミラーを掃除および調整します。 機器のサブセクションのミラーをご参照ください)。	
ブレーキペダル	押してしっかり抵抗力があるか確認します。リリースするとペダルが完全に戻らなければなりません。	
スロットルハンドル	数回ひねります。自由に動き、リリース後にアイドルリング・ポジションに戻ることを確認。	
ギアシフト・セクター	ギアシフトセクターが両方向に対して正常に操作でき、リリース後に中央に戻るか確認します。	
重量	車両総重量 (ドライバー、同乗者、荷物および付属のアクセサリーを含む) がタイヤ圧と最大荷重のセクションに示されている推奨荷重を超えていないことを確認します。	
トレーラー	トレーラーを牽引する場合は下記を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - 荷物が適切に積まれて固定されている - カバーが固定されている - トレーラーおよび安全ケーブルが車両のヒッチに正しくかかっている - すべてのトレーラーライトが機能し、リフレクターが汚れていない - タイヤの状態が良好で適切に膨らまされている 	
ラジエーターファングリル	グリルに蓄積された破片を取り除きます。高圧洗浄器はラジエーター・フィンを損傷してしまいかねないため、使用しないでください。圧縮空気のみで掃除します。	

イグニッション・キーをONのポジションに入れます:

項目	手順	
多機能表示	ゲージ、インジケーター、メッセージおよび燃料レベルを確認します。	
ライト	ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、ウインカーおよびハザード警告ライトの操作を確認します。	
Horn (ホーン)	作動を点検。	
ステアリング	エンジンをスタートし、ステアリングが自由に動くか確認します。	

項目	手順	
エンジンストップスイッチ	エンジン・ストップ・スイッチが正常であるか確認します。	
パーキングブレーキ	エンジンをスタートし、パーキングブレーキをリリースし、多機能ゲージでブレーキ・インジケータ・ランプがオフになっていることを確認します。	
ブレーキ	ゆっくり近距離を運転し、ブレーキをかけてテストします。	

メンテナンス

定期メンテナンス

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。

車両は、メンテナンススケジュールに基づいて整備してください。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、始業点検は必要です。

⚠ 警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am On-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am On-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am On-Roadディーラーに制限しています。詳細は、保証書に記載されている米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国EPAはエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

過酷な粉塵または湿潤条件 - エアフィルターのメンテナンスガイドライン

エンジンエアフィルターは走行条件に応じて整備します。

乾燥した砂地、ダート、砂利道など、粉塵や粒子の飛散が多い条件では、エアフィルターのメンテナンスの回数を増やす必要があります。また、雨天時や交通量の多い場所で頻繁に走行すると、エアフィルターに捕捉される空気中の粒子も増加します。

これらの環境でグループ走行を行う場合は、フィルターをより頻繁に整備する必要があります。

随時行う点検

最初の5,000 km (3,000 mi) 走行後に、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士による車両の点検を受けるよう推奨しま

す。このメンテナンスは非常に重要であり、怠ってはなりません。

注記：
この点検は車両オーナーの費用負担で行われるものです。

点検日

認定Can-Am
On-Roadディー
ラー、修理店、
または担当整備
士の署名

初期点検を行った認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に署名してもらうことを推奨します。

認定Can-Am
On-Roadディー
ラー、修理店、
または担当整備
士の名前

メンテナンスのスケジュール

推奨するメンテナンスの間隔は次の表に示す通りです。これに従い、適切なメンテナンスを実施してください。

メンテナンス表の間隔は、次の3つの要因に基づいています。

- 暦時間
- 車両時間：
- オドメーターの表示値

これらの中で早く到達するものを考慮して、メンテナンス時期を決定してください。

従うべき基準は、運転習慣によって異なります。例：

- 車両を毎日使用したり、週末に頻繁にロングドライブを楽しんでいる人は、オドメーターの表示値に従ってメンテナンスの頻度を決定するようになります。
- 年間で車両をほぼ使用しない、または数回しか使用しない人（長期休暇のときに使用したり、数週間おきに短時間走行したりする人）は、暦時間に従ってメンテナンスの頻度を決定するようになります。

最初の5 000 km (3,000 mi) 走行後

ボディおよびフレーム	<ul style="list-style-type: none"> - ボディパネルとハードウェアを点検し、締め付けます。 - 同乗者用ハンドルを点検します。 - ピボット、ラッチ、ヒンジおよびキーバレルを潤滑します。 - フットレストの固定部を規定トルクで締め付けます。
ブレーキコンポーネントおよび機能*	<ul style="list-style-type: none"> - ブレーキフルードレベルを確認します。 - ブレーキコンポーネントと機能を点検します。

最初の5 000 km (3,000 mi) 走行後

冷却用部品*	<ul style="list-style-type: none"> - エンジン冷却コンポーネント (クーラント濃度、クーラントレベル、ホース状態、クランプ、漏れ) を点検し、調整します。
ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> - ドライブベルトの状態を点検し張力を調整します (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)。 - 後輪車軸ナット (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います) を規定トルクで締め付けます。 - ドライブコンポーネントおよび機能を点検します。 - ホイールラグナットを規定トルクで締め付けます。
電気式	<ul style="list-style-type: none"> - コントロールのスイッチの動作および照明を点検します。
排気ガス	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。

*実施するメンテナンス作業のリストについては、最寄りのディーラーのサービス部門にお問い合わせください。

毎年または15 000 km (9,300 mi)

エア供給コンポーネント*	<ul style="list-style-type: none"> - エアフィルターを交換します。 - エアボックス、スロットルボディ、ダクト、クランプを点検および清掃します。
ボディおよびフレーム	<ul style="list-style-type: none"> - ボディパネルとハードウェアを点検し、締め付けます。 - ピボット、ラッチ、ヒンジおよびキーバレルを潤滑します。
ブレーキコンポーネントおよび機能*	<ul style="list-style-type: none"> - フルードレベル、ブレーキパッド、ブレーキディスク、キャリパー、ブレーキライン、マスターシリンダーを点検します。 - コンポーネントを清掃および潤滑します。
コントロール	<ul style="list-style-type: none"> - スロットルの動作を点検します。
冷却用部品*	<ul style="list-style-type: none"> - エンジン冷却コンポーネント (クーラント濃度、クーラントレベル、ホース

毎年または15 000 km (9,300 mi)

	<p>状態、クランプ、漏れ) を点検し、調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ラジエーターフィンを清掃および点検します。
ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> - ドライブベルトのアライメントを点検および調整します (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)。 - ドライブベルトの状態を点検し張力を調整します (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います)。 - ドライブコンポーネントおよび機能を点検します。 - ホイールラグナットを規定トルクで締め付けます。 - 後輪車軸ナット (認定Can-Am On-Roadディーラーが行います) を規定トルクで締め付けます。 - タイヤの磨耗を点検します。 - タイヤ空気圧を調整します。
電気式	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーの接続および状態を点検します。 - コントロールのスイッチの動作および照明を点検します。 - B.U.D.S. を使って接続し、故障コードがないかスキャンします。 - 利用可能な更新を確認します。
排気ガス	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換する - エンジンシールおよびガスケットを点検します。
排気コンポーネント*	<ul style="list-style-type: none"> - 排気クランピングリングを点検し、締め付けます。 - 排気コンポーネント (ガスケット、パイプ、マフラー状態、漏れ) を点検します。
燃料コンポーネントおよび機能*	<ul style="list-style-type: none"> - 燃料コンポーネントおよび機能 (燃料ホース、クランプ、燃料気化線、キャニスター、漏れ) を点検します。
ステアリングコンポーネントおよび機能*	<ul style="list-style-type: none"> - ステアリングコンポーネントおよび機能を点検します。

毎年または15 000 km (9,300 mi)

サスペンションコンポーネント*	- サスペンションコンポーネントと機能を点検します。
*実施するメンテナンス作業のリストについては、最寄りのディーラーのサービス部門にお問い合わせください。	

追加メンテナンスの間隔

45 000 km (28,000 mi)	排気ガス	- 油圧制御モジュール (HCM) のオイルフィルターを交換します。 - スパークプラグを交換してください。
	排出	- キャニスターベントプレフィルター (CARB およびEVAPモデル) を交換します。
5年ごとまたは45 000 km (28,000 mi) 走行ごと	クーラント	- クーラントを交換します。
	燃料供給	- インライン燃料フィルターを交換します。
2年ごと	ブレーキ液	- ブレーキ液を交換します。

メンテナンス記録

必要に応じて、メンテナンス記録のコピーをBRPにお送りください。

納入前	
シリアル番号 : _____	署名 (活字体) :
走行距離 (km) : _____	
時間 : _____	
日付: _____	
ディーラー番号 : _____	
注意 : _____	

取り付け手順詳細については、車両のブリデリバリーブリテンを参照してください。	

最初の点検	
走行距離 (km) : _____	署名 (活字体) :
時間 : _____	
日付: _____	
ディーラー番号 : _____	
注意 : _____	

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付:

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

メンテナンス手順には複雑なものもあるため、優れた機械技術が必要になります。

いくつかの手順は、認定 Can-Am On-Road ディーラー、修理店または担当整備士が実施しなければなりません。

機械技術に自信がない場合は、認定 Can-Am On-Road ディーラー、修理店または担当整備士に遠慮なくご相談ください。

⚠ 警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼働部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

エンジンオイル

推奨エンジンオイル

Rotax®エンジンは、XPS®オイルを使用して開発と検証が行われました。

BRPでは、XPSエンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。

エンジンに適さないオイルの使用が原因で生じた損傷には、BRPの限定的保証が適用されない場合があります。

XPS推奨エンジンオイル

5W40合成オイル

推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合：

- 潤滑油に関する以下の仕様を満たすがこれを超える4ストローク SAEエンジン用合成オイルを使用します。

- オイルの容器に貼付されている API サービスラベルの分類を必ず確認し、表示されている規格が含まれていることを必ず確認してください。
- API サービス分類 SN、または
- JASO MA2

エンジンオイルレベルの確認

注意

オイルレベルが不適切なまま使用を続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。この手順に従って、エンジンオイルレベルを正確に読み取ってください。

エンジンオイルのレベルを検証するには、エンジンは通常の運転温度でなければなりません。

注意

冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

- 15 km (9 mi) 以上運転します。
- 車両を平面上に駐車して、パーキングブレーキをかけます。
- エンジンを10分ほどアイドリングさせます。

⚠ 警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注意

冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

4. エンジンを止めます。

注記：

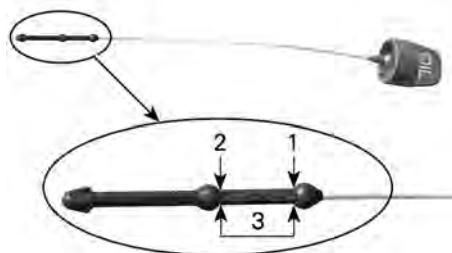
エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

- シートを開きます。装備のセクションのシートの開け方を参照してください。
- オイルレベルゲージを取り外して引き抜きます。



- オイルレベルゲージ
- オイル・フィラー・チューブ

- レベルゲージを拭き取ります。
- オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。
- オイルレベルゲージを再度緩めて取り外します。
- オイルレベルゲージでエンジンオイルレベルを確認します。オイルレベルが、上側のマークまたはその付近まで達していなければなりません。



- 最大
- 最小
- 動作範囲、500 ml (17 fl oz(US))

下部マーク (MIN) と上部マーク (MAX) の間のオイルレベル：

- オイルを追加しない。
- オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
- シートを閉じます。

MIN マークより下のオイルレベルの調整：

- 推奨オイルを約500 ml (17 fl oz (US)) 追加します。

注記：

オイルレベルがMINマークとMAXマークの間のときのオイル量は500 ml (17 fl oz (US)) です。

- エンジンを再始動し、10分ほどアイドルさせます。

⚠ 警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充滿する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注意

冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

- エンジンを停止させてください。
- オイルのレベルを再点検します。

注記：

エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

- 上記ステップを繰り返して、オイルレベルがデッドステックの下部マークと上部マークの間にするようにします。燃料を入れすぎてはいけません。

6. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
7. シートを閉じます。

エンジンオイルとフィルターの交換

1. エンジン交換の前に、車両が平面上にあることを確認します。

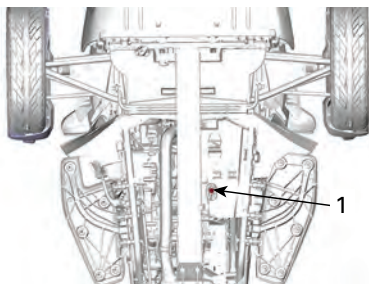
注意

エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは同時に取り換えなければなりません。オイル交換はエンジンが温まっている状態で行う必要があります。

⚠ 注意

エンジンオイルはとても熱くなります。

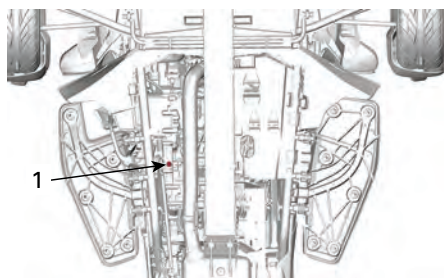
2. オイルサンプカバー下のドレンプラグの周辺を清掃します。
3. オイルサンプカバー下に適切なドレインパンを配置します。
4. ドレンプラグを取り外し、シーリングワッシャとO-リングを処分します。



代表的な例

1. エンジンオイルドレインプラグ
5. レベルゲージを取り外してください。
6. オイルが完全に排出されるまで待ちます。
7. クラッチカバーの磁気ドレンプラグの周辺を清掃します。
8. クラッチカバー下に適切なドレインパンを配置します。

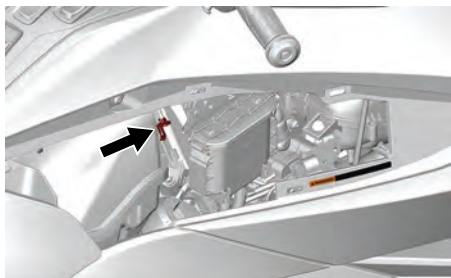
9. 磁気オイルドレンプラグを取り外し、シーリングリングを処分します。



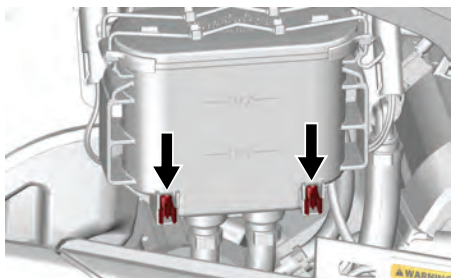
代表的な例

1. クラッチカバー磁気ドレンプラグ

10. 左サービスカバーを取り外します。装備のセクションのサービスカバーを参照してください。
11. ブレーキレベルスイッチコネクターを外します。



12. 両方のブレーキレベルスイッチをリザーバー下部から外します。



13. スプリングピンを移動して、リザーバーをサポートから取り外します。



14. リザーバーを後方に移動し、これをバンジーコードでハンドルバーに固定します。

注意

ホースでリザーバーを吊り下げないでください。

15. オイルフィルターカバーを取り外し、そのO-リングを廃棄します。
16. オイルフィルターを取り外し、廃棄します。



1. オイルフィルターのカバー
2. Oリング
3. オイルフィルター

17. クラッチカバーからオイルが完全にドレインされるまで待ちます。
18. オイルフィルターキャビティに汚れや汚染物がないか点検し、清掃します。
19. ドレインプラグのマグネットを清掃します。
20. 新しいシーリングワッシャおよびO-リングを使い、両方のドレインプラグを取り付けます。

注意

ドレインプラグのシーリングワッシャおよびO-リングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換します。

21. 仕様通りにドレインプラグを締め付ける。

締め付けトルク

ドレインプラグ (オイルサン プカバー)	$28 \pm 2 \text{ Nm}$ (21 ± 1 lbf-ft)
磁石付きドレ インプラグ (ク ラッチカバー)	$20 \pm 1 \text{ Nm}$ (15 ± 1 lbf-ft)

22. 新しいエンジンオイルフィルターを挿入します。
23. 新品の O-リングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
24. オイルフィルターカバーを取り付け、規定通りに締め付けます。

締め付けトルク

オイルフィル ターのカバー	$25 \pm 3 \text{ Nm}$ (18 ± 2 lbf-ft)
------------------	--

25. 以下の量の推奨されるオイルをオイルタンクに入れます。

作業内容	量
エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換	4.7 L (5 qt (liq.,US))
エンジンオイル、エンジンオイルフィルター、HCMサーフェスフィルター交換	4.9 L (5.2 qt (liq.,US))

26. ブレーキ液リザーバーを配置します。

1. 両方のブレーキレベルスイッチを取り付けます。
2. リザーバー後部に固定ピンを取り付けます。
3. ブレーキスイッチコネクターを接続します。

27. オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。

28. エンジンオイルのレベルを点検します。このセクションのエンジンオイルレベルの確認を参照してください。

注意

エンジン始動から5秒以内に油圧警告灯が消えることを確認。油圧警告灯が5秒以上にわたって点灯する場合、エンジンを停止してオイルレベルを再点検します。

29. エンジンオイルフィルターカバー、磁石付きドレンプラグ（クラッチカバー）およびドレンプラグ（オイルサンプカバー）が漏れていないか確認します。

30. エンジンを止めます。

31. 左サービスカバーを取り付けます。

32. 現地の環境規制の基づいて使用済みオイルを処分してください。

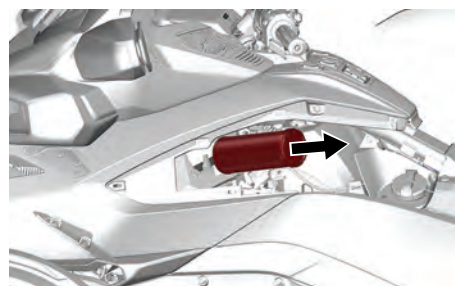
エアフィルター

エアフィルターの取り外し

1. 右サービスカバーを取り外します。装備のセクションのサービスカバーを参照してください。



2. エアフィルターカバーおよびフィルターを取り外します。



エアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

注意

ペーパーフィルターに圧縮エアを吹きつけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

注意

ペーパーフィルターを洗淨液で洗淨しないでください。

注意

エアインタークサイレンサーを点検し、エンジンエアインレット（エアフィルターの奥）のきれいな側に吹き込まれたり落ちたりしないように気をつけながら、埃や異物を取り除きます。

注意

エアインタークサイレンサーのきれいな側の内側に落ちた、または移動した埃や異物を取り除いてください。埃を中に押し入れるのではなく引き出すように、清掃します。

メンテナンススケジュールと個々の使用状況（特に埃っぽい環境など）により、必要な場合はエアフィルターを交換します。

エアフィルターの取り付け

エアフィルターをかける位置に慎重に取り付けます。

注意

エアフィルターは正しい位置に取り付けなければなりません。エアフィルターを挿入する前に、インタークホースのシート/容器が変形していないことを確認してください。

エアフィルターカバーを適切な位置に配置し、すべてのネジで固定します。

締め付けトルク

エアフィルターカバーのネジ	$3 \pm 0.5 \text{ Nm}$ ($27 \pm 4 \text{ lbf-in}$)
---------------	---

右サービスカバーを取り付けます。

エンジン・クーラント**推奨エンジン冷却液****注意**

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドおよびグレードの不凍液を使ってください。冷却システムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、ブランドまたはグレードの異なる不凍液を混ぜないでください。

XPS推奨クーラント

ロングライフプレミッククーラント

推奨のXPS製品が入手できない場合

内燃アルミニウムエンジン専用の低ケイ酸塩タイプのロングライフエチレングリコールプリミックスクーラント（50%-50%）を使用してください。

エンジン冷却液レベルの検証**⚠ 警告**

リザーバーを開ける時は、クーラントが非常に熱く、エンジンが熱いと噴出することがあります。火傷を防ぐには、エンジンの温度が低い時にクーラントのレベルを確認します。

エンジンが冷たい状態で、次のようにクーラントのレベルを確認します。

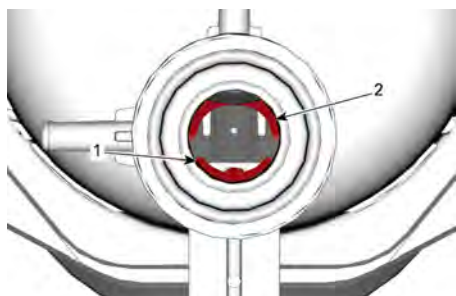
1. 車両をしっかりした平面上に停車します。
2. フロントストレージコンパートメントカバーを開けます。

3. フロントサービスカバーを取り外します。装備のセクションのサービスカバーを参照してください。
4. リザーバー右側のクーラントレベルを確認します。クーラントはCOLDレベルのマーキングより多少上にある必要があります。

注記：

エンジンが熱い場合は、クーラントはHOTレベルのマーキングより下にある必要があります。

5. 必要であれば、リザーバー内のCOLDレベルのマーキングより少し上になるまでクーラントを継ぎ足します。こぼさないように、じょうごを使ってください。燃料を入れすぎはいけません。
6. クーラントがチューブに現れ始めたら、クーラントの継ぎ足しを止めます。



1. COLDクーラントレベルの基準線
2. HOTクーラントレベルの基準線

7. サービスカバーを再度取り付けます。

注記：

頻繁にクーラントの補充が必要な場合は、クーラント・システムが漏れているか、エンジンに問題があることを示しています。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

ラジエーター・ファン

ラジエーターファンの清掃

グリルに蓄積された破片を取り除きます。

注意

高圧洗浄器はラジエーター・フィンを損傷してしまいかねないため、使用しないでください。後方からの圧縮空気（後部から前部に向けて空気を吹き付け）のみで清掃してください。



注記：

エンジンが起動したまま車両が停車されているか低速で動いている時は、ラジエーターファンは空気を車両の前部に押し流します。車両がより早い速度で走行している場合は、ファンは空気を車両の後部に押し流します。

バッテリー

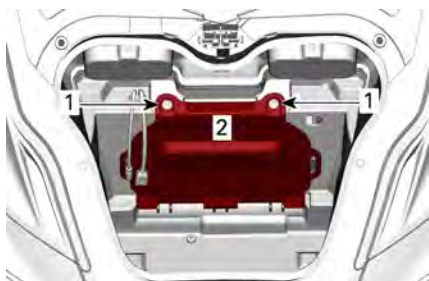
バッテリーの位置

バッテリーはフロントストレージコンパートメント内にあります。

バッテリーにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。

リミテッドモデルでは、インナーライナーのジッパーを開けます。

バッテリーアクセスパネルを取り外します。



1. ねじ
2. バッテリーアクセスパネル

バッテリーの充電

車両には完全に密封されている、メンテナンス・フリーのバッテリーが搭載されています。電解液のレベルを調整するために水を足す必要はありません。車両が一ヶ月以上乗られていない場合は、バッテリーを充電する必要がある可能性があります。

バッテリーを交換する場合は、必ず Can-Am On-Road のディーラーにご相談ください。

⚠ 警告

従来の鉛蓄電池型電池は使用しないでください。従来の鉛蓄電池型電池では、バッテリー出口から酸が漏れ出す可能性があります。バッテリーのケースが割れたり損傷していたりすると、重傷の火傷を起こしかねない酸が漏れ出すことがあります。

バッテリーは車両に取り付けられたまま充電することもできます。

標準のバッテリーチャージャーを使用することもできます。推奨される充電率は2Aです。バッテリーが上がりってしまった場合は、車のバッテリーでジャンプスタートさせることができます（道路脇での修理のセクションを参照してください）。

自宅で充電するときは、「細流」充電器を使ってバッテリーをより遅く充電することも可能です。この種類のチャージャーはバッテリーを損傷

させないで長時間接続させることができます。チャージャーの説明書に推奨されている充電時間に必ず従ってください。

注意

バッテリー・チャージャーに付随された指示に従ってください。不適切な充電はバッテリーを損傷してしまう恐れがあります。

バッテリーを充電するには、以下の手順を踏んでください。

1. フロントストレージコンパートメントを開けます。
2. リミテッドモデルでは、インナーライナーのジッパーを開けます。
3. バッテリーアクセスパネルを取り外します。
4. まず、赤色 (+) ケーブルを該当する端子に接続します。

注意

車両の電気システムの損傷を防ぐために、必ず赤色 (+) ケーブルを最初に接続します。

5. 黒色 (-) ケーブルを該当する端子に接続します。



1. 黒色 (-) 端子
2. 赤色 (+) 端子
6. バッテリー・チャージャーを始動させます。充電時間は充電率によります。推奨充電率は2Aです。
バッテリーが充電されたら：
7. 最初に黒色 (-) ケーブルを外します。

注意

車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず黒色 (-) ケーブルを最初に外します。

8. そして赤色 (+) ケーブルを外します。
9. バッテリーのアクセスパネルおよびフロントストレージコンパートメントを閉じます。

駆動ベルト

毎回乗る前にベルトのアラインメントおよび状態を目視点検してください。

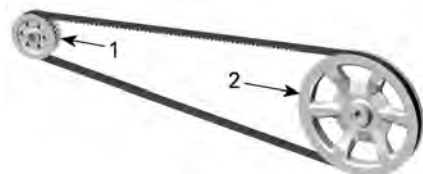
ベルトのアラインメントおよび偏向調整は、必ずメンテナンススケジュールに従って認定 Can-Am On-Road ディーラーにご依頼ください。

駆動ベルトのアラインメント

ベルトがスプロケットの外側をはみ出している場合は、できるだけ早く認定 Can-Am On-Road ディーラーにベルト位置を正しく直してもらってください。

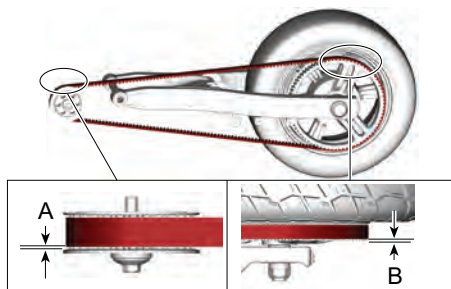
注意

ベルトは、2つあるスプロケットの片方みの、片方のフランジのみにしか接触させてはなりません。



代表的な例

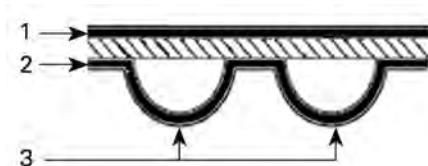
1. フロントスプロケット
2. リアスプロケット



$$A + B = 3.25 \pm 2.75 \text{ mm } (1/8 \pm 7/64 \text{ in})$$

駆動ベルトの磨耗

車両をニュートラルにいい、エンジンOFFの状態、スペースが十分にある平らな表面で駆動ベルトを点検します—ベルトの全長を確認するには車両を前後に転がす必要があります。



駆動ベルトの表面

1. 外面
2. 歯側表面
3. 歯

次の状態がないか点検します。

磨耗状態	必要な対策
<p>良い状態</p>	なし
<p>細長い割れ目</p>	状態を監視する
<p>軽い切れ端</p>	状態を監視する

磨耗状態	必要な対策
	
開かれた割れ目 	ベルトを交換する
フックの磨耗 	ベルトを交換する
歯が欠けている 	ベルトを交換する
ベルトの繊維が擦り切れていて、内部のコンポーネントを露出している 	ベルトを交換する
石からの損傷 	ベルトを交換する

注記：

非常に細かい亀裂があってもすぐにはベルトの交換を必要とするわけではありませんが、継続的に確認することを推奨します。後で亀裂が開いたり、歯の欠損を招いてベルトの交換をしなければならなくなることがあります。ベルト中央の損傷はやがてベルトの交換を必要としますが、割れ目がベルトの端まで行き渡ってしまった場合、ベルト不良は差し迫ります。

駆動ベルトを交換する場合、スプロケットも交換し、新しい駆動ベルトの寿命を延ばします。

駆動ベルトの張力

走行中、ベルトから振動を感じたり音が聞こえたり、またはベルトのスプロケット歯が飛んでいる場合は、認定 Can-Am On-Road ディーラーにできるだけ早くベルトの張力を調整してもらってください。慣らし期間（最初の 1,000 km (600 mi)）は、特に注意してください。

車輪およびタイヤ**⚠ 警告**

推奨されていない種類のタイヤ、損傷したり磨り減っているタイヤ、最低トレッドウエアインジケーターより幅が低いタイヤ、または適切に膨らまされていないタイヤの使用は、コントロールを失う恐れがあります。新しいタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率が発揮されません。ブレーキ、ステアリングおよび VSS の効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。タイヤを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約 300 km (200 mi) の走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

タイヤはこの車両のために特別に設計されています。認定 Can-Am On-Road ディーラーのみで販売されている BRP の推奨ラジアルタイヤだけを使用してください。

リアタイヤを取り外したまたは交換した後は、次の行動を取ります。

- リア・スプロケット・ベアリングを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸受を確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。

- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の耐摩耗性スリーブを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。

後輪を取り外したまたは交換した後は、次の行動を取ります。

- 後輪のナットを交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- ゴムダンパの状態を確認します。損傷または破損している場合は、交換します。
- ドライブベルトの位置を合わせてから、張りを調整します。

タイヤ空気圧

タイヤの最適な性能や摩耗特性を得るために、推奨されている冷間時の膨張圧を用いてください。過小または過剰な膨張は、トレッドの不均一な摩耗パターンを生じさせます。

推奨タイヤ空気圧は、運転席の下にあるタイヤラベルに記載されています。

天候による温度変化が生じると、膨張圧も変化します。6°C (43°F) の気温低下は7 kPa (1 lbf/in²) の膨張圧低下に相当します。タイヤ圧は頻繁に確認し、適切な圧力になるよう調整してください。

警告

左右のタイヤの圧力差が3.4 kPa (0.5 lbf/in²) を超えないようにしてください。

タイヤの損傷

次の損傷がないかすべてのタイヤを点検します。

- タイヤの切り傷、切り込みおよび亀裂。
- タイヤの側面またはトレッドのこぼこまたは膨らみ。

- タイヤの側面またはトレッドに釘やその他の異物が刺さっている。
- 合わないリム、または不良タイヤバルブによる空気漏れ (シーツという音)。

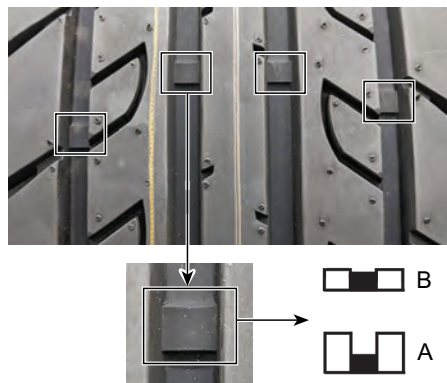
上記のいずれかが発生した場合は、認定 Can-Am On-Road ディーラーによってできるだけ早くタイヤを修理または交換してもらってください。

タイヤのトレッドの磨耗

トレッド摩耗インジケーター (以下の図の1に示されている、トレッドのベースに成形されている硬いゴムバー) を使ってタイヤ溝の最小深さを確認します。タイヤトレッドの次の3つの位置で点検します。

- 外縁
- 中央
- 内側エッジ。

トレッド摩耗インジケーターは最小タイヤ溝深さに達したトレッドに現れます。トレッドにトレッド摩耗インジケーターが最低でも1つ現れている場合、タイヤをできる限り早く認定 Can-Am On-Road ディーラーに交換してもらってください。



代表例 - タイヤのトレッドの磨耗

1. トレッド摩耗制限インジケーター

A. 適切な溝深さ

B. 最小タイヤ溝深さ。タイヤを交換します。

車両の運転の仕方および道路状況によって、タイヤは一樣でない磨耗をしていることは一般的にあります。車両がスムーズまたは積極的に運転されたかによって、前輪の外縁および内縁、そして後輪の中央スレッドは不規則に磨耗します。

タイヤのローテーション

トレッド溝の深さが4 mm (5/32 in) になったら、フロントタイヤのローテーションを行ってください。これはタイヤの寿命を最大限に引き伸ばします。

⚠ 警告

タイヤは一方のみ回るために設計されています。左右の前輪を入れ替えないこと。タイヤをローテーションするにはタイヤを車輪から取り外す必要があります。タイヤが間違った側に取り付けられると、静止摩擦が減り、コントロールを失う危険があります。

⚠ 注意

車輪およびブレーキキャリパーの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスピン中は前輪スポークを手で持たないでください。

タイヤ登録用紙

タイヤがリコールされた場合は、氏名と住所を登録されたお客様にしかご連絡をさしあげることができません。車両メーカーとして、BRPは車両識別番号 (VIN) (車両の識別を参照) に関連するタイヤ識別番号 (TIN)、および現在の所有者の情報の記録を保管しています。

車両のタイヤを交換する場合は、「タイヤ登録用紙」にご記入いただき、タイヤメーカーのお客様サービスグループに提出する必要があります。「タイヤ登録用紙」は認定Can-Am On-Roadディーラーでお求めいただけます。

ブレーキ

⚠ 警告

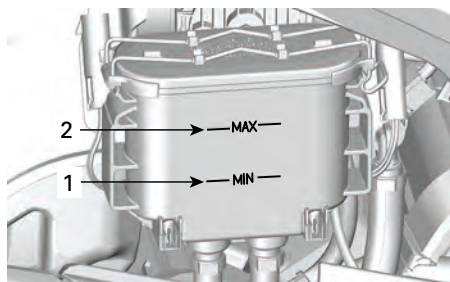
新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約300 km (200 mi) の走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、ブレーキの慣らし時間を多めに見積もってください。

ブレーキオイルレベルの確認

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキ液のみを使用してください。

次のようにブレーキ液のレベルを点検します。

1. 車両をしっかりした平面上に停車します。
2. 右サービスカバーを取り外します。装備のセクションのサービスカバーを参照してください。
3. リザーバーのブレーキオイルレベルを点検します。MIN.のラインを超えていなければなりません。



1. ブレーキ液MAX.レベルのマーク
2. ブレーキ液MIN.レベルのマーク

4. 必要に応じて、液を追加してください。ブレーキ液の継ぎ足しを参照してください。

⚠ 注意

ブレーキ液のレベルが低いことは、漏れやブレーキパッドの磨耗を意味します。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

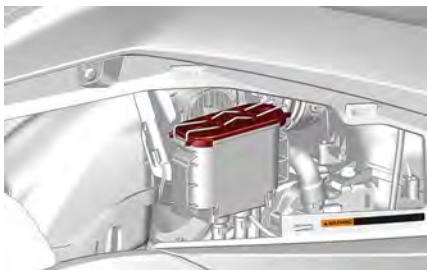
ブレーキ液の継ぎ足し

1. フィラーキャップを清掃します。

⚠ 警告

取り外す前に、フィラーキャップを清掃してください。密閉容器に入っているDOT 4ブレーキ液のみを使用してください。

2. フィラー・キャップを取り外します。



3. 液をMAXレベルまで継ぎ足します。

注記：

ブレーキパッドを取り替えるとブレーキオイルレベルが上昇します。MAXレベルの時に取り替えると、ブレーキオイルがこぼれる恐れがあります。

注意

ブレーキ液は塗面またはプラスチックの部品を損傷させます。こぼれた液は直ちに拭き取ります。

4. フィラーキャップを再び取り付け、ロックします。
5. サービスカバーを再度取り付けます。

ブレーキシステムの確認

前輪および後輪は油圧式ディスクタイプです。これらのブレーキは自己調整し、手動で調整する必要がありません。

ブレーキペダルの調整も必要ありません。

ブレーキの状態を良好に保つには、メンテナンススケジュールにおける次の事項を点検します。

- 液漏れがないかブレーキシステムの全体を点検
- ブレーキペダルのスポンジ感触
- ブレーキ・ディスクの過度の磨耗および表面の状態
- ブレーキパッドの磨耗、損傷または緩み。

ブレーキシステムに問題がないか確認するには、認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。

ヘッドライト

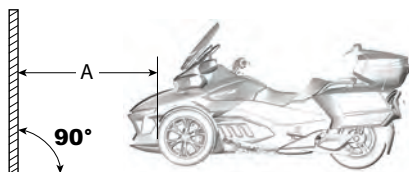
ヘッドライトの光軸の確認

1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。運転席の下にあるタイヤ圧カラベルを参照してください。
2. ベースモデルについては、リアサスペンションの空気圧を適正な荷重条件に設定します（運転席の下にあるリアサスペンション圧カラベルを参照してください）。

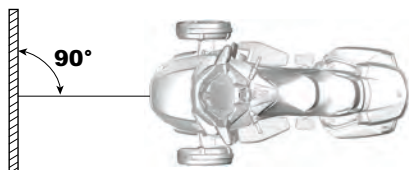
注記：

リミテッドモデルについては、コンプレッサーが自動的に車両を水平にします。

3. 図示のように、試験面の前に車両を位置付けます。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



1. 10 m (33 ft)



以下の通りにテスト面の地面の2本の平行線をたどります:

試験面上の線	
A線	地面から770 mm (30-5/16 in)
B線	地面から718 mm (28-9/32 in)

4. ロービームを選択します。

注意

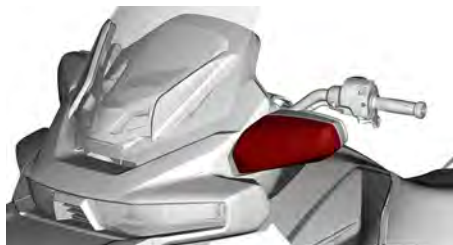
ヘッドライト調整時は、荷重条件が、代表的な走行時の条件になるようにしてください。

5. ヘッドライトの反射の最上線がA線とB線の間にあるとき、ビームの光軸は正しく設定されています。

ヘッドライト 車両照準調整

ヘッドライト調整時は、ローおよびハイビームを同時に調整します。

1. ミラートリムを取り外します。



2. オーストラリアモデルの場合:

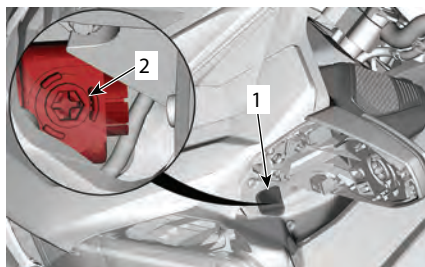
1. フラッシュコネクタを外します。



2. ミラーハウジングの端にあるねじを取り外します。



3. ミラーを若干引いてスペースを設けます。
3. 車載工具にあるプラスドライバーを使って、ヘッドライトアジャスターを回してヘッドライトを垂直方向に調整します。



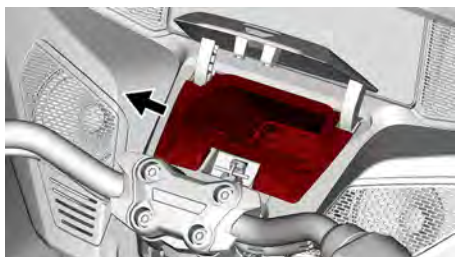
1. アクセス穴
2. ヘッドライトアジャスター

ヘッドライト ビーム調整	
ビームを上げて てください。	アジャスター のねじを時計 方向に回す
下部ビーム	アジャスター のねじを反時 計方向に回す

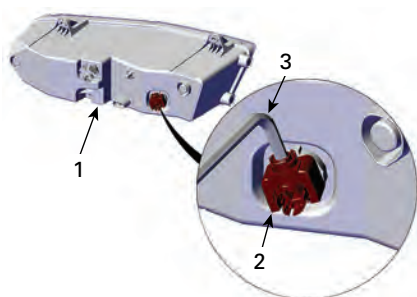
4. ミラートリムを取り付けます。

ヘッドライト水平照準調整

1. グローブボックスを持ち上げて脇へ置き、スペースを設けます。



2. 手を開口部に入れて、ディスプレイの下にあるフォーム部品を押し、コンソール内側にアクセスします。作業を容易にするために、電気ハーネスの位置をずらさなければならない場合があります。
3. 指で、ヘッドライトハウジング上のアジャスターの位置を特定します。
4. 車載工具にある六角レンチの短い側を使って、ヘッドライトアジャスターを回してヘッドライトを水平方向に調整します。



左側ヘッドライトアジャスターを示す

1. 左側ヘッドライトハウジング
2. ヘッドライトアジャスター - 水平調整
3. 6mm六角レンチ
5. 焦点の中心（壁上の最も明るい点）が、車両中心から各側に約160 mm（6.3 in）離れた位置に来るように、ヘッドライトを調整します。

車両のお手入れ

洗車

(洗車場などで使用されている)高圧洗浄機を使用しないでください。車両の一部を損傷する恐れがあります。

注意

フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗浄剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。

注意

マット仕上げ塗装には、ワックス、噴霧スプレー、またはその他の通常塗装に使用される製品を使用しないでください。研磨剤で洗浄しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

車両を清掃するには：

1. 汚れを落とすために水でよく洗車してください。
2. 柔らかいきれいな布と、モーターサイクルや自動車に特別に配合された洗剤などの中性洗剤に水を混ぜた溶液で洗車してください。

注記：

ウィンドシールドやフロントパネルに付着した虫を取り除くには、温かい水が効果的です。

3. 洗車中にグリースやオイルが付着しているか確認します。サービス用品または中性の自動車用脱脂洗剤を使用します。製造社の使用上の注意に必ず従ってください。

XPS Roadster Wash

4. セームや柔らかいタオルで車両から水を拭き取ります。

マット仕上げのある車両

注意

一般的な塗料用に使用されるワックス、ディーツスプレーなどの製品を使用しないでください。研磨剤で洗浄しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

マット仕上げの場合、艶消し塗料にとって安全で刺激のない洗剤と柔らかいウオッシュミットを使って洗いします。虫などの異物を取り除くには、柔らかい塗布器およびマイルドの溶剤を使用します。溶剤をかけたおき、少し経ったら拭き取ります。軽く擦ります。

この塗装仕上げでは、より頻繁な洗車が必要になる場合があります。

車両の保護

プラスチックの部品には非研磨ワックスを適用します。

注意

マット仕上げの表面(マット塗装仕上げを含む)はワックスしたり、研磨しないでください。

表面	推奨事項
艶出し塗装仕上げ	クリアコート塗料にも安全な研磨剤の入っていないワックスのみ塗布します
マット仕上げ	ワックスを適用しないでください。

注意

フロントガラスをプラスチッククリーナー/研磨剤で研磨しない。

 警告

表面がつるつるになり、オペレーターまたは同乗者が車両から落ちるかもしれないので、シートにはプラスチックまたはビニル製のプロテクターは付けないでください。

保管およびシーズン前の準備

収納

冬の時など、車両が最低でも4ヶ月間運転されていない場合は、車両を良い状態に保つには適切に保管する必要があります。

BRPは、車両を保管する前に、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に保管準備を依頼するように推奨しています。または、ご都合の良い時に、次の基本手順を行ってください。

車両の保管準備

1. 車両を点検し、必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。

注記：

米国およびカナダのお客様の場合、保証請求の詳細は、保証書の米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

2. エンジンオイルとフィルターを交換します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。
3. エンジン・クーラント、ブレーキ液およびクラッチ液のレベルを確認します。
4. タンクの錆び、および燃料の悪化を防ぐために、燃料タンクを満タンにし、ガソリン安定化剤を入れ、エンジンをかけて循環させます。燃料安定化剤の容器の指示に厳密に従ってください。
5. すべてのタイヤを推奨される圧力まで空気を入れます。
6. 車両を掃除します。
7. すべてのコントロールケーブル、ならびにすべてのレバーのラッチ、キーバレルおよびピボットポイントを潤滑します。
8. すべてのストレージ・コンパートメントのラッチを閉じます。
9. 車両は直射日光のない、毎日の温度変化があまりない乾いた場所に保管してください。

10. 場所によっては、エンジンエアインテーク入口、およびマフラー開口部をきれいな布で塞ぎ、ねずみやリスなどの小動物が侵入しないようにすると良いでしょう。布を押し込みすぎないようにしてください。リマインダーとして、布を若干外に出しておいてください。
11. 車両に透過性カバーをします（防水シートなど）。プラスチックや同等の浸透性のない、コーティングされた物質は、空気の流れを遮断し、熱と水分が中に蓄積されてしまうため、使用を避けてください。
12. 月に1回は、バッテリーに示されている推奨充電速度で、バッテリーを低速充電してください。バッテリーを取り外す必要はありません。

シーズン前の準備

保管期間後、運転前に車両を整えて点検する必要があります。以下の手順を行います。

1. 車両のカバーを取り外します。
2. エンジンのエアインテーク入口およびマフラー開口部から布を取り外します。
3. 車両を掃除します。
4. 必要であればバッテリーを充電します。
5. 走行前の点検を行い、低速度で車両を試乗します。

空白ページ

道路側での修理

診断の指針

注意

車両を移動させる必要がある場合は、牽引しないでください。牽引により車両は深刻な損傷を受けます。詳細については、このセクションの車両の移送をご参照ください。

シフトがニュートラルに入らない

車両の走行中にギアボックスがニュートラルに入らない場合：

1. エンジン速度は自動的に約1300RPMまで上昇し、またアイドリング速度に戻ります。
2. 最高で3回試行されます。
3. それでも駄目な場合は、シフトアップまたはシフトダウンをまた押してみます。

シフトが動かない

お近くのCan-Am On-Roadのディーラーまで車両を移送してください。

エンジンが始動しない

1. エンジンがまったく回らない

多機能ゲージにスクロールされている安全性メッセージが認められていない。

- スロットルを奥の方へひねり（手首を上げて）安全メッセージを確認します。

エンジンストップスイッチがOFFの位置にある。

- エンジン・ストップ・スイッチがONの位置にあることを確認してください。

イグニッションスイッチがOFFの位置にある。

- イグニッションキーをONの位置に回します。

バッテリーが上がっているか、バッテリーの接触不良。

- 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください（メンテナンス手順を参照してください）。

- バッテリーの接触を確認します。

ヒューズが切れている。

- ヒューズの状態を確認します（ヒューズの交換方法を参照してください）。

トランスミッションがギアに入っている。

- トランスミッションがギアに入っている場合は、ブレーキペダルを踏みます。

キーが読み取れません。イモビライザーシステムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。以下の状況により、イモビライザーシステムがキーを読み取れなくなることがあります。

- コンピューターチップの損傷
- キーの近くに大きな金属の物体がある
- キーの近くに電子機器がある
- メインキーの近くに二つ目の電子コードキーがある
- キーの周辺にその他の強い電磁場がある。

- エンジンが始動せず、クラスターにキーエラーのメッセージが表示された場合は、上記のような状況が存在しないことを確認してください。これらの状況が存在しないにも関わらず問題が発生する場合は、Can-Am On-Roadの認定ディーラーにご相談ください。

2. エンジンは回転するが、始動しない

燃料低。

- 燃料タンクに給油します。給油を参照してください。

バッテリーが弱い。

- 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください (メンテナンス手順を参照してください)。
- バッテリーの接触を確認します。

エンジンマネージメントの問題。

- エンジンの始動中にエンジン異常インジケータランプがONにあるか確認します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、保証書に記載された米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

多機能ゲージのメッセージ

車両状態の重要な情報は多機能ゲージに表示されます。エンジンを始動させる時は必ずインジケータランプや特別なメッセージがゲージに現れているか必ず確認します。

BRPはLIMP HOMEの警告が現れた場合は、車両を移送することを推奨します。応急帰還モードの状態 で車両を運転する場合は、極端な操作は避け、運転を再会する前に直ちに最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに搬入し、整備を依頼してください。LIMP HOME状態では、エンジンRPMが制限されるため、車両速度も制限されます。

インジケータランプ (異常)

インジケータ	メッセージ/ 警告	詳細
	エンジン点検の必要あり(CHECK ENGINE)	<ul style="list-style-type: none"> 処置を必要とする現在有効状態の、または過去に有効化された故障。 エンジン制限なし。 できるだけ早く認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	応急帰還モード(LIMP HOME MODE)	<ul style="list-style-type: none"> 深刻な故障であり、すぐに診断する必要があります。 エンジンに制限がかかっているか、エンジンの動作が変化しています。 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	VSS FAULT (VSS異常)	<ul style="list-style-type: none"> 車両安定システムの不具合。
	ブレーキの故障 ブレーキ液レベルの低下	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキ液の漏れがないか確認してください。 ブレーキオイルのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照してください)。
	ブレーキの故障 パーキングブレーキの故障	<ul style="list-style-type: none"> 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	パーキングブレーキがかかっています	<ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキを解除してください。
	エンジンの油圧が上がらない(LOW OIL PRESSURE)	<ul style="list-style-type: none"> エンジンを止めます。 オイル漏れがないか確認します。 オイルレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
	オイルなし	<ul style="list-style-type: none"> エンジンを止めます。 オイル漏れがないか確認します。 オイルレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
	バッテリーの電圧が高い(HIGH BATTERY VOLTAGE)	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの電圧が高い状態を示しています。できるだけ早く認定Can-Am

インジケータランプ (異常)		
インジケータ	メッセージ/警告	詳細
		On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	12Vバッテリー	- システム過負荷 - 安全な場所に駐車してください。
	暖機	- 電力が低下しています。
	エンジンオーバーヒート	- エンジン温度が高すぎます。
	エンジンの温度が高い	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。 - 漏れがないか確認します。 - クラントのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。 - クラントレベルが適正でもオーバーヒートが発生する場合は、正規 Can-Am On-Roadディーラーに相談してください。同じ状態が持続する場合は、エンジンを動作させないでください。
	WRONG KEY (キー間違い)	<ul style="list-style-type: none"> - キーを読むことができない (通信状態が悪い) - 車両に合ったキーを使用するか、または認定 Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	DPS点検	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンのパイロットランプの点灯を確認してください (🔧)。 - DPS (ダイナミックパワーステアリング) が正常に機能していないことを示しています。 - できるだけ早く認定 Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	SUSPENSION FAULT (サスペンション故障)	<ul style="list-style-type: none"> - 空気ばねの圧力を点検してください。 - リアサスペンション位置センサーを点検してください。 - 車両を最寄りの認定 Can-Am On-Roadディーラーに運び、エア制御サスペンションの最小値/最大値の較正を確認します。
	トランスミッション故障	<ul style="list-style-type: none"> - キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。 - 認定 Can-Am On-Roadディーラーに車両を修理してもらってください。

インジケータランプ (異常)

インジケータ	メッセージ/ 警告	詳細
	ノック	<ul style="list-style-type: none"> - エンジン異常爆発 (この状態が生じると、回転数が制限される)。 - 推奨燃料が使用されていることを確認します。 - 燃料品質をチェック、必要に応じて取り換える。 - それでも不具合が解消しない場合は、正規Can-Am On-Roadディーラー、修理工場または整備担当者に相談してください。
	ドラウンモード有効	<ul style="list-style-type: none"> - スロットルを放してドラウンモードを無効にしてください。
	スロットルが開いています	<ul style="list-style-type: none"> - スロットルを放して制限を無効にしてください。
	エンジンが停止します	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンオーバーヒートまたは燃料ポンプ不具合による強制的な停止手順。
	燃料レベルのセンサーが故障	<ul style="list-style-type: none"> - 燃料センダーの抵抗値が規定範囲外です。
	燃料が少なくなっています	<ul style="list-style-type: none"> - 燃料が少ないか、燃料タンクが空になっていませんか。
	タイヤ圧力低	<ul style="list-style-type: none"> - タイヤの圧力に問題があります。

以下の状況に対する解決策

失われたキー

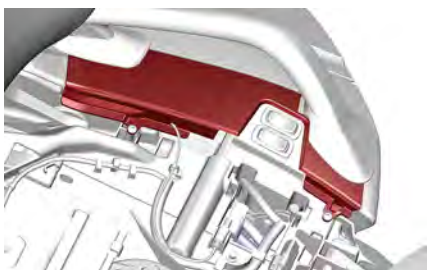
スペアキーを使って認定 Can-Am On-Roadディーラーに合い鍵をもう1つ作ってもらいます。両方のキーを紛失した場合は、イグニッションスイッチ、サドルバッグおよびトップストレージコンパートメントのキーバレル、およびトレーラーのキーバレル（BRP製トレーラーを使用している場合）を、車両所有者の負担で交換する必要があります。

サイド・ストレージ・コンパートメントを開けることができない。

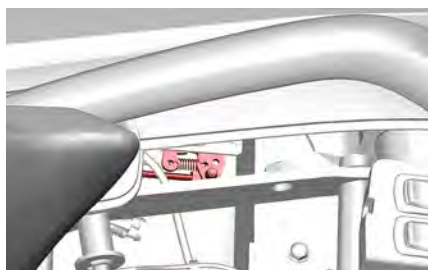
1. 同乗席を取り外します。



2. アクセスパネルから両方の留めネジを外します。



3. アクセスパネルを引き出します。
4. 機構部を移動させてラッチを外します。



タイヤのパンク

タイヤのトレッドに深刻な刺し傷や切り傷があり、完全にパンクしている場合は、車両を最寄りの Can-Am On-Roadディーラーに搬入してください。移送指示については、車両の移送を参照してください。

釘や石によりタイヤが軽いパンクを起こしており、完全にパンクしていない場合は、タイヤは一時的に修理することができます。一時的にタイヤを修理するには、自己膨張型タイヤ・シーラーまたはタイヤ・プラグ修理キットを使用します。タイヤ・シーラーまたは修理キットのメーカーの指示に従い、できるだけ早く Can-Am On-Roadディーラーに修理または交換してもらってください。

タイヤが一時的に修理された後は、低速度で慎重に運転し、交換または完全に修理されるまでタイヤの空気圧を常に確認してください。

上がったバッテリー

バッテリーが上がっていたり、エンジンをかけるには電圧が低い場合

は、ジャンプ・スタートを行います。

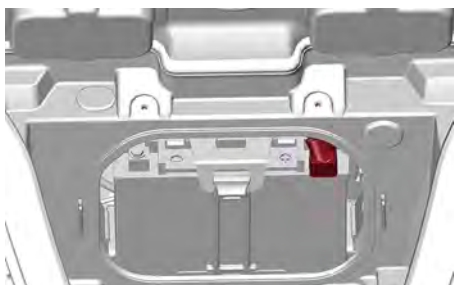
⚠ 警告

ジャンプスタートの手順で指定されているように、ジャンパーケーブルを接続します。ジャンパーケーブルが適切に接続されていないと、発火する恐れのある爆発性ガスがバッテリーから漏れることがあります。

注意

上がったバッテリーを切り離さないでください。

1. 救援車を、バッテリーが上がった車両の前側付近に駐車します。
2. 車両をニュートラル (N) に入れます。
3. フロントストレージコンパートメントカバーを開けます。
4. バッテリーアクセスパネルを取り外します。
5. プラス端子カバーを取り外し、バッテリーポストから腐食物を除去してから、ジャンパーケーブルを接続します。



6. 最初に、赤色ジャンパーケーブルの端を、上がったバッテリーのプラス (+) ポストに接続します。
7. 赤色のジャンパーケーブルのもう一方の端をブースター車両のバッテリーのプラス (+) ポストに接続します。
8. 黒色ジャンパーケーブルの端を、上がったバッテリーのマイナス (-) ポストに接続します。

9. 黒色ジャンパーケーブルのもう一方の端を、ブースター車両のバッテリーのマイナス (-) ポストに接続します。
10. ブースター車両を始動してアイドリングさせます。
11. 通常の方法で車両を始動します。エンジンが始動しない場合は、始動モーターと救援車のバッテリーを保護するために、数分待ってから再試行します。

注記：

それでも始動しない場合は、始動システムに問題がある可能性があります。この車両を認定 Can-Am On-Road デイラーに移送し (車両の移送を参照)、修理を依頼してください。

12. 車両が始動したら、両車両をアイドリングで数分間作動させたままにしてから、ジャンパーケーブルを切り離します。
13. 接続時とは逆の順序でジャンパーケーブルを切り離してください。

注記：

始動直後、またはジャンパーケーブルを取り外した後にエンジンが停止してしまう場合は、充電システムに問題がある可能性があります。この車両を認定 Can-Am On-Road デイラーに移送し (車両の移送を参照)、修理を依頼してください。

14. できるだけ早くバッテリーチャージャーを使用するか、(メンテナンスの手順を参照) または資格のある修理屋によって完全に充電してもらってください。
15. バッテリーを充電した後、車両を認定 Can-Am On-Road デイラーに点検してもらってください。

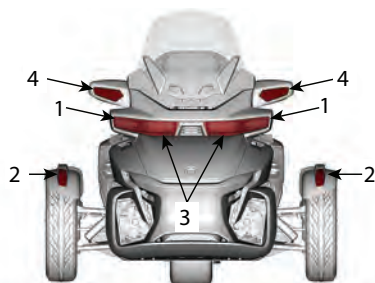
ライトの位置

この車両には、LED（発光ダイオード）が装備されており、この技術は信頼性が高いことが証明されています。バルブが使用されているのは、バックアップライトとリアフラッシャーだけです。

LED技術は信頼性が高いことが証明されていますが、万一作動しない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

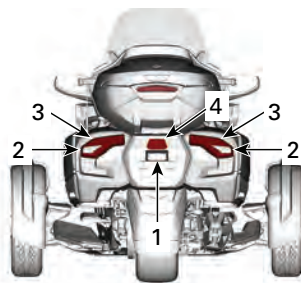
手順が複雑であるため、リアフラッシャーやバックアップライトのバルブを交換する場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

オーストラリアモデル



車両前部

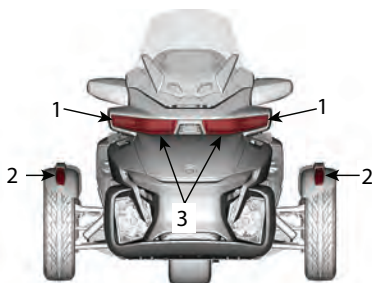
1. ヘッドライトーロービーム
2. ポジションライト
3. ヘッドライトーハイビーム
4. ウィンカー



車両後部

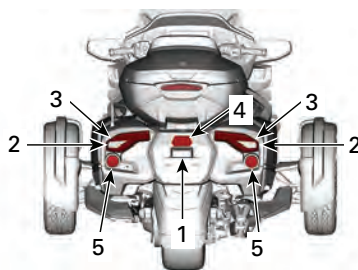
1. ライセンスプレートライト
2. テールライトおよびブレーキライト
3. ターンシグナルライト
4. バックアップ・ライト

日本向けモデル



車両前部

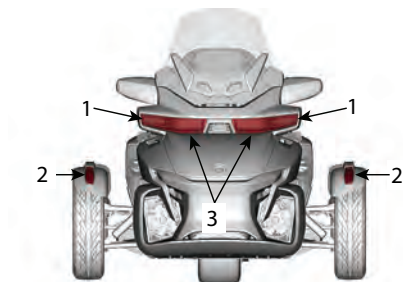
1. ヘッドライトーロービーム
2. ポジションライト/ウィンカー
3. ヘッドライトーハイビーム



車両後部

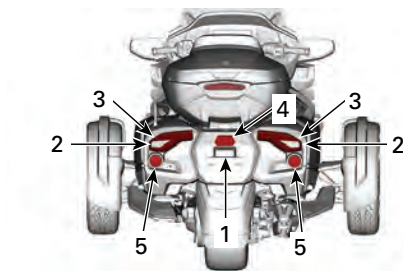
1. ライセンスプレートライト
2. テールライト
3. ターンシグナルライト
4. バックアップ・ライト
5. ブレーキライト

北米モデル



車両前部

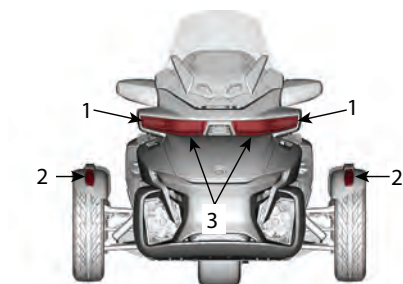
1. ヘッドライトーロービーム
2. ポジションライト/ウインカー
3. ヘッドライトーハイビーム



車両後部

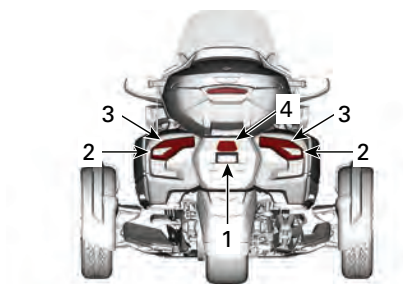
1. ライセンスプレートライト
2. テールライトおよびブレーキライト
3. ターンシグナル ライト
4. シグネチャーライト (リミテッドのみ - 装備されている場合)
5. バックアップ・ライト

その他のすべての国



車両前部

1. ヘッドライトーロービーム
2. ポジションライト/ウインカー
3. ヘッドライトーハイビーム



車両後部

1. ライセンスプレートライト
2. テールライトおよびブレーキライト
3. ターンシグナル ライト
4. バックアップ・ライト

ヒューズの交換方法

ヒューズ

車両の電気用品が作動しなくなった場合は、飛んだヒューズを確認し、必要であれば交換します。

電気系統の故障が発生した場合は、認定 Can-Am On-Road ディーラーに整備を依頼してください。

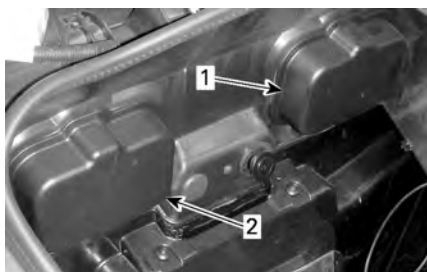
ヒューズの位置

ヒューズはフロント・ストレージ・コンパートメント内にあります

ヒューズにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。

リミテッドモデルでは、インナーライナーのジッパーを開けます。

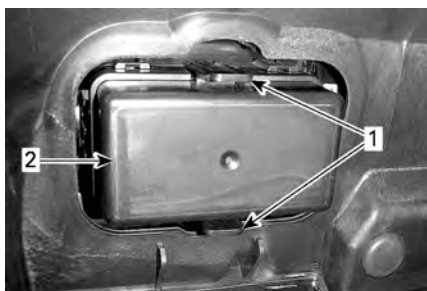
ヒューズ・サービス・カバーを押し下げ、カバーを引っ張り出します。



フロントストレージコンパートメントの中

1. 左ヒューズ・サービス・カバー
2. 右ヒューズ・サービス・カバー

タブを押し下げ、慎重にヒューズボックスのカバーを取り外します。



1. タブ
2. ヒューズボックスカバー

ヒューズの説明

正しいヒューズの識別については、ヒューズボックスのカバーに刻印されている情報を参照してください。

注記：

本書と車両（艇体）の間に矛盾がある場合は、ヒューズボックスカバー上に記載の情報が、本書に示されている情報よりも優先されます。

左ヒューズボックス

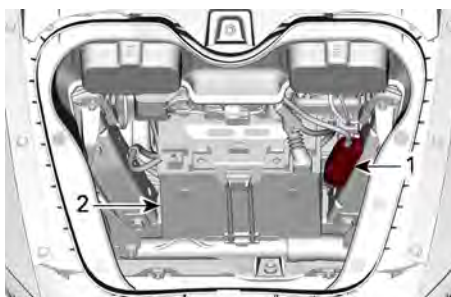
RY1L REVERSE ACTUATOR	RY2L HORN	F1L 15A BRAKE LIGHTS	F1L 10A HEADLIGHTS	F1L 10A WIPER	F1L 10A TRAILER BRAKE LIGHTS	F1L 10A TRAILER BRAKE LIGHTS	F1L 10A TRAILER BRAKE LIGHTS	F1L 10A TRAILER BRAKE LIGHTS	F1L 10A TRAILER BRAKE LIGHTS
RY3L LEFT MAIN POWER	RY4L SUSPENSION CONTROL	RY5L TCU SOLENOIDS	RY6L BACKUP LIGHT REAR CAMERA	J5L 20A TCU SOLENOIDS	J4L 40A MAIN CONTROL	J3L 40A DPS	J2L 25A VSS VALVES	J1L 40A VSS PUMP	
710010685									

右ヒューズボックス

RY1R HI BEAM	RY2R HEADLAMPS	F1R 10A PARK LIGHT	F2R 10A PARK LIGHT	F3R 15A SHOCK ABSORBER	F4R 10A AMPLIFIER	F5R 7.5A HEADLAMPS	F6R 5A OFF-ACC	F7R 5A WIPER	F8R 15A HORN
710010686 RIGHT	RY4R COOLING FANS	RY5R ACCESSORY	RY6R ACCESSORY	RY7R ACCESSORY	RY8R ACCESSORY	RY9R ACCESSORY	RY10R ACCESSORY	RY11R ACCESSORY	RY12R ACCESSORY
RY3R J5R 20A ACCESSORY	J4R 40A ACCESSORY	J3R 40A ACCESSORY	J2R 40A ACCESSORY	J1R 40A ACCESSORY	J0R 40A ACCESSORY	J-1R 40A ACCESSORY	J-2R 40A ACCESSORY	J-3R 40A ACCESSORY	J-4R 40A ACCESSORY

オルタネーター回路用ヒューズ

ヒューズホルダーはバッテリーの左にあります。



1. ヒューズホルダー
2. バッテリー

ヒューズが飛んでいるか確認するために、ヒューズホルダーカバーを取

り外します。2つのターミナル間の金属部分が溶けているまたは破損している場合は、ヒューズが飛んでいます。

オルタネータ	80 A (認定 On-Roadディーラーのみが交換を行ってください)
--------	---------------------------------------

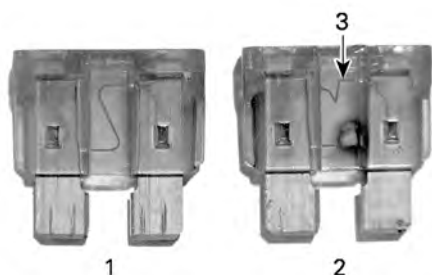


注意

飛んだヒューズを交換しないでください。車両を最寄りの認定 Can-Am On-Roadディーラーまで移動して、修理店または担当整備士に交換を依頼してください。

ヒューズの交換

1. イグニッションスイッチをOFFにします。
2. ヒューズを取り出します。
3. フィラメントが溶けていないか確認します。



ヒューズ

1. 良好のヒューズ
2. 飛んでいるヒューズ
3. 溶融フィラメント

4. ヒューズを同じ定格のものと交換します。スペアヒューズはヒューズボックスカバーにあります。

注意

より高定格のヒューズを使用すると、深刻な損傷を招き、火災の原因になります。

5. ヒューズボックスのカバーを閉じるには、カバーをヒューズにかぶせるように位置付け、カチッとなるまで慎重に押し下げます。
6. ヒューズのサービスカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、ヒューズのサービスカバーが閉まるまで慎重に押し下げます。
7. バスケットを取り付け、フロントストレージコンパートメントを閉めます。

車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと容量のけん引トラックまたは平台トレーラーで移送してください。

⚠ 注意

車両を押す必要がある場合は、ブレーキペダルをいつでも踏めるように右側から押します。車両を後方に引っ張る場合は、足元が前輪によってひかれないように注意します。

注意

この車両は、必ず前方に向けた状態で輸送する必要があります。

注意

この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

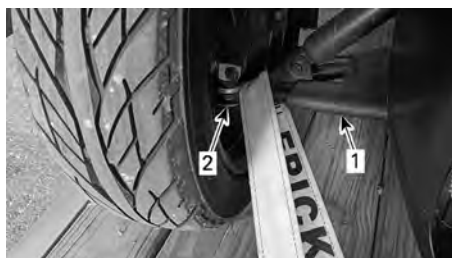
牽引または移送サービスにお問い合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注意

車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください。表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

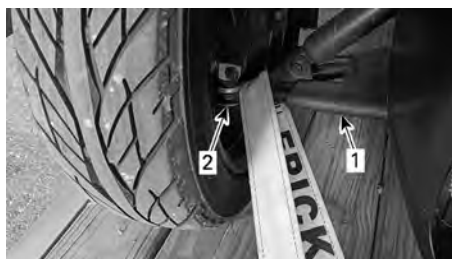
車両を移送するために積み込む時は、以下の手順を踏んでください。

1. 各フロントサスペンションの下部アームの周りをストラップで固定します。できるだけサスペンションアームエンドに近い位置で固定してください。



代表的な例

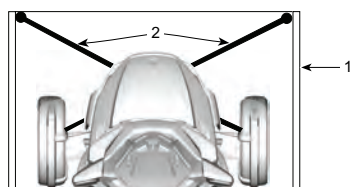
1. 下部サスペンションアーム
2. サスペンションアームエンド
2. ストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。車両前部の損傷を防ぐために、可能であれば、チェーンまたは追加のストラップを使ってストラップをウィンチケーブルに取り付けます。
3. 車両をニュートラル (N) に入れます。
4. パーキングブレーキが解除されていることを確認します。
5. ウィンチを使って、車両をけん引トラックまたは平台トレーラーの上まで引き込みます。
6. パーキングブレーキをかけます。
7. 車両のギヤがニュートラル (N) に入っていることを確認します。
8. イグニッションスイッチからキーを取り外します。
9. 前方両側にある各フロントサスペンションの下部アームの周りをストラップで固定します。できるだけサスペンションアームエンドに近い位置で固定してください。



代表的な例

1. 下部サスペンションアーム
2. サスペンションアームエンド

10. ストラップを交差させて固定します。



1. けん引トラックまたは平台トレーラー
2. 前側の固定ポイントストラップ

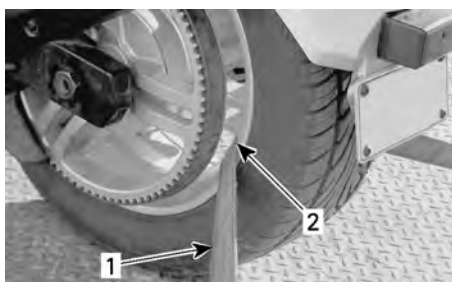
11. 後ろ側で、固定用のストラップを後輪のリム内側のみに通してください。縛りつけ用のストラップを絶対にリア・スプロケットの内側を通さないでください。

注意

ホイールのエアバルブを挟まないように注意してください。

注意

リア・スプロケットの内側に縛りつけ用のストラップを通すと駆動システムに深刻な損傷を与えます。



後輪の固定方法 - 代表例

1. 縛りつけ用ストラップ
2. 後輪のリムの内側のみ

12. 後輪の固定用ストラップを、トレーラーの後部にしっかり固定します。
13. 前輪および後輪の両方がトレーラーにしっかり固定されていることを確認します。

注意

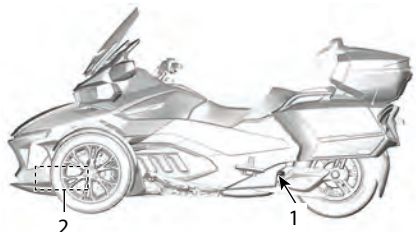
ステアリングシステムの損傷を防止するため、ホイールをストラップで固定した後にハンドルバーを回そうとしないでください。

技術情報

車両の識別

車両の主要な構成要素（エンジンとフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときに、これらの番号を確認する必要があります。これらの番号は、認定 Can-Am On-Road ディーラーが正しく保証請求を行うときに必要です。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号



VINが書かれている位置

1. スイングアーム (VIN ラベル)
2. ロウアーフレーム (VINは右側にスタンプされている)

オーストラリア



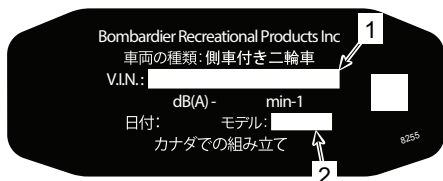
1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

カナダおよび米国



1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

日本



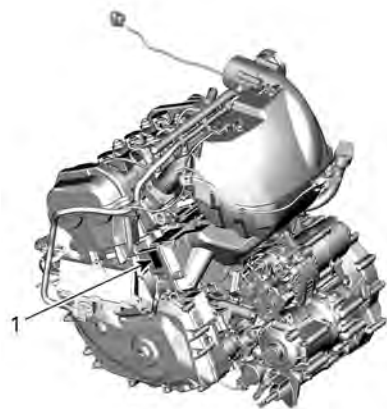
1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

その他のすべての国



1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

エンジン識別番号



代表的な例

1. EIN (エンジン識別番号)の位置

車両コンプライアンスラベル

安全コンプライアンスハンゲタグ

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ 警告。運転、整備、同乗者の擁護を行うなかで、本車両は米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている排気ガスに含まれる化学物質に運転者をさらす危険性があります。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳細は下記ホームページをご確認ください。
www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

704906973

EPA適合ラベル 北米モデル

このラベルは、運転席の下の特
ターフレームメンバー上にありま
す。

VEHICLE EMISSION CONTROL INFORMATION
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
THIS VEHICLE CONFORMS TO U.S. EPA AND CALIFORNIA
REGULATIONS APPLICABLE TO MODEL YEAR NEW
MOTORCYCLES AND IS CERTIFIED TO AN HC+NOx EMISSION STANDARD
OF GRAM/KILOMETER.
See operator's guide for maintenance specifications

車両排気ガス規制情報
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
この車両は、年式・自動三輪新車に適用される米国環境庁およびカリフォル
ニア州の規制に適合し、認証されています。HC+NOx 排出基準: 走行1 km あ
たりのグラム数
メンテナンスの仕様に関しては「オペレーターズガイド」を参照してください。

Engine Displacement		エンジン排気量
Engine Family		エンジンシリーズ
Permeation Family		透過ガス
Evaporation Family		蒸発ガス
Exhaust Emission Control System		排気ガス制御システム
Idle Speed		アイドリング回転数
Fuel		燃料

バキュームホース配管

エンジンシリーズ: 蒸発ガス:

EVAP蒸発ガス制御ソレノイド/バルブ

EVAPキャニスター

インテークプレナム

燃料タンク

エアフィルター

大気へ解放

自動三輪車騒音排出規制に関する情報
このモーターサイクルは、米国環境
による騒音排出規制(rpm あたり dBA、連邦試験手順による)に適合
しています。騒音規制を超えるような本自動三輪車の改造は、
連邦法によって禁止されています。
オペレーターズガイドを参照してください。

代表例 - 北米モデル - シートの下に配置

欧州適合ラベル

このラベルは運転席の下にありま
す。

代替燃料インフラコンプライ
アンスラベルの導入
北米以外のモデル



位置：燃料キャップ付近

騒音工ミッションコントロールシステム規制

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の稼働部品、または排気または吸気システムの部品を、非標準部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

BRP RF DESS POST

米国およびカナダ

この装置は、FCC（米国連邦通信委員会）第15部およびIndustry Canada（カナダ産業省）ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。

1. この装置が干渉を引き起こさない、および
2. この装置が、意図しない動作を引き起こす可能性がある障害など、あらゆる干渉に耐えなければならない。

この装置は試験され、FCC規則のパート15に適合するクラスBデジタル機器の制約に従っていることがわかっています。これらの制約は、居住施設における障害から十分保護されるように考えられたものです。この装置は無線周波エネルギーを発生させ、使用し、放出するため、説明どおりに取り付けられなかったり使用されなかった場合は、無線通信に障害を引き起こす場合があります。しかし、特定の施設において障害が必ず生じるということではありません。この装置がラジオやテレビの受信障害を引き起こした場合は（これは装置の電源を入れ直して判定することが可能）、下記の対策を1つ以上実施することで障害を直すよう推奨します。

- － 受信アンテナの方向または位置を変える。
- － 装置とレシーバーとの間隔をあける。
- － レシーバーが接続されている回路とは異なる回路の電源に装置を接続する。
- － 詳細はディーラーまたはラジオ/TVに精通した技術者にご相談ください。

この装置は、一般的なRF暴露要件を満たすと評価されています。この装置は、制限なく携帯暴露条件で使用可能です。

Le dispositif a été évalué à satisfaire l'exigence générale de l'exposition aux rf. L'appareil peut être utilisé dans des conditions d'exposition portatif sans restriction.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更や改良が行われた場合、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

IC : 11538A-246416

FCC ID : 2ABBF-246416

メキシコ



IFETEL

Marca: Minda

Número: BRMIDE22-29473

Modelo: DESS Minda

NOM-208-SCFI-2016 (Disposición Técnica IFT-008-2015)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

日本

この装置は、電波法（電波法）および電気通信事業法（電気通信事業法）の下で使用が許可されています。この装置を改造しないでください（改造した場合、認証は無効となります）。

ヨーロッパ

適合宣言書

無線機器指令2014/53/EUに関する適合宣言書（簡易版）



BG

С настоящото Minda декларира, че този тип радиосъоръжение DESS Minda е в съответствие с Директива 2014/53/ЕС. Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

CS

Tímto Minda prohlašuje, že typ rádiového zařízení DESS Minda je v souladu se směrnicí 2014/53/EU. Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

DA

Hermed erklærer Minda, at radioudstyrstypen DESS Minda er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU. EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

DE

Hiermit erklärt Minda, dass der Funkanlagentyp DESS Minda der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

EL

Με την παρούσα ο/η Minda, δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός DESS Minda πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

EN

Hereby, Minda declares that the radio equipment type DESS Minda is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

ES

Por la presente, Minda declara que el tipo de equipo radioeléctrico DESS Minda es conforme con la Directiva 2014/53/UE. El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

ET

Käesolevaga deklareerib Minda, et käesolev raadioseadme tüüp DESS Minda vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele. ELi vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

FI

Minda vakuuttaa, että radiolaitetyyppi DESS Minda on direktiivin 2014/53/EU mukainen. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

FR

Le soussigné, Minda, déclare que l'équipement radioélectrique du type DESS Minda est conforme à la directive 2014/53/UE. Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

HR

Minda ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa DESS Minda u skladu s Direktivom 2014/53/EU. Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

HU

Minda igazolja, hogy a DESS Minda típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek. Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

IS

Minda lýsir því hér með yfir að þráðlausi fjarskiptabúnaðurinn DESS Minda er í samræmi við tilskipun 2014/53/ESB. Östyttan texta

ESB-samræmisýfirlýsingarinnar er að finna á veffanginu:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

IT

Il fabbricante, Minda, dichiara che il tipo di apparecchiatura radio DESS Minda è conforme alla direttiva 2014/53/UE. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

Liechtenstein

Hiermit erklärt Minda, dass der Funkanlagentyp DESS Minda der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

LT

Aš, Minda, patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas DESS Minda atitinka Direktyvą 2014/53/ES. Visas ES atitikties deklaracijos teksto prieinamas šiuo interneto adresu:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

LV

Ar šo Minda deklarē, ka radioiekārta DESS Minda atbilst Direktīvai 2014/53/ES. Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

MT

B'dan, Minda, niddikjara li dan it-tip ta' tagħmir tar-radju DESS Minda huwa konformi mad-Direttiva 2014/53/UE. It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz tal-Internet li ġej:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

NL

Hierbij verklaar ik, Minda, dat het type radioapparatuur DESS Minda conform is met Richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

NO

Hermed erklærer Minda at radioutstyrtypen DESS Minda er i samsvar med direktiv 2014/53/EU. Hele teksten i EU-samsvarserklæringen finnes på følgende internettadresse:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

PL

Minda niniejszym oświadczam, że typ urządzenia radiowego DESS Minda jest zgodny z dyrektywą 2014/53/UE. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym:

[HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/
ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS](https://ec.europa.eu/docsroom/documents/9781/attachments/1/translations)

PT

O(a) abaixo assinado(a) Minda declara que o presente tipo de equipamento de rádio DESS Minda está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

RO

Prin prezenta, Minda declară că tipul de echipamente radio DESS Minda este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE. Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

RU

Компания Minda настоящим заявляет, что радиотехническое оборудование категории DESS Minda отвечает требованиям Директивы 2014/53/EU. Полный текст декларации соответствия ЕС доступен на сайте:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

SK

Minda týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu DESS Minda je v súlade so smernicou 2014/53/EÚ. Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

SL

Minda potrjuje, da je tip radijske opreme DESS Minda skladen z Direktivo 2014/53/EU. Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

SV

Härmed försäkrar Minda att denna typ av radioutrustning DESS Minda överensstämmer med direktiv 2014/53/EU. Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress:

<HTTPS://EC.EUROPA.EU/DOCSROOM/DOCUMENTS/9781/ATTACHMENTS/1/TRANSLATIONS>

多機能ゲージの法規制に関する情報

技術情報

デジタルオーディオブロードキャストイング：

- 動作周波数範囲：174～240 MHz

トランスミッター：

- BT動作周波数範囲：2,402～2,480 MHz
- BTバージョン：5.0
- BT最大送信出力：+8 dBm

レシーバー：

- FM動作範囲：88 - 108 MHz

メーカーおよび住所

メーカー：

- Enovation Controls LLC

住所：

- 5311 S 122nd E. Ave. Tulsa,
OK 74146,
USA

車両のデジタルディスプレイに規制に関する情報を表示するには、**Preferences**、**General**、そして**About**に移動します。

米国およびカナダ

この装置は、FCC（米国連邦通信委員会）第15部およびIndustry Canada（カナダ産業省）ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。

1. この装置が干渉を引き起こさない、および
2. この装置が、意図しない動作を引き起こす可能性がある障害など、あらゆる干渉に耐えなければならない。

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

1. l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更や改良が行われた場合、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

IC：28102-ECB01

FCC ID：2A3FV-ECB01

RF曝露：

1. この機器は制御の及ばない環境に対して設定されたFCC RF曝露限度を順守しています。

2. この機器はすべての人から20 cm以上離れてインストールおよび操作される必要があります。
3. このトランスミッターのために使用されるアンテナは位置の共用またはその他のアンテナまたはトランスミッターと共に使用されてはいけません。

メキシコ



IFETEL

Marca: Enovation Controls LLC

Número: RCPENOD22-2195

Modelo: OD1025-01

NOM-208-SCFI-2016 (Disposición Técnica IFT-008-2015)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

ブラジル



Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL.

日本

この装置は、電波法（電波法）および電気通信事業法（電気通信事業法）の下で使用が許可されています。この装置を改造しないでください（改造した場合、認証は無効となります）。

ヨーロッパ

適合宣言書

無線機器指令2014/53/EUに関する適合宣言書（簡易版）



DE

Hiermit erklärt Enovation Controls LLC, dass der Funkanlagentyp OD1025-01 der Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

FR

Le soussigné, Enovation Controls LLC, déclare que l'équipement radioélectrique du type OD1025-01 est conforme à la directive 2014/53/UE.

Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

BG

С настоящото Enovation Controls LLC декларира, че този тип радиосъоръжение OD1025-01 е в съответствие с Директива 2014/53/ЕС.

Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

EL

Με την παρούσα ο/η Enovation Controls LLC, δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός OD1025-01 πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ.

Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

CS

Tímto Enovation Controls LLC prohlašuje, že typ rádiového zařízení OD1025-01 je v souladu se směrnicí 2014/53/EU.

Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

DA

Hermed erklærer Enovation Controls LLC, at radioudstyrstypen OD1025-01 er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU.

EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

ET

Käesolevaga deklareerib Enovation Controls LLC, et käesolev raadioseadme tüüp OD1025-01 vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele.

ELi vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

ES

Por la presente, Enovation Controls LLC declara que el tipo de equipo radioeléctrico OD1025-01 es conforme con la Directiva 2014/53/UE.

El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

FI

Enovation Controls LLC vakuuttaa, että radiolaitetyyppi OD1025-01 on direktiivin 2014/53/EU mukainen.

EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

EN

Hereby, Enovation Controls LLC declares that the radio equipment type OD1025-01 is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

HR

Enovation Controls LLC ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa OD1025-01 u skladu s Direktivom 2014/53/EU.

Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

HU

Enovation Controls LLC igazolja, hogy a OD1025-01 típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek.

Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

IT

Il fabbricante, Enovation Controls LLC, dichiara che il tipo di apparecchiatura radio OD1025-01 è conforme alla direttiva 2014/53/UE.

Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

LT

Aš, Enovation Controls LLC, patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas OD1025-01 atitinka Direktyvą 2014/53/ES.

Visas ES atitikties deklaracijos tekstas prieinamas šiuo interneto adresu:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

LV

Ar šo Enovation Controls LLC deklarē, ka radioiekārta OD1025-01 atbilst Direktīvai 2014/53/ES.

Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

MT

B'dan, Enovation Controls LLC, niddikjara li dan it-tip ta' tagħmir tar-radju OD1025-01 huwa konformi mad-Direttiva 2014/53/UE.

It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz tal-Internet li ġej:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

NL

Hierbij verklaar ik, Enovation Controls LLC, dat het type radioapparatuur OD1025-01 conform is met Richtlijn 2014/53/EU.

De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

PL

Enovation Controls LLC niniejszym oświadcza, że typ urządzenia radiowego OD1025-01 jest zgodny z dyrektywą 2014/53/UE.

Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

PT

O(a) abaixo assinado(a) Enovation Controls LLC declara que o presente tipo de equipamento de rádio OD1025-01 está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE.

O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

RO

Prin prezenta, Enovation Controls LLC declară că tipul de echipamente radio OD1025-01 este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE.

Textul integral al declaratiei UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

SV

Härmed försäkrar Enovation Controls LLC att denna typ av radioutrustning OD1025-01 överensstämmer med direktiv 2014/53/EU.

Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

SL

Enovation Controls LLC potrjuje, da je tip radijske opreme OD1025-01 skladen z Direktivo 2014/53/EU.

Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

SK

Enovation Controls LLC týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu OD1025-01 je v súlade so smernicou 2014/53/EÚ.

Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

IS

Enovation Controls LLC lýsir því hér með yfir að þráðlausir fjarskiptabúnaðirinnar OD1025-01 er í samræmi við tilskipun 2014/53/ESB.

Óstyttan texta ESB-samræmisýfirlýsingarinnar er að finna á veffanginu:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

Liechtenstein

Hiermit erklärt Enovation Controls LLC, dass der Funkanlagentyp OD1025-01 der Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

NO

Hermed erklærer Enovation Controls LLC at radioutstyret OD1025-01 er i samsvar med direktiv 2014/53/EU.

Hele teksten i EU-samsvarserklæringen finnes på følgende internettadresse:

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

RU

Компания Enovation Controls LLC настоящим заявляет, что радиотехническое оборудование категории OD1025-01 отвечает требованиям Директивы 2014/53/EU.

Полный текст декларации соответствия ЕС доступен на сайте

<https://www.brp.com/en/sustainability/product-responsibility.html>

BRP EUROPEAN DISTRIBUTION SA

BRPは、次のURLに示されている指示に従うことを推奨しています：[HTTPS://WWW.RECYCLERMONTVEHICULE.FR/](https://www.recyclermontvehicule.fr/)

Recycle Mon Véhiculeは、公的機関から承認を受けた、自動車分野に特化した唯一のエコ団体です。使用済み車両はすべて、再利用可能な部品やリサイクル素材の資源となります。

BRP European Distribution SAの、一意の製造業者識別子は次のとおりです。
FR219503_18XCIB

REP France - TRIMAN

<p>マーク フランスのみ</p>	  <p>FR</p> <p>Hors d'usage, votre véhicule ne doit pas être abandonné. Il doit être recyclé par la filière agréée par l'État.</p> <p>Apportez-le ou faites-le collecter sans frais par un centre VHU</p> <p>quefairedemesdechets.fr</p> <p>Avant de recycler, privilégiez la réparation</p>
-----------------------	--

空白ページ

技術仕様

技術仕様

製品の品質と技術革新への継続的なコミットメントを果すために、BRPは以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良をいつでも行う権利を留保します。

エンジン			
エンジンタイプ			ROTAX® 1330 ACE、4 ストローク、デュアルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、水冷
シリンダーの数			3
バルブの数			12
ボア			84 mm (3.31 in)
ストローク			80 mm (3.14 in)
排気量			1 330 cm³ (81.16 in³)
圧縮比			12:1
潤滑	タイプ		別個のオイルタンクおよびオイルクーラー付きのドライサンプ
	エンジンオイルフィルター		BRP Rotax製のマイクロガラス繊維タイプ、交換式
	トランスミッション/HCMオイルフィルター		BRP Rotax製の多層表面フィルター、交換可能
	エンジンオイル容量	オイル交換および新しいエンジン・フィルターの取り付け	4.7 L (5 qt (liq.,US))
		新しいエンジンおよび HCMフィルターにおけるオイル交換	4.9 L (5.2 qt (liq.,US))
	推奨されるエンジンオイル		このガイドのメンテナンス手順のセクションに記載の推奨エンジンオイルを参照してください。
クラッチ	タイプ		油圧クラッチ + TCMによって自動的にコントロールされているウェットマルチプレートクラッチ
	作動時		1100 RPM
エキゾーストシステム			3-1マニホールド、触媒コンバータ付きプライマリマフラー、セカンダリマフラー
エアフィルター			紙要素

ギアボックス		
タイプ		6速シーケンシャルマニュアル (SM6) + 遠隔電子リバーシント ーロック
冷却システム		
タイプ		液冷, クーリングファン付きのダブル ・ ラジエーター
クーラント	タイプ	このガイドのメンテナンス手順のセ クションに記載の推奨エンジンクー ラントを参照してください。
	定員	4.2 L (1.1 gal (liq.,US))
電気システム		
イグニッションシステム形式		デュアル出力コイル付きの電子イグ ニッション
イグニッションタイミング		調整不可
スパークプ ラグ	量	3
	メーカーと型式	NGK MR7BI-8 (イリジウム) または 相当品
	ギャップ	0.7 ~ 0.8 mm (0.028 ~ 0.031 in)
エンジン回 転リミッタ ーの設定	前進	8100 RPM (ドライブトレイン駆動時)
		7500 RPM (クラッチが切れている状 態がニュートラル時)
バッテリー	タイプ	メンテナンスフリー
	電圧	12ボルト
	公称定格	21 A・h
	推奨される充電速度	2 A
ヘッドライト ハイ/ロー		LED
テールライト/ブレーキライト		LED
フロント方向指示灯		LED
リア方向指示灯		RY10W
ポジションライト		LED
ライセンスプレートライト		LED

電気システム	
バックアップ・ライト	H21W
ヒューズ	ヒューズおよびライトの交換方法のヒューズ詳細を参照してください

燃料システム		
燃料供給	タイプ	マルチポイントエレクトリックフューエルインジェクション (EFI)、ETC付き (エレクトリックスロットルコントロール)、シングルスロットルボディ (54 mm)、アクチュエーター付き
燃料ポンプ	タイプ	エレクトリカルモジュール (燃料タンク内)
アイドルスピード		900 RPM (電子制御タイプ、調整不可)
燃料	タイプ	無鉛プレミアム ガソリン
	最小オクタン価	87 AKI (RON+MON)/2
		92 RON
	推奨されるオクタン濃度	91 AKI (RON+MON)/2
		95 RON
燃料タンク容量		26.5 L (7 gal (liq.,US))

駆動システム	
終駆動機の形式	カーボン強化されたドライブベルト
ファイナル・ドライブ比	79/28

ステアリング	
タイプ	ダイナミックパワーステアリング

フロントサスペンション	
サスペンションタイプ	スタビライザー付きのダブルサスペンションアーム
サスペンショントラベル	174 mm (6.9 in)

フロントサスペンション		
ショックアブソーバ	数量	2
	タイプ	オイルダンパー
スプリングプリロード調節		調整不可

リアサスペンション		
サスペンションタイプ	ベース	モノショックスイングアーム。プリロードはマニュアルにて調整可能。
	Limited Sea-to-Sky エディション	モノショックスイングアーム。エアコントロールサスペンション。コンプレッサー制御
サスペンショントラベル		152 mm (6 in)
ショックアブソーバ	数量	1
	タイプ	オイルダンパー
プリロード調整 (ベースモデル)		空気圧調整式: 135 ~ 625 kPa (20 ~ 91 lbf/in ²)
プリロード調整 (自動調整機能付きACS)		自動セルフレベルリング調整付きエアコントロール式サスペンションモノショック付きスイングアーム

ブレーキ		
タイプ		ABSおよびEBD付きの、足踏式完全統合油圧3輪ブレーキシステム
フロントブレーキ		270 mm (11 in) デュアルディスク、ラジアルマウント式Bremboモノブロック、4ピストンキャリパーおよび2パッド付き
リアブレーキ		270 mm (11 in) シングルディスク、1ピストンフローティングキャリパー、組み込み式パーキングブレーキ付き
ブレーキ液	定員	480 ml (16.2 fl oz (US))
	タイプ	DOT 4
パーキングブレーキ		機械式、リアキャリパーを電子的に作動。
最小ブレーキディスク厚		1 mm (.04 in)

ブレーキ	
最小ブレーキパッド厚	6.4 mm (252 in)
ブレーキディスクのねじれ最大	0.100 mm (004 in)

タイヤ			
タイプ (BRP が推奨するラジアルタイヤのみ使用してください)	フロント	北米モデル	XPS Roadster - K165/55 R15 69H
		その他の市場	XPS Roadster - 165/55 R15 MC 69H
	リア	北米モデル	XPS Roadster - K225/50 R15 84H
		その他の市場	XPS Roadster - 225/50 R15 MC 84H
圧力			必ずタイヤ圧力と最大荷重ラベルを参照してください。 注 : フロントタイヤ同士の圧力差が 3.4 kPa (0.5 lbf/in ²) を超えないようにしてください
タイヤ溝の最小深さ	フロント	2.5 mm (3/32 in)	
	リア	4.0 mm (5/32 in)	

ホイール		
サイズ (直径 X 幅)	フロント	381 x 127 mm (15 x 5 in)
	リア	381 x 178 mm (15 x 7 in)
前輪ナットへのトルク		109 ± 4 Nm (80 ± 3 lbf-ft)
リア車軸ナットへのトルク		225 ± 15 Nm (166 ± 11 lbf-ft)

寸法		
全長	ベース	2 777 mm (109.3 in)
	Limited Sea-to-Sky エディション	2 833 mm (111.5 in)
全幅		1 554 mm (61.2 in)
全長		1 464 mm

寸法	
	(57.6 in)
シートの高さ (上部)	755 mm (29.7 in)
車両ベース	1 714 mm (67.5 in)
前輪トラック	1 384 mm (54.5 in)
最低地上高 (エンジンの前部および下部)	115 mm (4.5 in)

重量および積載量		
乾燥重量	ベース	449 kg (987 lb)
	Limited Sea-to-Sky エディション	464 kg (1021 lb)
最大積載量	フロントストレージコンパートメント	16 kg (35 lb)
	グローブボックス	2 kg (4 lb)
	サドルバッグ	6.8 kg (15 lb)
	上部ストレージコンパートメント	9 kg (20 lb)
許容される合計車両積載量 (ドライバー、その他すべての積載、追加されたアクセサリも含みます)		224 kg (494 lb)
車両総重量車両総重量 (GVWR)		750 kg (1,653 lb)
トレーラーの接合部への最大重量		18 kg (40 lb)
最大牽引重量 (トレーラーおよびカーゴ)		182 kg (400 lb)

空白ページ

顧客情報

データプライバシーについて

データプライバシーについて

Bombardier Recreational Products Inc. およびその関連会社と子会社（「BRP」）はプライバシーの保護に努めています。この通知は、BRPとお客様との関係を管理する際のお客様情報の収集、利用、および開示方法についてお知らせするものです。詳細は、BRPのプライバシーポリシーのウェブサイトをご覧ください。

[HTTPS://BRP.COM/EN/
PRIVACY-POLICY.HTML](https://brp.com/en/privacy-policy.html)



当社は十分なセキュリティ対策を講じて、お客様の個人情報の安全を確保し、不正なアクセス、使用または開示から保護しておりますのでご安心ください。

当社が保有するお客様の個人情報は、お客様から直接提供されたもの、または当社の認定ディーラーおよびサードパーティー（当社がサービスを提供したり、共同マーケティング活動を行ったりする相手先）を通じて収集されたものであり、以下の情報が含まれています。

- 連絡先、人口統計、および登録情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所有歴、連絡時の言語など）
- 取引情報（返品処理に必要となる情報、ウェブサイトやモバイルアプリケーションを通じて当社の製品やサービスを購入するときの支払い情報、BRP製品の購入に関連するその他の情報など）
- 車両情報（シリアル番号、車両識別番号、走行距離、購入日および納入日、製品の利用状況、車両の位置および動作など）
- 当社の製品やサービスに関するコメント、意見、およびレビュー
- BRP またはディーラーのウェブサイトまたはモバイルアプリを閲覧する際、クッキーや類似の技術を通じて自動的に収集される情報（IPアドレス、デバイスの種類、オペレーティングシステム、ブラウザの種類、閲覧したウェブページなど）。

また、お客様がソーシャルメディアプラットフォームで当社とやり取りする際に、それらのプラットフォームからお客様に関する情報を取得する場合があります。

当社は、さまざまな目的でお客様の個人情報を使用していますが、そのほとんどは次のことを目的としています。

- お客様のBRP製品およびサービスの注文の管理（注文の完了や配送、またはBRP製品の整備など）
- 顧客サポート、アシスタンス、およびアフターサービスの提供（注文やメンテナンスの完了、またはそれらに関するフォローアップ、納入時の問題の手助け、返品への対応、お客様のBRP製品購入に関係するその他の問題など）
- BRP製品の登録、保証、セキュリティ、安全リコール、および紛争解決の管理（保証やアフターサービスの提供、セキュリティと安全性の保護、安全リコールの実施など）
- 当社の製品およびサービスに関するご案内の送信（BRPの新製品、サービス、機能に関するお知らせ、コンテスト、プロモーション、イベントに関する

るニュースの共有、またはBRPが提供する製品やサービスで、お客様が興味を示す可能性があるものについてのご案内など)

- プロファイリング技術やジオロケーション技術に基づいた、パーソナライズされた体験、コンテンツ、またはオファーおよびサービスの提供 (車両のメンテナンスが必要な時期の通知、最寄りのディーラーシップのお知らせなど)
- お客様個人を特定できないデータ分析および統計データを実施 (ビジネスインテリジェンスに活用)、ならびに製品およびサービスの改善方法に関する知見の獲得
- 不正行為および許可されていないまたは違法な活動の防止、検出、および管理 (BRP製品またはサービスの購入に関する不正行為の検出および管理、違法または許可されていない活動およびサイバー攻撃の脅威の管理)
- 適用される法規制への準拠

お客様の個人情報、次の組織に開示される場合があります: BRP、BRP認定ディーラー、ディストリビューター、サービスプロバイダー、広告およびマーケティングリサーチパートナー、および認定されたその他の第三者。

状況によっては、お客様の居住地域外でお客様の個人情報が伝達される場合があります。お客様の個人情報は、当社の保持ポリシーに従って、当社が個人情報を取得した目的に必要な期間に限り保持されます。

お客様のデータプライバシー権 (アクセスする権利や訂正する権利など) を行使するには、または、マーケティング、満足度調査、および一般的なデータプライバシーについての質問を目的としたアドレスリストから削除するために同意を撤回するには、BRPのデータ保護担当者にメール (privacyofficer@brp.com) でご連絡いただくか、次の住所宛てに郵送でご連絡ください: BRP Legal Service, 726 St-Joseph, Valcourt, Quebec, Canada, J0E 2L0.

BRPがお客様の個人情報を処理する際は、下記のサイトに記載されている自社のプライバシーポリシーに従って処理します。

[HTTPS://BRP.COM/EN/
PRIVACY-POLICY.HTML](https://brp.com/en/privacy-policy.html)



お問い合わせ先

www.brp.com

アジア太平洋

BRP Asia

107D and 107E, 17/F, Tower 1,
Grand Century Place, Mongkok,
Kowloon, Hong Kong

オーストラリア

Level 26
477 Pitt Street
Sydney, NSW 2020

中国

上海市徐汇区衡山路10号6号楼301
Rm 301, Building 6,
No.10 Heng Shan Rd,
Shanghai, China

日本

〒108-0075東京都港区港南2丁目16-1
品川イーストワンタワー21階

ニュージーランド

Suite 1.6, 2-8 Osborne Street,
Newmarket, Auckland 2013

欧州、中東、アフリカ

ベルギー

Oktrooi plein 1
9000 Gent

チェコ共和国

Stefanikova 43a
Prague 5
150 00

ドイツ

Alte Papierfabrik 16
D-40699 Erkrath

フィンランド

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

フランス

Arteparc Bâtiment B
Route de la côte d'Azur,
13 590 Meyreuil

ノルウェー

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondheim
Salg, marketing, ettermarked

スウェーデン

Spinnvägen 15
903 61 Umeå
Sweden 90821

スイス

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne

中南米

ブラジル

Rua Odila Maia Rocha Brito, 25
Edifício Beaumont, andar 1 ao 5
CEP 13092-110 Campinas -SP

メキシコ

Av.Ferrocarril 202
Parque Industrial Querétaro
Santo Rosa Jauregui, Querétaro
C.P.76220

北米

カナダ

3200A, rue King Ouest,
Suite 300
Sherbrooke (Québec) J1L 1C9

米国

10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 認定Can-Amディーラーに連絡する。
- 北米のみ: 1 888 272-9222までお電話ください。
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後も、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 車両が盗難にあった場合は、BRPまたは認定Can-Amディーラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

住所の変更

所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所
または以前のオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

新しい住所
または新しいオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

Eメールアドレス

住所の変更

所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所
または以前のオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

新しい住所
または新しいオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

Eメールアドレス

このページは
意図的に空白です

住所の変更

所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所
または以前のオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

新しい住所
または新しいオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

Eメールアドレス

住所の変更

所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所
または以前のオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

新しい住所
または新しいオーナー:

氏名

番地

町村

アパート

市/郡

都道府県

郵便番号

国

電話番号

Eメールアドレス

このページは
意図的に空白です

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記: _____

[illegible]

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記: _____

[illegible]

モデル番号 _____

車両

識別番号 (V.I.N.) _____

エンジン

識別番号 (E.I.N.) _____

オーナー: _____

氏名

郵便番号

都道府県

市/郡

町村

番地

アパート

購入日 _____ | _____ | _____ | _____ | _____
年 月 日

保証有効期限 _____ | _____ | _____ | _____ | _____
年 月 日

販売時にディーラーが記入すること。

ディーラー押印箇所

⚠ 警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。この製品の特長性について理解してください。

- 本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。



- トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。
- 乗車する前に安全カードを参照してください。

- **必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。**自動車とは異なり、このタイプの車両では運転者が道路からのより多くの危険に曝されます。

高い運転技術を備えたライダーであっても、他の車両に衝突されて制御不能になる場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

- **運転の限界と道路条件。**車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム(VSS)は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。様々な道路条件での限界について氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりと流水を避けてください。このタイプの車両は、氷上でハイドロプレーニングを起こし、道路を覆った砂利、泥、砂でスリップする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

®、TMおよびBRPのロゴはBombardier Recreational Products Inc.またはその関連会社の商標です。

©2026 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
無断複写・転載を禁じます。

www.brp.com



ski-doo LYNX SEA-DOO can-am ROTAX